

Canon

POWER  
PROJECTOR

4K6021Z

使用説明書



ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。  
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご  
使用ください。  
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管  
してください。

本製品は日本国内用に設計されております。  
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

安全にお使いいただくために

はじめに

基本編

投写のしかた

便利な投写のしかた

設置編

設置のしかた

接続のしかた

映像を調整する

特殊な設置方法

メニュー編

メニューの使いかた

メニューの構成

メニューの説明

メンテナンス

製品の仕様

困ったときには

JPN

# 本書の読みかた

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

パワープロジェクター4K6021Zは、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能レーザー光源プロジェクターです。

## 本書について

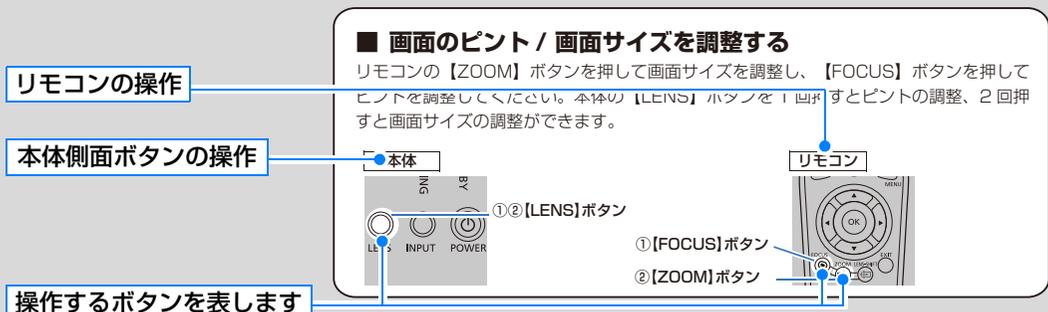
本書はパワープロジェクター**4K6021Z**（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）の使用説明書です。**基本編**には、投写するまでの基本的な操作の流れやプレゼンテーションなどのときに使える便利な機能について説明しています。**設置編**には、本機の設置方法やネットワークへの接続について、**メニュー編**にはメニューの説明や使いかたについて説明されています。

本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については設置業者または販売店に依頼することをお勧めします。

### ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。なお、リモコンではすべての機能が操作できます。

本書では、ボタン操作を次のように表記しています。



### 説明の内容を表す記号

本文中で以下のマークがついた欄は、次のような内容となっています。

 操作上の注意事項や知っておいていただきたいことが記載されています。

<b>本書の読みかた</b> .....	<b>2</b>	<b>映像を調整する</b> .....	<b>72</b>
<b>おもな特長</b> .....	<b>4</b>	スクリーンのサイズに合わせて 投写する .....	72
<b>安全にお使いいただくために</b> .....	<b>5</b>	台形ひずみを調整する .....	72
安全上の注意を表す記号 .....	5	高度なレジストレーションにより 投写画面を調整する .....	76
使用上のご注意 .....	6	部分歪み補正により投写画面を 調整する .....	80
電源について .....	6	テストパターンを使って調整する .....	83
設置・ご使用について .....	8	<b>特殊な設置方法</b> .....	<b>84</b>
レーザー光源について .....	9	周辺フォーカスを調整する .....	84
リモコンの電池について .....	10	エッジブレンディング機能を使って 投写する .....	86
取り扱いについて .....	11	<b>メニュー編</b> .....	<b>91</b>
<b>正しくお使いいただくために</b> .....	<b>12</b>	<b>メニューの使いかた</b> .....	<b>92</b>
持ち運びおよび設置について .....	12	<b>メニューの構成</b> .....	<b>95</b>
<b>設置の前に</b> .....	<b>14</b>	<b>メニューの説明</b> .....	<b>102</b>
持ち運び時／輸送時のご注意 .....	14	映像設定 .....	102
設置のときのご注意 .....	14	イメージ調整 .....	107
<b>第三者のソフトウェアについて</b> ..	<b>19</b>	設置設定 .....	117
<b>はじめに</b> .....	<b>20</b>	システム設定 .....	130
同梱品の確認 .....	20	ネットワーク設定 .....	150
本体各部の名まえと機能 .....	21	インフォメーション .....	165
リモコン .....	25	<b>プロジェクターの Web 画面 メニューの説明</b> .....	<b>166</b>
<b>基本編</b> .....	<b>29</b>	<b>メンテナンス / 製品の仕様 / 困ったときには</b> .....	<b>181</b>
<b>投写のしかた</b> .....	<b>30</b>	<b>メンテナンス</b> .....	<b>182</b>
ステップ 1 機器を接続する .....	31	本体を清掃する .....	182
ステップ 2 電源を入れる .....	32	エアフィルターを交換する .....	182
ステップ 3 入力信号を選択する .....	33	<b>製品の仕様</b> .....	<b>184</b>
ステップ 4 画面を調整する .....	34	<b>困ったときには</b> .....	<b>196</b>
ステップ 5 画質（イメージモード）を 選択する .....	35	LED インジケーターのワーニング ...	196
電源を切る .....	37	困ったときのアドバイス .....	197
<b>便利な投写のしかた</b> .....	<b>38</b>	<b>索引</b> .....	<b>202</b>
便利な機能 .....	38	<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>203</b>
<b>設置編</b> .....	<b>41</b>		
<b>設置のしかた</b> .....	<b>42</b>		
投写距離と画面サイズの関係 .....	42		
レンズユニットの取り付け・ 取り外し .....	44		
設置する .....	47		
<b>接続のしかた</b> .....	<b>53</b>		
機器を接続する .....	53		
ネットワークに接続する .....	56		
コンピューターからプロジェクターを 制御する .....	70		

# おもな特長

## レーザー光源採用の高輝度コンパクト機

従来の水銀ランプ光源に対して、寿命が長いレーザーダイオードを光源に採用し、高輝度でありながら、幅480mm × 奥行き545mm × 高さ196mmとコンパクトです。

## 周辺フォーカス調整

画面周辺部のフォーカスを調整できるため、ドーム型スクリーンに対応します。

## HDBaseT 入力

次世代のデジタル通信規格「HDBaseT」に対応しました。HDMI と同等の高画質な映像信号 / 音声信号を、最長70m\*の距離までLANケーブル1本で簡単に接続できます。

\*2K映像信号の場合は最長100mの距離まで

## レンズシフト機能を搭載

映像位置を上下左右に電動で調整できるレンズシフト機能を搭載しており、設置の自由度が高まります。

## ズーム、フォーカスの電動調整

ズーム、フォーカスの調整を電動で行えるので効率的な設置ができます。

## バリエーション豊富なレンズユニットを用意

投写距離や目的に応じて最適なレンズユニットを選択できます。

## 動画視認性を向上

動画視認性を向上するMBリダクションに新方式を採用し、従来よりも快適な動画を表示できます。

## スケジュール機能

あらかじめ登録したスケジュールに従って、電源の入/切、入力信号の選択などプロジェクターを自動制御できます。

## エッジブレンディング

複数のプロジェクターを並べて一つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。

## Wi-Fi 機能

有線LANに加え、無線LAN (Wi-Fi) をサポートしました。

PJ AP (プロジェクターアクセスポイント) モードを使用すれば、無線アクセスポイントを用意しなくても最大5台のコンピューターに接続可能です。

## Canon Service Tool for PJ (Canon ST)

Wi-Fiを介して、プロジェクターと接続しリモコン操作やプロジェクターの状態管理が簡単に行えるiOSアプリケーションです。プロジェクターをアクセスポイントとして接続する(P56)か、既にお使いのアクセスポイントを使って接続してください(P57)。Canon ST使用時にはパスワード(P166)が必要になります。

## DisplayPort

よりリアルな映像、スムーズな階調表現を可能にする4K\_60P\_10bit\_4:4:4映像信号\*に対応可能です。

\*DP1.2\_x2端子の両方を使用いただく必要があります

# 安全にお使いいただくために

## 安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 <b>注意</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 高温注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

## 使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

### 警告

#### 電源について

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 水などの液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。



電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また、巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。
- 表示されている電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。
- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



- ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。

## 警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。



注意



感電注意

- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。
- たこ足配線などで定格容量を超えると、発熱による火災の原因になりますので行わないでください。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ゴミ・汚れなどを取り除いてください。
- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。
- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- レンズユニットを取り付け・取り外すときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 警告

### 設置・ご使用について

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意



禁止

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- 湿気やホコリの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。油によりキャビネットの樹脂部が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
- 本機（消耗品を含む）やリモコンの分解や改造をしないでください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口などの穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が破裂する原因になります。
- 本機のレンズ、フィルターなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 操作者は、人が障害距離内の投写光にさらされない高さに本機を設置するか、あるいは人が障害距離内に近づくことがないように管理してください。
- 投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネなど）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。
- 子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。
- 投写光が直接人体にさらされないようにしてください。



## 警告

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



注意

- 本機を持ち上げるときは2人以上で行ってください。
- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。
- 天吊り設置および設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因になります。
- 天吊り設置しているプロジェクターのレンズを交換する場合は、部品落下などの危険がありますので、設置業者または販売店にご依頼ください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。本機内部では一部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。

## 警告

### レーザー光源について



禁止



注意

- 本機はレーザーモジュールを内蔵しています。分解・改造は危険ですので行わないでください。
- 使用説明書に記載した手順で操作や調整を行ってください。間違った手順で操作や調整を行うと危険なレーザー光にさらされることとなります。
- 故障したまま使用しないでください。本書に従って正しく使用しても、画面に異常があるなど故障状態のまま使用すると火災・感電・レーザー光により視力障害の原因になります。
- 本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際にお客様自身で本機を分解しないでください。



## 警告

### リモコンの電池について

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。



禁止

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池と一緒に使用しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ⚠ 注意

### 取り扱いについて

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



注意



禁止

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因になることがあります。
- AUDIO OUT 端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しないでください。聴力障害の原因になることがあります。
- 初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げおき、電源を入れた後で徐々に上げてください。
- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- 電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管してください。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- レンズの前に物を置いて投写しないでください。火災の原因になることがあります。
- 本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。
- レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、30分以上経過し、レンズユニットが十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。



## 注意

### 持ち運びおよび設置について

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



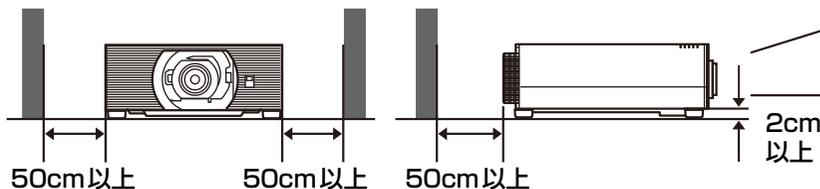
注意

- 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送してください。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットおよびプロジェクター本体の故障の原因になります。
- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットおよびプロジェクター本体の故障の原因になります。
- レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になります。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になることがあります。

## 注意

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

- 結露に注意してください。  
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、映像に影響がでることがあります。その場合、しばらくまって結露がとれたことを確認後、使用してください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用環境と保管温度の範囲は次の通りです。
  - 使用環境 温度 0℃～45℃ 湿度 20%～85%
  - 保管温度 -20℃～60℃
- 海拔2,300m以上の高地でご使用されるお客様へ  
本機の設置設定をメニューから変更してください (P124)。
- 本機の各側面の吸気口、排気口を壁などから50cm以上離して設置してください。また、本機の底面から2cm以上隙間を空けてください。底面に吸気口があります。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。



- 熱で変形や変色の恐れのあるものを本機の上に置かないでください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。正しく動作しないことがあります。
- 同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残像として見えることがあります。これは、液晶パネルの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

## 持ち運び時／輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。



注意

- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。

## 設置のときのご注意

5～12ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。



注意

- 本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機を縦置きで立てかけたり、不安定な状態で置かないでください。転倒により故障の原因になることがあります。

### ■ 以下のような場所には設置しないでください。



注意

- **湿気やホコリ、油煙やタバコなどの煙が多い場所**  
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- **高圧電線や電力源の近く**  
正しく動作しないことがあります。
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上**  
火災または本機の故障の原因になります。
- **高温、低温、高湿度になる場所**
- **振動／衝撃が加わる場所**
- **熱感知器や煙感知器のそば**
- **海の近く、エアコン吹き出し口の近く**
- **温泉から出る硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所**  
故障の原因になることがあります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。  
※ 使用温度範囲・使用湿度範囲は、通電中（投写状態、または、スタンバイ状態）において対象範囲となります。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～45℃	20%～85%	-20℃～60℃

## ■ レンズを素手で触らないでください



注意

レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。

## ■ 画面のピントを合わせる (P34) ときは、30 分以上点灯させてから行うことを推奨します。

電源を入れた直後は光源の熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。また、ピントを合わせる際はテストパターン (P83、P129) の⑩の画像を使用することをお勧めします。

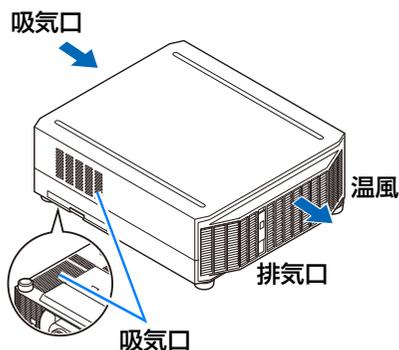
## ■ 壁などから十分な距離をあけて設置してください



注意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。

また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。側面、後部いずれも壁などから 50cm 以上離してください。また、本機の底面は 2cm 以上隙間を空けてください。



## ■ 結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

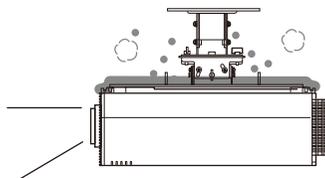
## ■ 海拔 2,300m 以上の高地で使用するときは設定を変更してください

海拔 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの [高地設定] (P124) を参照してください。

## ■ 天井から吊り下げてご使用になる場合



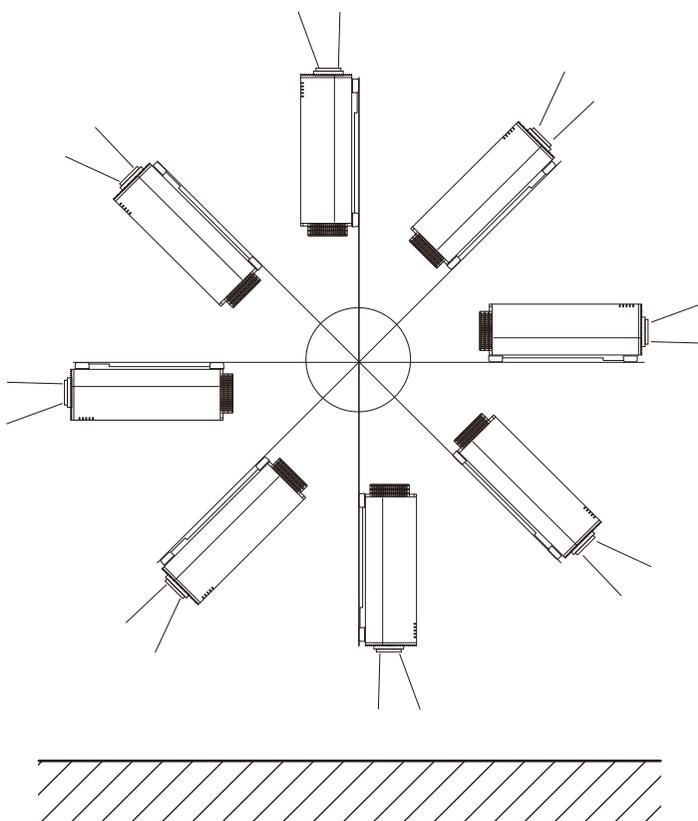
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルタ一周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因になることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。



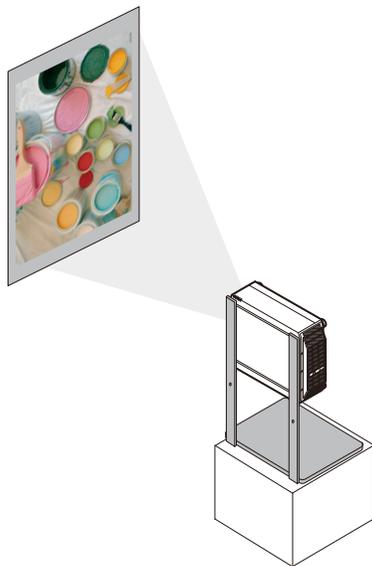
## ■ 上下投写、斜め投写の設置



- 本機は、上向き投写、下向き投写などあらゆる方向で投写できますが、吸気口、排気口をふさがらないでください。特に底面の吸気口から2cm以上の隙間を必ず空けてください。
- 本機は天吊り金具以外の設置のためのオプションは用意されていません。



## ■ ポートレート（縦置き）設置のときの注意



注意

- 吸気口、排気口をふさがらないでください。特に底面に吸気口があるため、底面から2cm以上の隙間を必ず空けてください。
- ポートレート設置のための取り付け金具等のオプションは用意されていません。

## ■ 光源について

本機の光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。



注意

本機を長期間使用した場合や環境の変化などにより画質が変化します。使用時間と環境温度による輝度の変化は、【キャリブレーション】の【光源補正】(P148)で調整することができます。

### 著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

### ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。
- 無線 LAN 環境でご利用される場合、無線 LAN のセキュリティ設定を行うことを推奨します。
- 無線 LAN のセキュリティキーは定期的に変更してください。

### 商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PJLink は JBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国および、その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、Harman International Industries, Inc. の登録商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected™ は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron および XTP は RGB Systems, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。
- HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2 と Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance Setup を意味しています。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

# 第三者のソフトウェアについて

本製品の一部には、GNU General Public License (GPL) でライセンスされたソフトウェアを含みます。

ソースコードの入手をご希望の方は、下記のいずれかでご連絡ください。

- (1) ソースコードをダウンロードできるURLのメール通知をご希望の方  
以下のURLへアクセスし必要事項を記入ください。

URL : <https://global.canon/ja/oss/scd/index.html>

- (2) ソースコードの郵送提供をご希望の方

下記【郵送提供時の項目】を明記の上、以下の住所まで日本語または英語で、郵便でご連絡ください。

住所：郵便番号 146-8501

東京都大田区下丸子3-30-2 キヤノン株式会社 オープンソース推進室

ソースコードを郵送で提供するにあたり、弊社からご提供に要した実費をご請求させていただきます場合もございますので、その旨ご了承ください。

## 【個人情報の取り扱い】

個人情報の取り扱いにつきましては、キヤノングローバルサイトの以下のページをご確認ください。

<https://global.canon/ja/oss/scd/privacy-notice.html>

## 【郵送提供時の項目】

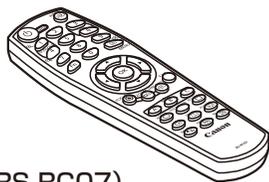
- (1) 郵送先（必須）：国、郵便番号、住所、氏名を記入してください。
- (2) メールアドレス（任意）：ソースコード提供時、確認が必要な場合に利用します。
- (3) 機種名/アプリケーション名（必須）
- (4) バージョン（必須）  
本体メニュー[インフォメーション]の[ファームウェアバージョン]をご確認ください。

# はじめに

## 同梱品の確認

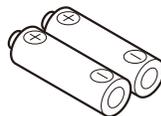
次の同梱品が揃っていることを確認してください。

- ・リモコン



(品番：RS-RC07)

- ・リモコン用乾電池（単4形2本）

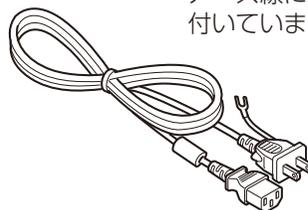


- ・重要なお知らせ  
(Important Information) (冊子)



- ・電源コード（1.8m）

アース線にはキャップが  
付いています。



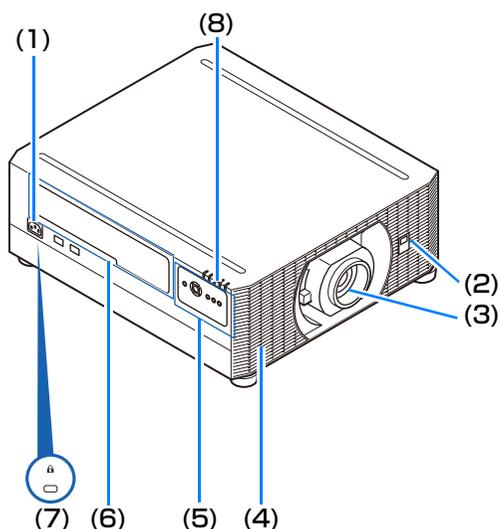
- ・保証書

- ・かんたんガイド



## 本体各部の名まえと機能

### ■ 前面



- (1) 電源コード接続部 (P55)
- (2) リモコン受光部 (P28)
- (3) レンズユニット (別売品)
- (4) 吸気口

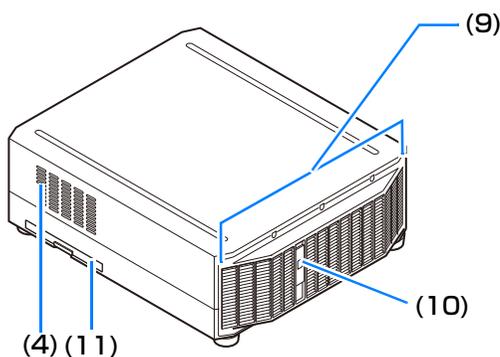


注意

吸気を妨げないようにしてください。故障の原因になることがあります。

- (5) 本体操作部 (P22)
- (6) 入出力端子 (P24)
- (7) 盗難防止用ロック穴  
市販の盗難防止用ワイヤケーブルを接続できます。
- (8) LED インジケータ (P23)

### ■ 背面



- (9) 排気口

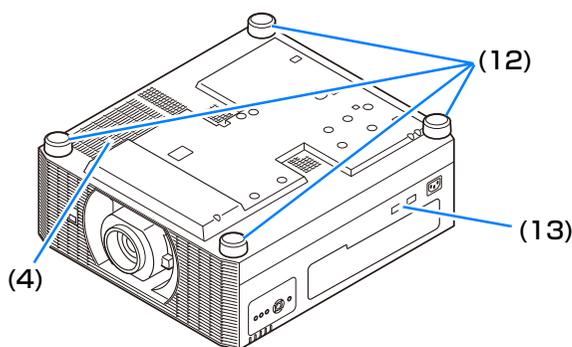


注意

排気を妨げないようにしてください。故障の原因になることがあります。

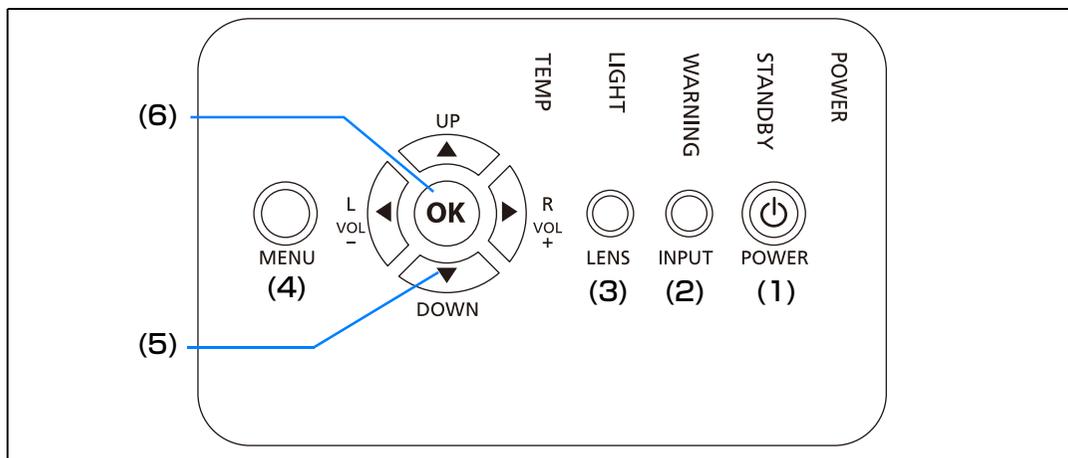
- (10) リモコン受光部 (P28)
- (11) エアフィルター枠 (P182)

### ■ 底面



- (12) 調整脚 (P51)
- (13) セキュリティバー

## ■ 本体操作部



パワー  
**(1) POWER ボタン (P32、P37)**

電源をON / OFFします。

インプット  
**(2) INPUT ボタン (P33)**

投写する入力信号を選びます。

レンズ  
**(3) LENS ボタン**

押すごとに、フォーカス（ピント）調整（P34）、ズーム（画面サイズ）調整（P34）、レンズシフト（画面位置）調整（P47）の画面に切り換わります。調整は【▲】【▼】または【◀】【▶】で行います。

メニュー  
**(4) MENU ボタン (P94)**

投写画面にメニューを表示します。

ボリューム  
**(5) 方向 / VOL ボタン (P92)**

メニュー操作などでは上下左右の方向を指定します。

音量を調整します。

【▲】【VOL +】 ボタンは音量を上げます。

【▼】【VOL -】 ボタンは音量を下げます。

オーケー  
**(6) OK ボタン (P92)**

メニューなどで選んだ項目を確定します。

## ■ LED インジケータ

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。

	POWER	<ul style="list-style-type: none"> <li>POWER（緑）：投写された状態で点灯します。また、下記の状態で点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スタンバイ状態から投写されるまでの間。</li> <li>パワーマネジメントモードで光源を消灯時。</li> </ul> </li> </ul>
	STANDBY	<ul style="list-style-type: none"> <li>STANDBY（赤）：スタンバイ状態で点灯します。また、下記の状態で点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>投写された状態からスタンバイ状態までの間。</li> <li>パワーマネジメントモードで光源を消灯時。</li> </ul> </li> </ul>
	WARNING	<ul style="list-style-type: none"> <li>WARNING（赤）：エラー発生時に点灯または点滅します。</li> </ul>
	LIGHT	<ul style="list-style-type: none"> <li>LIGHT（橙）：光源の異常時に点灯または点滅します。</li> </ul>
	TEMP	<ul style="list-style-type: none"> <li>TEMP（赤）：内部が高温状態になったときに点灯または点滅します。</li> </ul>

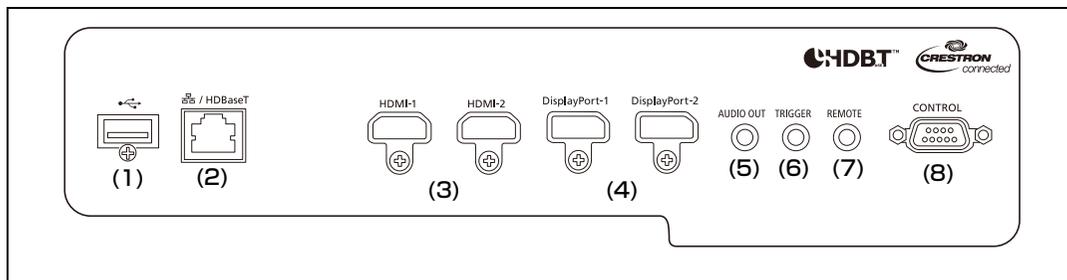
## LED インジケータの表示について

本機の動作状態を各LED インジケータの点滅または点灯で示します。

凡例：[POWER] インジケータの点灯例 □：消灯 ■：点灯 ■：点滅

LED インジケータ					動作状態
POWER (緑)	STANDBY (赤)	WARNING (赤)	LIGHT (橙)	TEMP (赤)	
□	□	□	□	□	電源が接続されていません
□	■	□	□	□	スタンバイ状態です
■	□	□	□	□	電源が入っています（投写しています）
■	□	□	□	□	スタンバイ状態から電源 ON（投写）に移行中です
□	■	□	□	□	電源 ON からスタンバイ、またはパワーマネジメントモードに移行中で、クーリングダウンしています
■	■	□	□	□	パワーマネジメントモードで光源を消灯しています（緑、赤が交互に点滅）
□	■	□	□	■	内部の温度が高くなっています（スタンバイ時）
■	□	□	□	■	内部の温度が高くなっています（投写時）
□	□	■	■	□	光源ユニットのエラーが発生しています
□	□	■	□	■	温度のエラーが発生しています
□	□	■	□	□	3 回点滅：エアフィルターのエラーが発生しています 4 回点滅：ファンエラーが発生しています 5 回点滅：電源のエラーが発生しています 6 回点滅：レンズユニットの装着エラーが発生しています。

## ■ 接続端子



### (1) USB 端子 (P149)

USBメモリを接続する端子です。ファームウェアのバージョンアップに使用します。

### (2) LAN / HDBaseT 端子 (P54、P56)

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むHDBaseTの入力端子です。映像と音声を1本のLANケーブル（シールドタイプ）で入力できます。また、ネットワークに接続することもできます。

### (3) HDMI 端子 (HDMI-1、HDMI-2) (P53)

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むHDMIの入力端子です。映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

### (4) DisplayPort 端子 (DisplayPort-1、DisplayPort-2) (P53)

デジタル映像信号とデジタル音声信号を含むDisplayPortの入力端子です。映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

### (5) 音声出力端子 (AUDIO OUT) (P55)

外部 AV 機器に音声出力するための出力端子です。投写中の映像信号の音声信号が出力されます。

### (6) トリガー端子 (TRIGGER) (P148)

外部のスクリーンなどの機器をプロジェクターの電源に連動して制御するときに使用する端子です。

### (7) 有線リモコン用端子 (REMOTE) (P28)

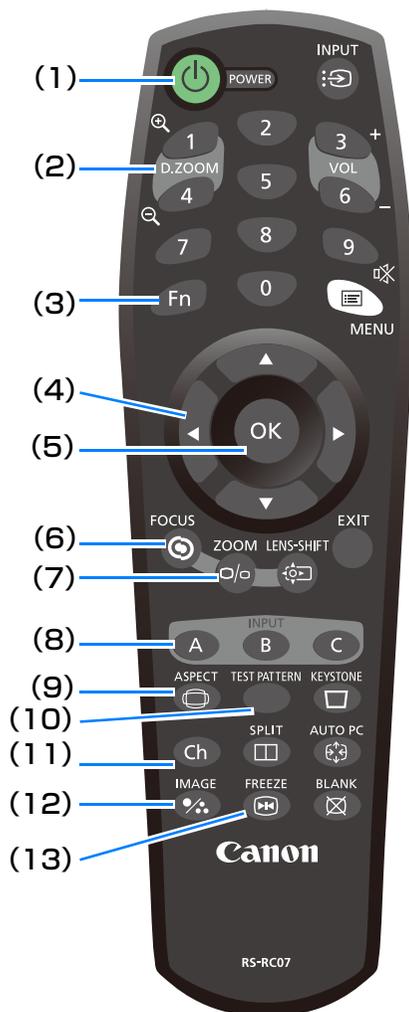
別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続するときに使用する端子です。

### (8) サービス用端子 (P193)

ユーザーコマンド (P194、P195) による制御に使用します。

# リモコン

## ■ 各部の名まえと機能



### (1) パワー POWER ボタン (P32、P37)

電源をON / OFFします。

### (2) デジタルズーム D. ZOOM ボタン

本機では使用しません。

### (3) ファンクション Fn ボタン

本機では使用しません。

### (4) 方向ボタン (P92)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。また、リモコンのチャンネル設定を行います。

### (5) オーケー OK ボタン (P92)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

### (6) フォーカス FOCUS ボタン (P34)

画面のピントを合わせます。

### 【▲】 【▶】 ボタン

ピントの位置を遠くにします。

### 【▼】 【◀】 ボタン

ピントの位置を近くにします。

### (7) ズーム ZOOM ボタン (P34)

画面サイズを調整します。

### 【▲】 【▶】 ボタン

画面サイズを拡大します。

### 【▼】 【◀】 ボタン

画面サイズを縮小します。

### (8) インプット INPUT-A ~ C ボタン (P137)

3つのボタンに入力信号選択機能を割り当てることができます。

### (9) アスペクト ASPECT ボタン (P72、P103)

映像の縦横比(アスペクト)を切り換えます。

### (10) テストパターン TEST PATTERN ボタン (P129)

テストパターンを表示します。

### (11) チャンネル Ch ボタン (P136)

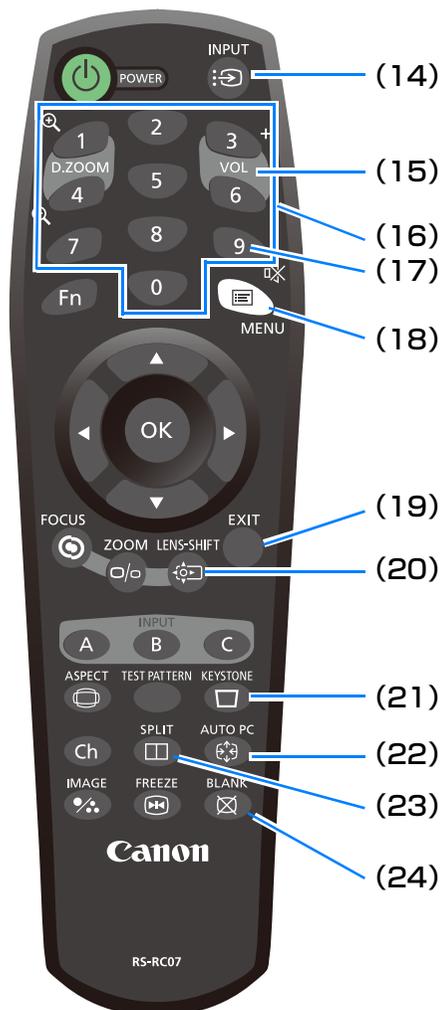
リモコンのチャンネルを切り換えます。

### (12) イメージ IMAGE ボタン (P35)

イメージモード(画質)を切り換えます。

### (13) フリーズ FREEZE ボタン (P38)

映像を静止させます。



インプット  
**(14) INPUT ボタン (P33)**

投写する入力信号を選びます。

ボリューム  
**(15) VOL ボタン (P39)**

音量を調節します。

**【3】 ボタン**  
音量を上げます。

**【6】 ボタン**  
音量を下げます。

**(16) 数字ボタン (P142、P151、P153)**

パスワードや TCP/IP の設定値などの入力をします。

ミュート  
**(17) MUTE ボタン (P40)**

音声を一時的に消します。

メニュー  
**(18) MENU ボタン (P94)**

投写画面にメニューを表示します。

イグジット  
**(19) EXIT ボタン (P93)**

メニュー表示や、テストパターンなどの使用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

レンズシフト  
**(20) LENS-SHIFT ボタン (P47)**

レンズを上下左右に移動します。

**【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタン**  
画面を移動します。

キーストーン  
**(21) KEYSTONE ボタン (P72)**

台形ひずみを調整します。

操作は [キーストーン] の設定により、上下、または左右方向の長さを調整する縦横キーストーンと、各角ごとに調整する 4 点補正があります。

オートピーシー  
**(22) AUTO PC ボタン**

本機では使用しません。

スプリット  
**(23) SPLIT ボタン**

本機では使用しません。

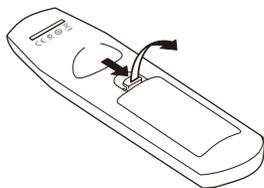
ブランク  
**(24) BLANK ボタン (P38)**

映像を一時的に消します。

## ■ リモコンへの電池の入れかた

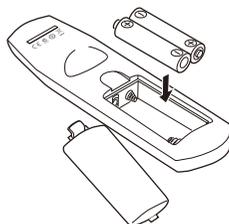
### 1 電池カバーを開く。

押しながらスライドさせて外します。



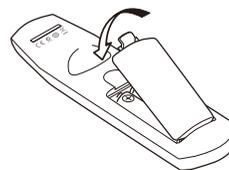
### 2 電池を入れる。

新しい単4乾電池2本を+プラスと-マイナスの向きに注意して入れます。



### 3 電池カバーを閉じる。

スライドさせ、パチンと音が出るまでしっかり閉じます。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因になることがあります。



**警告**



禁止



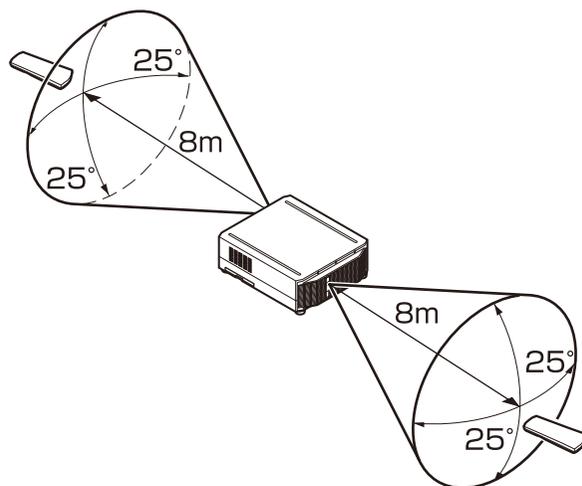
注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。
- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ■ リモコンで操作できる範囲

リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

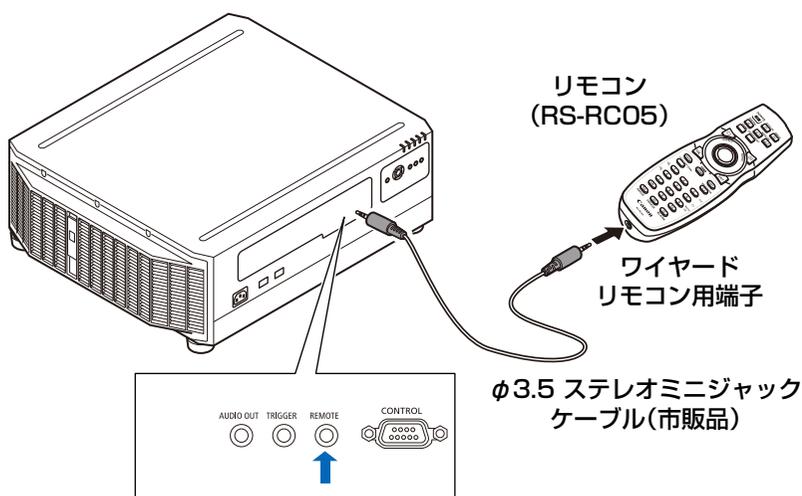


- リモコンは本体から 8m 以内で使用してください。
- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようチャンネル設定を切り換えてください。(P136)

## ■ 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合

リモコンを本体とケーブルで接続して使用したい場合は、別売品の RS-RC05 をご使用ください。

ケーブルは、市販品の  $\phi 3.5$  ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線方式での操作ができません。
- $\phi 3.5$  ステレオミニジャックケーブル(市販品)は、長さ **30m 以下** のものを使用してください。

# 基本編

# 投写のしかた

ここでは、投写までの作業を以下の手順で説明します。

**ステップ1 機器を接続する (P31)**



コンピューターをネットワークに接続する設定をする  
→ P59

**ステップ2 電源を入れる (P32)**



**ステップ3 入力信号を選択する (P33)**



**ステップ4 画面を調整する (P34)**

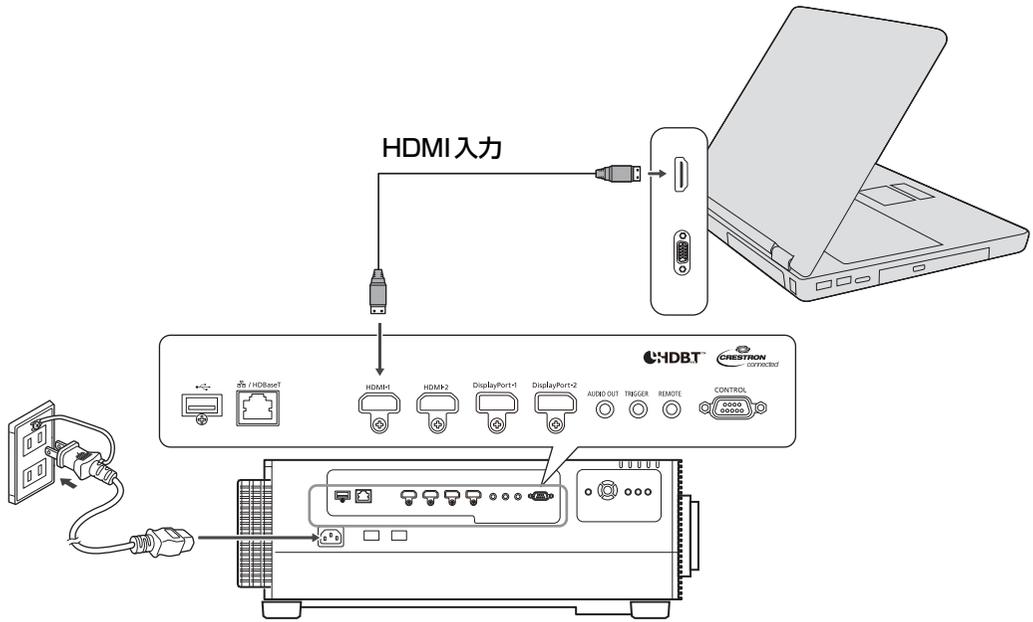


**ステップ5 画質 (イメージモード) を選択する (P35)**



**電源を切る (P37)**

# ステップ 1 機器を接続する



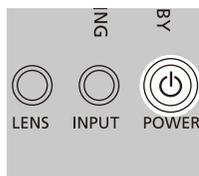
## ステップ 2 電源を入れる

1 【POWER】 ボタンを押します。

リモコン



本体



2 コンピューターまたはその他の機器の電源を入れます。



- メニューの言語を選ぶ画面が表示された場合、方向ボタンで言語を選び、【OK】 ボタンを押してください。
- パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P142、P143)
- 「入力信号がありません」と表示されたときは、【INPUT】 ボタンを押して入力信号を選びます。
- コンピューターの画面が表示できないときは、コンピューターの画面設定を変更してください。コンピューター画面の切り換え方法は、ご使用のコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

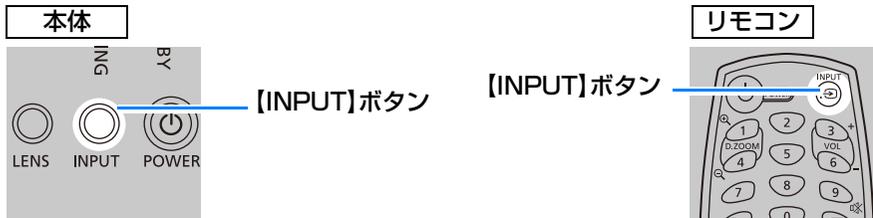
## ステップ3 入力信号を選択する

本機に接続した機器からの映像を切り換えるときは、[インプット] メニューで入力信号を選びます。

【INPUT】 ボタンを押すたび、または [インプット] メニューを表示中に【▲】 【▼】 ボタンを押して切り換えます。

現在投写中の信号に○（緑）が点き、オレンジ色の枠で表示されます。

投写可能な状態の信号は文字が白で表示され、入力のない信号は文字がグレーで表示されます。



- リモコンの【INPUT A】～【INPUT C】ボタンでも、設定により入力信号を選択できます。詳しくは「[INPUT A-C] ボタン設定」(P137) を参照してください。
- 本機は、複数のケーブル（2本）を使用して1つの映像を入力するマルチインプット機能を備えています。複数入力表示として [DP 1x2] が画面に表示され、4K映像などを投写するときに選択します。
- マルチインプットが正しく成立するには、信号間に条件があります。「DisplayPort（マルチインプット）」(P186) を参照してください。

## ステップ4 画面を調整する

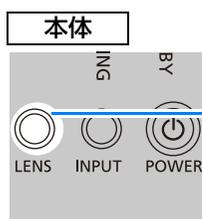
### ■ コンピューターの出力解像度を調整する

本機の最大解像度は4096×2160になります。(P184)

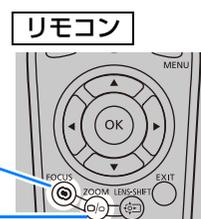
コンピューターの出力解像度を調整する場合はコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

### ■ 画面のピント / 画面サイズを調整する

リモコンの【ZOOM】ボタンを押して画面サイズを調整し、【FOCUS】ボタンを押してピントを調整してください。本体の【LENS】ボタンを1回押すとピントの調整、2回押すと画面サイズの調整ができます。



[LENS]ボタン

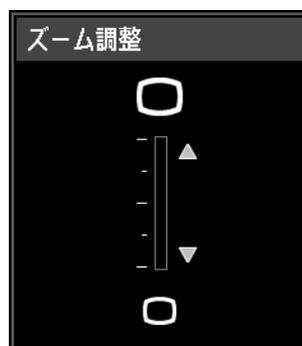


[FOCUS]ボタン

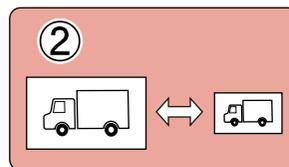
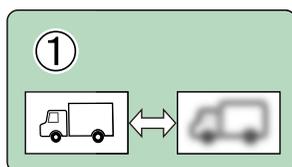
[ZOOM]ボタン



フォーカス調整



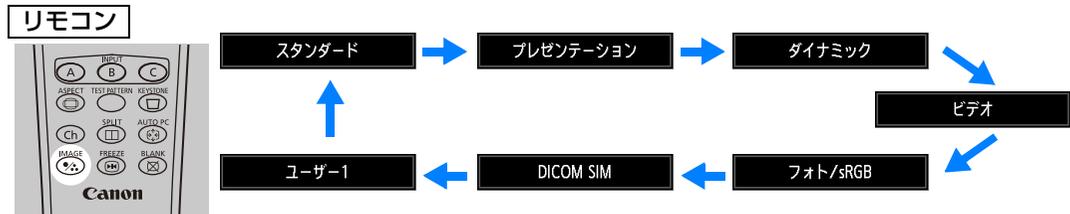
ズーム調整



- 台形ひずみの補正が不十分なときは【KEystone】ボタンで調整してください。(P72)
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード(画質)を選んでください。

## ステップ5 画質（イメージモード）を選択する

リモコンの【IMAGE】ボタンを押し、投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選べます。各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、HDRレンジ、色調整、高度な調整、光源モード（P115）と輝度レベル（P115）の設定ができます。



### ■ イメージモードの種類

イメージモード	効果
スタンダード	(1) 明るい (2) コンピューター画面や映像ソフト（動画） (3) 白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	(1) 明るい (2) 文字を中心とした画像 (3) 画面が明るい
ダイナミック	(1) 明るい (2) 映像ソフト（動画） (3) 画面が明るい
ビデオ	(1) やや暗い (2) ビデオカメラ映像 (3) テレビに近い色表現
フォト/sRGB	(1) やや暗い (2) sRGB 対応のデジタルカメラ画像 (3) sRGB 規格対応
DICOM SIM	(1) やや暗い (2) モノクロ映像（医療用など） (3) DICOM Standard Part 14 規格の GSDF カーブに合わせて調整
ユーザー 1 ~ 5	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを5種類までメモリに登録することができます（P108）。 保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。

## ■ DICOM SIM モードで投写する

本機の DICOM シミュレーションモード（以下、DICOM SIM）では、レントゲンや CT、MRI などのモノクロ医療用の映像を、DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) 規格に近似した階調で投写することができます。通常、DICOM 規格に準じて投写するには、環境に合わせて輝度計を用いたグレースケール階調の補正が必要となります。本機では、あらかじめ環境光に対応した 21 通りの階調設定が用意されており、DICOM テストパターン (P83) を選ぶことで、簡易的に階調の補正を行うことができます。医療についての講演や、学会、院内カンファレンスなどで投写するのに適しています。

**本機は、医療用画像表示用モニタではないため、読影や診断には使用できません。**



- 本機は、経年変化に対する自動輝度補正、または校正機能を搭載していないため、使用時ごとの階調の確認をお勧めします。
- 本機の投写輝度が安定するまで、およそ 30 分かかります。

## DICOM SIM モードの切り換え

- 1 リモコンの [IMAGE] ボタンを [DICOM SIM] と表示されるまで押すか、[イメージ調整] メニューの [イメージモード] から [DICOM SIM] を選びます。



- 2 リモコンの [TEST PATTERN] ボタンまたは [設置設定] メニューの [テストパターン] から [入] を選び、テストパターンを表示させ、[▲] [▼] ボタンで DICOM テストパターンを選択します。



- 3 テストパターンを確認しながら [イメージ調整] メニューの [ガンマ] (P109) 調整を行い最適な映像にします。
- 4 調整が終わったら [OK] ボタンを押します。



以下のいずれかを行って十分な視認性を確保してください。

- 室内の明かりを暗くする。
- 映像サイズを小さくする。
- 投写距離を短くする。

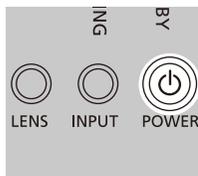
## 電源を切る

### 1 【POWER】 ボタンを押します。

リモコン



本体



### 2 画面の表示中にもう一度【POWER】 ボタンを押します。

電源を切った後、投写光が消え、[STANDBY] インジケーターが赤く点滅して本機の冷却が始まります。本機の冷却が終了するとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態は[STANDBY] インジケーターが点灯に換わります。

#### ! 電源切

もう一度POWERボタンを押すと電源が切れます。



- 電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまでお待ちください。
- 冷却中は、電源を入れることができません。
- 連続使用は、内部光学部品の寿命を縮める原因になることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、日付・時刻の設定がリセットされるため再設定してください。
- パワー管理機能の設定により電源が切れることがあります。(P139)

# 便利な投写のしかた

## 便利な機能

プレゼンテーションなどで便利に使える機能について説明します。

### 映像を一時的に消す

プレゼンテーションが終了したときや、プレゼンテーション時に出席者の注意をスクリーンからそらすときなど、一時的に映像を消すことができます。



リモコンの【BLANK】ボタンを押すと映像が消えます。  
もう一度【BLANK】ボタンを押すと元の映像が表示されます。

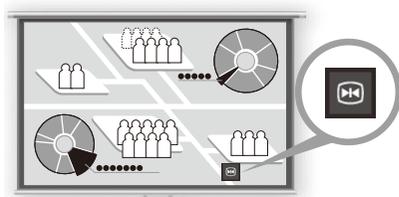
- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。(P131)

### 映像を静止させる

コンピューターから離れて操作するときや、変化する映像を途中で止めて見せるときなど、映像を一時的に静止することができます。



リモコンの【FREEZE】ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。  
もう一度【FREEZE】ボタンを押すと元の映像に戻ります。



スクリーン

- 入力信号がなくなると解除されます。

### メニューからテストパターンを投写する

入力信号がなくても、テストパターンを投写することができます。設置時に投写することで、テストパターンを確認しながら設定することができます。

テストパターンの表示については、「テストパターン」(P129) または、「テストパターンを使って調整する」(P83) をご覧ください。

## エコ設定を行う

省電力に関する機能を設定します。

設定できるのは、以下の4項目です。詳細は、各機能の解説ページを参照してください。

### • 光源モード (P115)

明るさを抑えたモードを選択すると、消費電力を削減できます。

### • スタンバイ電力設定 (P139)

スタンバイ状態時にネットワーク機能の一部を停止し、消費電力を削減する設定です。

### • パワーマネージメントモード (P139)

一定時間入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

### • パワーマネージメント時間 (P140)

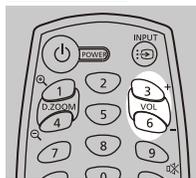
[パワーマネージメントモード] の設定を [消灯]、または [スタンバイ] に設定した際、入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる時間を設定します。

## 音量を調整する

### こんなときに便利

- 本機の音声出力端子に接続した外部スピーカーの音量を調整したいとき

#### リモコン



【VOL】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。



- 本体の【◀】【▶】ボタンでも音量が調整できます。
- 音が出ないときは、コンピューター側の音量調整やミュートなどの設定を確認してください。

## 音声を一時的に消す

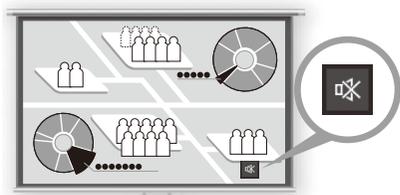
### こんなときに便利

- 一時的に不要な音声を消したいとき
- 急いで音声を消したいとき

#### リモコン



リモコンの【MUTE】ボタンを押すと音声が消え、下のアイコンが表示されます。



スクリーン

もう一度【MUTE】ボタンを押すと元の音量に戻ります。

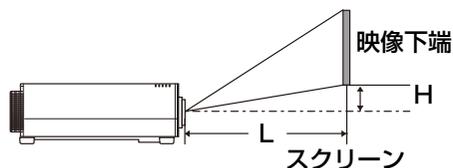
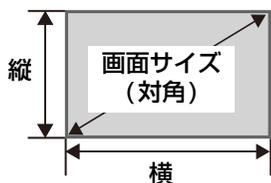
- 音声出力端子で接続したスピーカーなどの音声も消えます。

# 設置編

本機を設置する前に、「設置の前に」(P14)を必ずお読みください。

## 投写距離と画面サイズの関係

投写画面のサイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズームで決まります。次の表を参考に、本機とスクリーンまでの距離を決めてください。



L：投写距離

H：レンズ中心から映像下端までの高さ

レンズユニット		RS-SL01ST	RS-SL02LZ	RS-SL04UL	RS-SL05WZ	高さ H** [cm]					
投写比*		1.38-2.07:1	2.03-3.46:1	3.29-6.43:1	0.93-1.39:1	RS-SL01ST RS-SL02LZ RS-SL04UL RS-SL05WZ					
対角 [型]	画面サイズ [cm]	投写距離 L [m]									
	横	縦	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	ワイド端	テレ端	高さ H** [cm]
40	90	47	1.23	1.85	1.80	3.08	—	—	0.83	1.23	-34 ~ 5
60	135	71	1.85	2.79	2.72	4.65	4.48	8.71	1.25	1.86	-51 ~ 7
80	180	95	2.47	3.72	3.64	6.21	5.94	11.57	1.66	2.49	-68 ~ 9
100	225	118	3.10	4.65	4.56	7.77	7.39	14.44	2.08	3.12	-85 ~ 12
150	337	178	4.65	6.99	6.86	11.68	11.02	21.59	3.12	4.69	-128 ~ 18
200	449	237	6.21	9.32	9.16	15.59	14.65	28.75	4.16	6.27	-171 ~ 24
250	562	296	7.76	11.65	11.46	19.49	18.28	35.90	5.20	7.84	-213 ~ 30
300	674	355	9.32	13.99	13.76	23.40	21.91	43.05	6.24	9.41	-256 ~ 36
350	786	415	10.88	16.32	16.06	27.31	25.54	50.21	7.28	10.99	-299 ~ 41
400	899	474	12.43	18.65	18.36	31.21	29.17	57.36	8.32	12.56	-341 ~ 47
450	1011	533	13.99	20.99	20.66	35.12	32.80	64.52	9.36	14.13	-384 ~ 53
500	1123	592	15.54	23.32	22.96	39.03	36.43	71.67	10.40	15.71	-427 ~ 59
550	1236	652	17.10	25.65	25.26	42.94	40.06	78.83	11.44	17.28	-469 ~ 65
600	1348	711	18.65	27.99	27.56	46.84	43.69	85.98	12.48	18.85	-512 ~ 71

レンズユニット		RS-SL03WF	RS-SL06UW	RS-SL07RST	高さ H** [cm]				
投写比*		0.74:1	0.5:1	1.34-2.35:1	RS-SL03WF	RS-SL06UW	RS-SL07RST		
対角 [型]	画面サイズ [cm]	投写距離 L [m]				RS-SL03WF	RS-SL06UW	RS-SL07RST	
	横	縦	固定	固定	ワイド端				テレ端
40	90	47	0.67	0.45	1.20	2.11	-27 ~ -20	-34 ~ 16	-58 ~ 11
60	135	71	1.00	0.67	1.80	3.17	-41 ~ -31	-51 ~ 23	-87 ~ 16
80	180	95	1.34	0.90	2.40	4.23	-54 ~ -41	-68 ~ 31	-117 ~ 22
100	225	118	1.67	1.12	3.00	5.29	-68 ~ -51	-85 ~ 39	-146 ~ 27
150	337	178	2.50	1.69	4.50	7.93	-101 ~ -76	-128 ~ 59	-219 ~ 41
200	449	237	3.33	2.25	6.01	10.57	-135 ~ -102	-171 ~ 78	-291 ~ 55
250	562	296	4.16	2.81	7.51	13.21	-169 ~ -127	-213 ~ 98	-364 ~ 68
300	674	355	4.99	3.38	9.01	15.86	-203 ~ -153	-256 ~ 117	-437 ~ 82
350	786	415	—	—	10.51	18.50	—	—	-510 ~ 95
400	899	474	—	—	12.01	21.14	—	—	-583 ~ 109
450	1011	533	—	—	13.51	23.78	—	—	-656 ~ 123
500	1123	592	—	—	15.01	26.43	—	—	-729 ~ 136
550	1236	652	—	—	16.52	29.07	—	—	-802 ~ 150
600	1348	711	—	—	18.02	31.71	—	—	-874 ~ 164

\* 投写比は画面サイズ100型投写時の計算値です。

\*\* 高さHはレンズシフトモードが「標準」の場合の計算値です。  
レンズシフトモードが「拡張」の場合の画面位置は「レンズシフト機能で調整する」  
(P49) を参考にしてください。

## レンズユニットの取り付け・取り外し



**警告**

- レンズユニットの取り付け・取り外しを行う場合必ず、電源プラグまたはコネクターを抜いてください。火災や感電・けがの原因になります。
- 本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品などが落下し、けがや故障の原因になることがあります。



**注意**

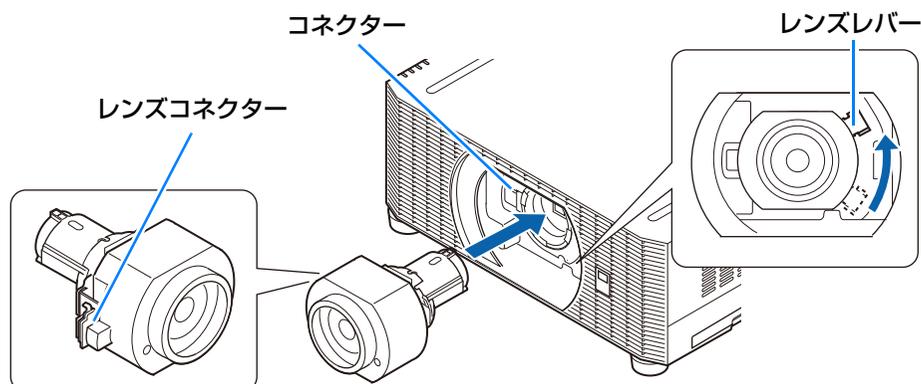
- 本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。
- レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、30分以上経過し、レンズユニットが十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。
- レンズユニットの取り付け、取り外しのとき、レンズ表面を手でさわったり傷をつけたりしないようご注意ください。
- レンズユニットおよびレンズモーターに配線されたリード線などの部品に無理な力を加えないでください。故障の原因になることがあります。
- ホコリの多い場所でのレンズユニット交換は避けてください。本機内にゴミやホコリが入ると画質を損なう原因になります。
- レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットおよびプロジェクター本体の故障の原因になります。
- 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送してください。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットおよびプロジェクター本体の故障の原因になります。
- 適合するプロジェクターの詳細については、販売店にご相談ください。



注意

### ■ レンズユニットを取り付ける

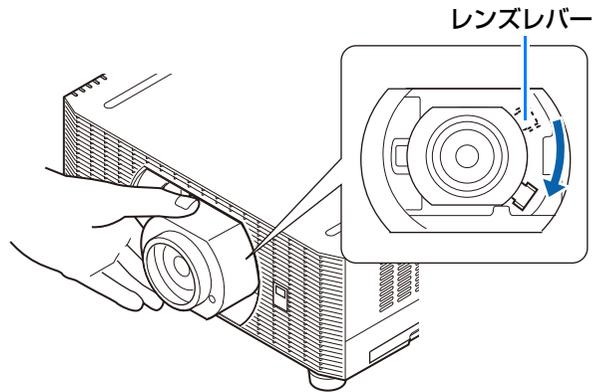
- 1 レンズレバーが上端に来ていることを確認し、本体のコネクターとレンズコネクターの位置が合うように、レンズコネクターを左側に向けてレンズユニットを本体に取り付けます。





レンズユニットの取り付けは、レンズユニットをプロジェクターに対し水平にまっすぐに取り付けてください。斜めに取り付けてしまうと、レンズレバーが動かなかったり、投写の際に画像がくっきり見えなくなることがあります。

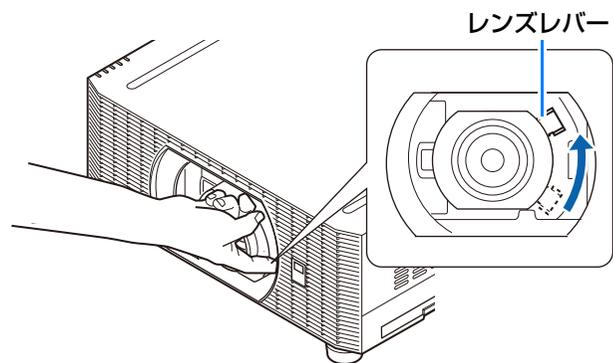
## 2 レンズレバーを時計回りに回し、レンズユニットを固定します。



- レンズユニットを固定する場合、レンズユニットがプロジェクター本体の奥まで入っていることを確認してから、図のようにレンズレバーを下端まで時計回りに回してしっかり固定ください。レンズユニットが奥まで入っていないと、レンズレバーが動かなかったり、投写の際に画像がくっきり見えなくなることがあります。
- 本機にはレンズメモリ機能があります。レンズを交換した後は、レンズメモリの再設定が必要です。  
レンズを交換した後は、電源再投入のタイミングで自動的にレンズシフト位置をレンズシフトモード「標準」(P49)の範囲内へ移動します。
- 交換レンズに付属の使用説明書も参照してください。

## レンズユニットを取り外すには

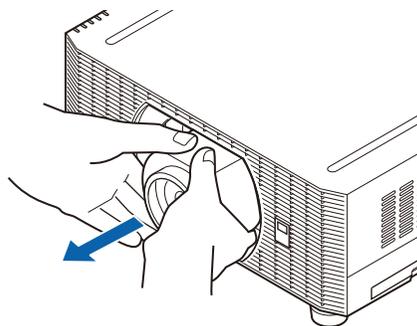
### 1 レンズレバーを上端まで反時計回りに回します。



## 2 レンズユニットを抑えながら引き抜きます。



レンズユニットを取り外す場合、プロジェクター本体に対しレンズユニットを水平にまっすぐ取り出してください。

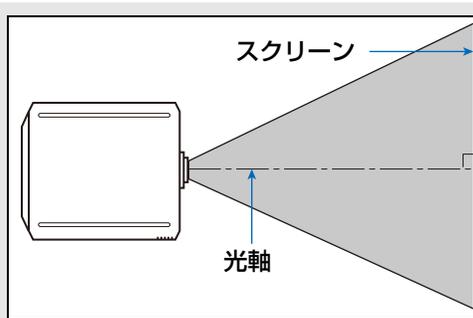


## 設置する

本機をスクリーンの正面に置いてください。



- まっすぐ投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。

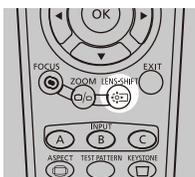


### ■ 机や床に置く（スクリーンより低い場所に設置する）ときは

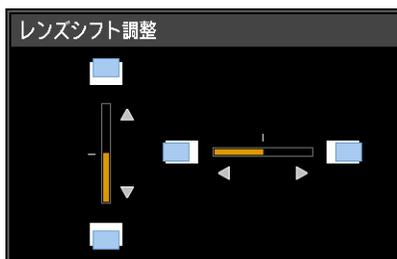
本機の投写位置は、レンズシフト機能か調整脚で調整できます。

**1** リモコンの【LENS-SHIFT】ボタンを押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。

リモコン

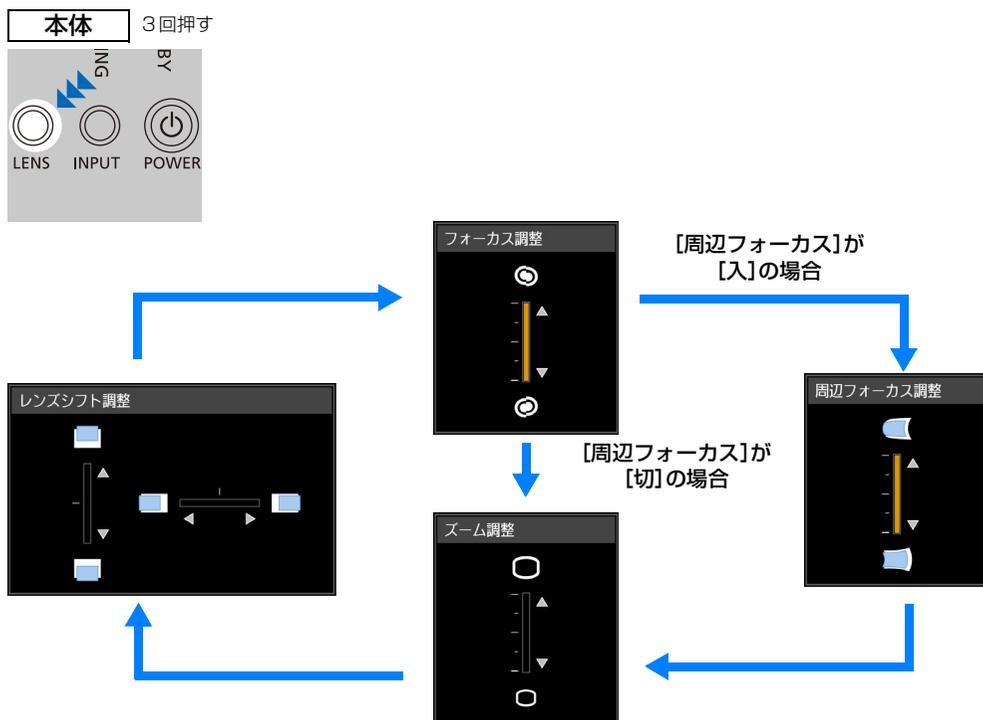


レンズシフト調整



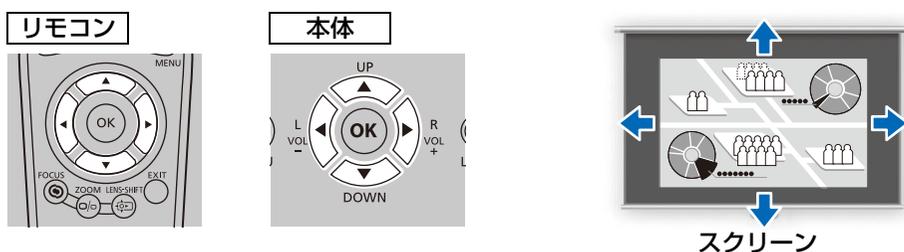
本体の【LENS】ボタンを押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り換わります。

【LENS】ボタンを3回（[周辺フォーカス]が[入]の場合は4回）押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。



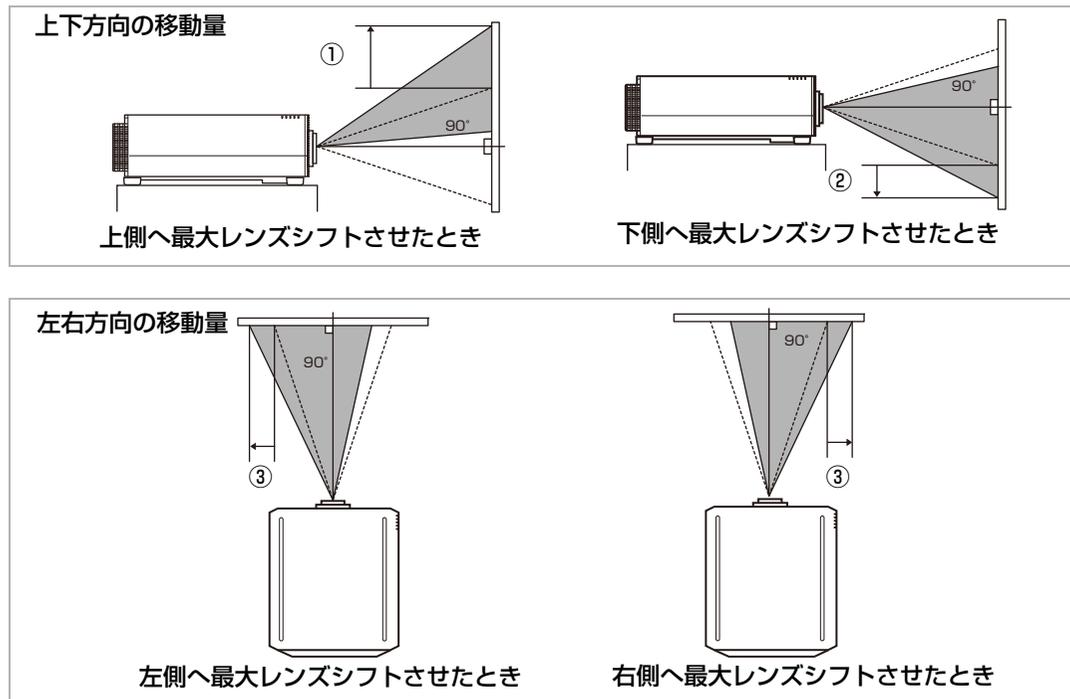
## 2 方向ボタンで調整します。

リモコンまたは本体の【▲】【▼】ボタンを押すと画面の位置が上下に移動します。リモコンまたは本体の【◀】【▶】ボタンを押すと画面の位置が左右に移動します。それぞれのボタンを長押しするとその方向へ画面が動き続けます。



## レンズシフト機能で調整する

投写レンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動することができます。これをレンズシフト機能といいます。本機におけるレンズシフト量は、次の通りです。



## 各交換レンズの移動量

レンズユニット	レンズシフトモード：標準	レンズシフトモード：拡張*
RS-SLO1ST	上 ① : + 60% 下 ② : - 22% 左右 ③ : ± 6%	上 ① : + 104% 下 ② : - 104% 左右 ③ : ± 25%
RS-SLO2LZ		
RS-SLO4UL		
RS-SLO5WZ		
RS-SLO3WF	上 ① : + 7% 下 ② : - 7% 左右 ③ : ± 2%	
RS-SLO6UW	上 ① : + 83% 下 ② : - 22% 左右 ③ : ± 25%	
RS-SLO7RST	上 ① : + 73% 下 ② : - 73% 左右 ③ : ± 11%	

\* レンズシフトモードが「拡張」の場合は、シフト量によって投写映像の画質が低下することがあります。

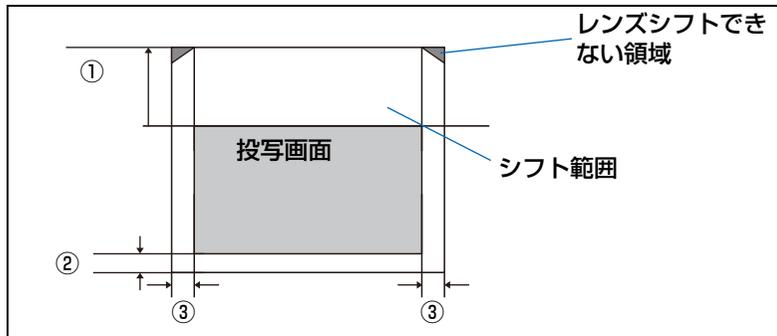


あらかじめ、本機とコンピューターやAV機器（P53）や電源コード（P55）を接続してください。

### レンズシフトできない領域について (レンズシフトモードが「標準」の場合)

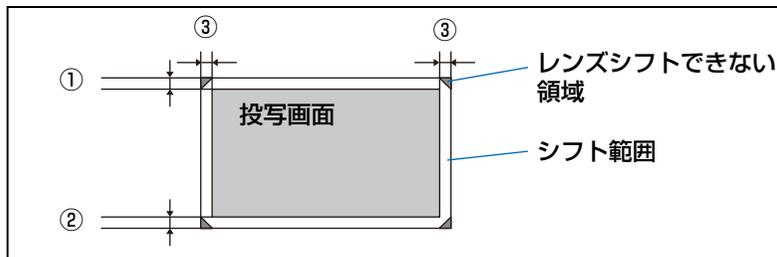
• 各ズームレンズ(RS-SL01ST / RS-SL02LZ / RS-SL04UL / RS-SL05WZ)の場合  
 上方向のシフト量が49%(\*1)を超えると、左右方向にシフトできるシフト量が少なくなります。上方向に最大60%(\*2)までシフトした状態 (①) では、左右方向へのシフトはできなくなります。

超短焦点レンズ (RS-SL06UW) の場合は、(\*1): 32% (\*2): 83%になります。



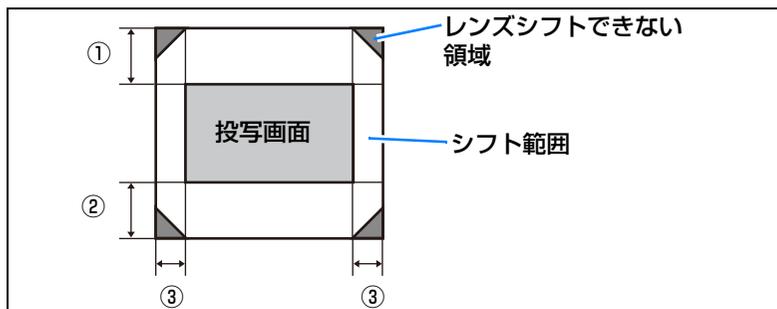
• 固定短焦点レンズ (RS-SL03WF) の場合

上下方向にシフトするほど、左右方向へのシフト量は少なくなります。上下方向に最大7%までシフトした状態では、左右方向へのシフトはできなくなります。



• 4K 標準ズームレンズ (RS-SL07RST) の場合

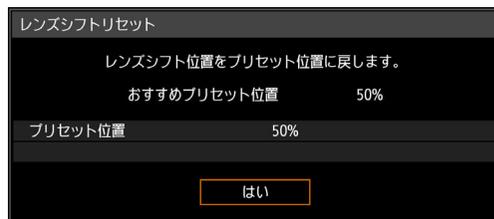
上下方向のシフト量が 55%/-55%を超えると、左右方向にシフトできるシフト量が少なくなります。上下方向に最大 73%/-73%までシフトした状態 (①) では、左右方向へのシフトはできなくなります。



レンズシフトモードを [拡張] にした場合、四隅までレンズシフト可能ですが、画質が低下することがあります。

### 設定位置をリセットするには

画面位置の調整中にリモコンの【LENS-SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンを長押しして、[レンズシフトリセット]画面を表示させます。使用しているレンズに応じた選択肢が表示されるので、方向ボタンでいずれかを選び、【OK】ボタンを押します。



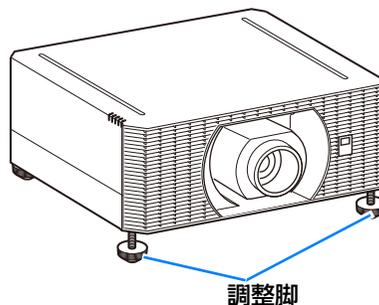
レンズユニットの種類	選択できる項目
RS-SL01ST	50% : 上 50%、左右 0% 0% : 上下左右とも 0%
RS-SL02LZ	
RS-SL04UL	
RS-SL05WZ	
RS-SL06UW	
RS-SL07RST	0% : 上下左右とも 0%
RS-SL03WF	



- リセットの操作をしても選択した位置からわずかにずれることがあります。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト機能を使用して微調整してください。

### 調整脚で投写位置を調整する

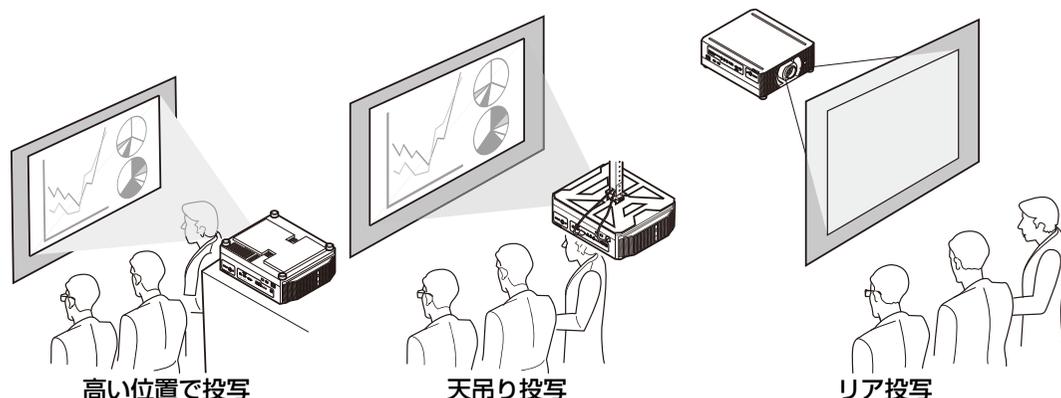
調整脚を使うと最大-1.8° ~ +1.8° の調整が可能です。



## ■ 高い位置で投写したり天吊り、スクリーン裏側から投写するときは

本機を高い棚などの上において投写する方法があります。また、天井から逆さに吊り下げ（天吊り）て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写（リア投写）することもできます。

メニューの [反転表示] (P118) で設置方法に合った投写方法を設定します。



- 1 リモコンまたは本体の【MENU】ボタンを押し、[設置設定] > [反転表示] を選びます。
- 2 設置向きを選びます。

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置するときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げ、リア投写するときに選びます。 上下が反転します。



**警告**

本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。本機が落下して事故やけがの原因になります。

吊り下げで使用するときには、オプションの天吊り金具（品番：RS-CL15）と天吊りアーム（品番：RS-CL17）が必要です。さらに、設置環境に合わせて、延長パイプ（品番：RS-CLO8、またはRS-CLO9）が必要になる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



注意

- 必ず専用の天吊り金具を使用してください。
- お客様による天吊り金具の設置は絶対におやめください。

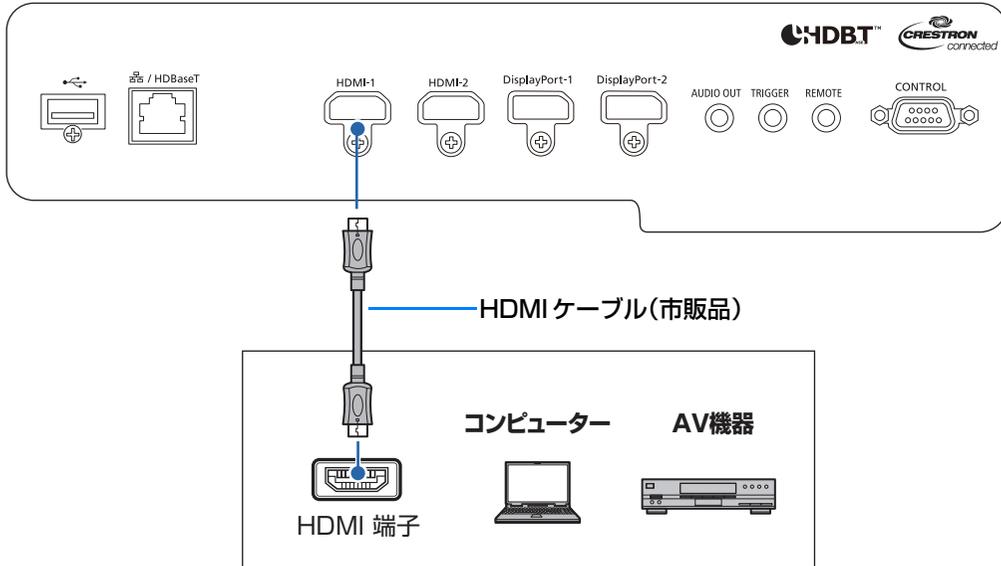
## 機器を接続する



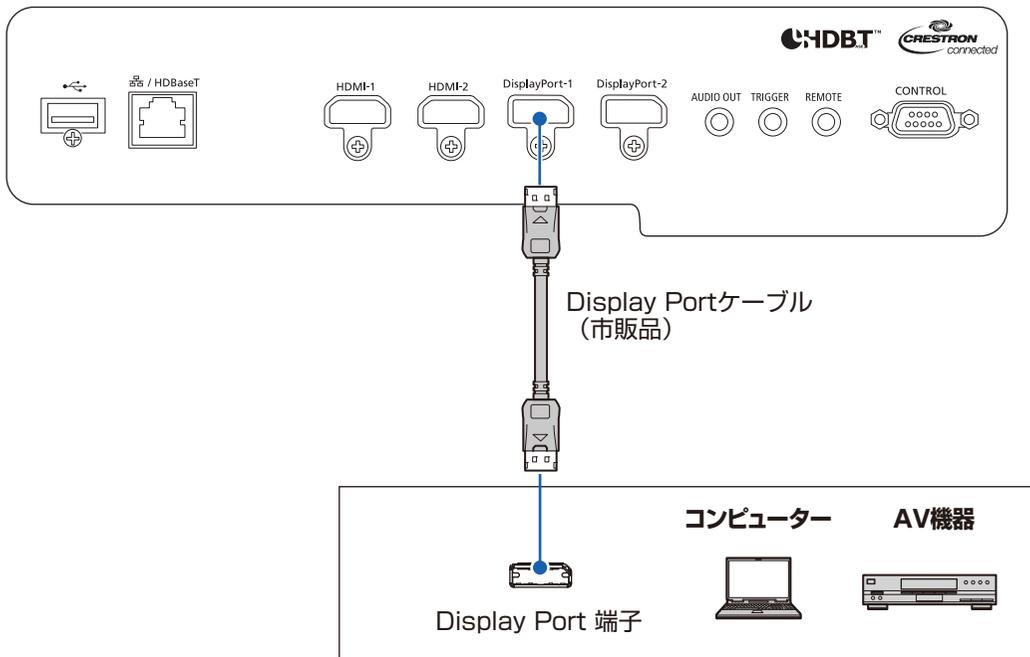
注意

プロジェクターと接続機器の電源を切ってから接続してください。

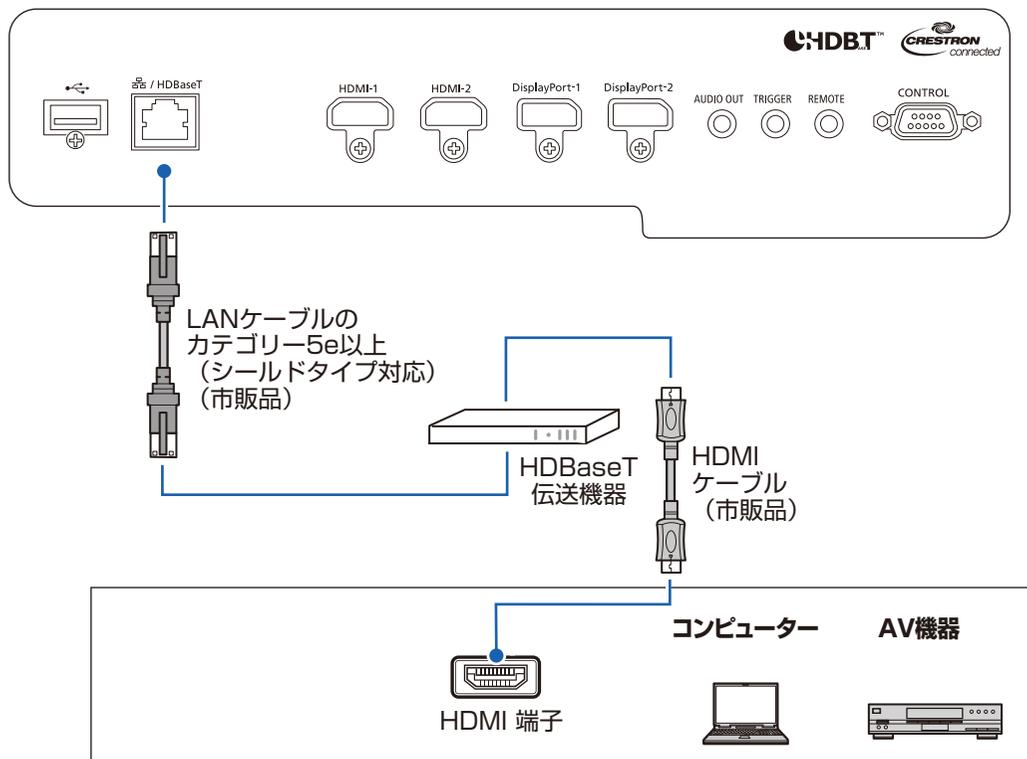
### ■ HDMI 入力端子と接続



### ■ DisplayPort 端子と接続



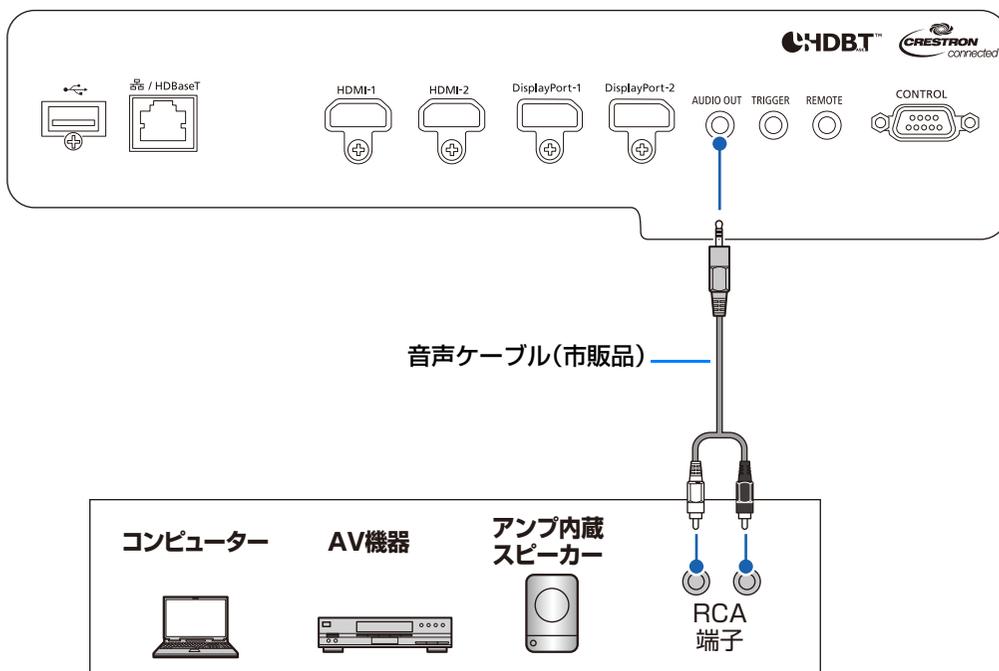
## ■ LAN / HDBaseT 端子と接続



### 📄 HDBaseT について

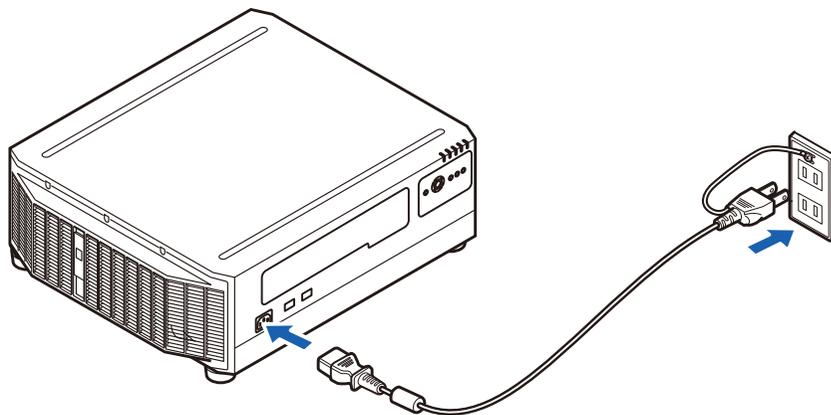
- ケーブルはカテゴリ 5e 以上（シールドタイプ対応）を使用してください。
- 伝送可能な距離は最長 70m です（2K 映像信号の場合は最長 100m）。
- ご使用の環境によって伝送距離が短くなることがあります。
- LAN ケーブルは巻いたり、束ねた状態で使用しないでください。
- 投写中に LAN ケーブルを抜き差しすると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は市販されているすべての HDBaseT 伝送機器との接続を保証するものではありません。
- 一部の HDBaseT 伝送機器を経由して、入力機器を本プロジェクターに接続した場合、正常に表示できないことがあります。

## ■ 音声出力端子と接続



## ■ 電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。



**警告**



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを長期間抜いた状態が続くと、[日付・時刻設定] がリセットされる場合があります。(P143)

## ネットワークに接続する

### ■ ネットワーク接続の概要

本機（プロジェクター）をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。

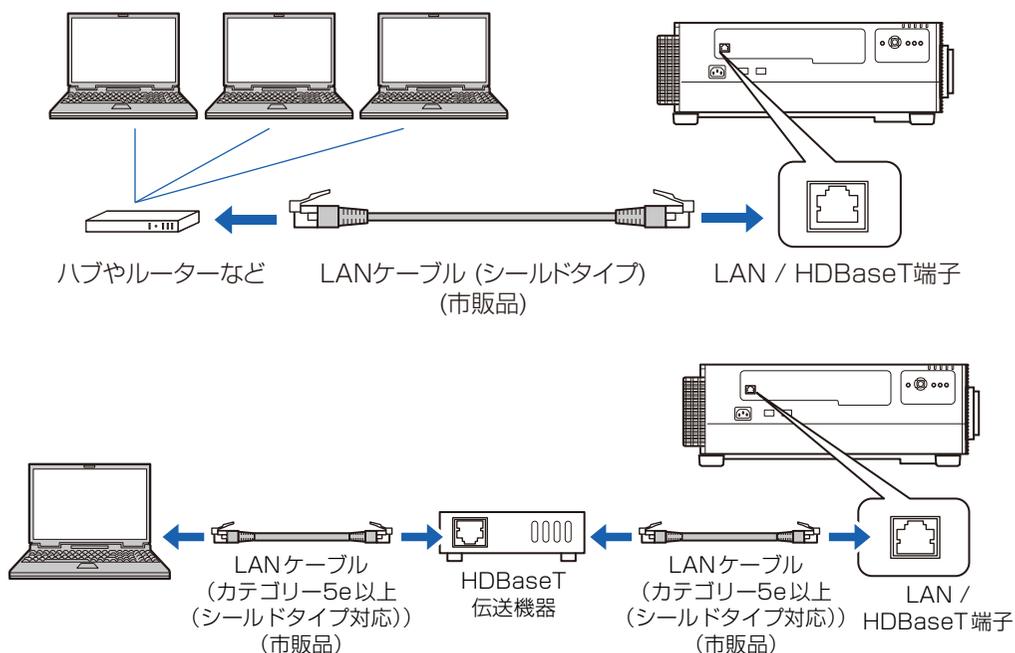
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。

### ■ 接続方法について

有線LANと無線LANで接続することができます。

#### 有線 LAN

プロジェクターとコンピューターを、LANケーブルを介してネットワーク環境に接続します。プロジェクターのLAN / HDBaseT 端子にLANケーブルを接続して通信します。

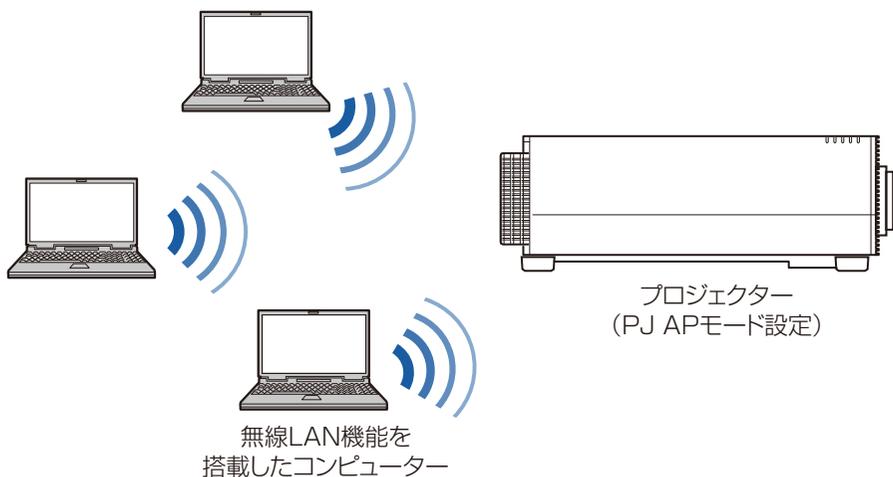


#### 無線 LAN

##### • PJ AP（プロジェクターアクセスポイント）モード

プロジェクターをアクセスポイントとして動作させ、無線LAN機能を有するコンピューターとダイレクトで通信することができます。

同時に最大5台までの機器が接続できます。



PJ AP モードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。

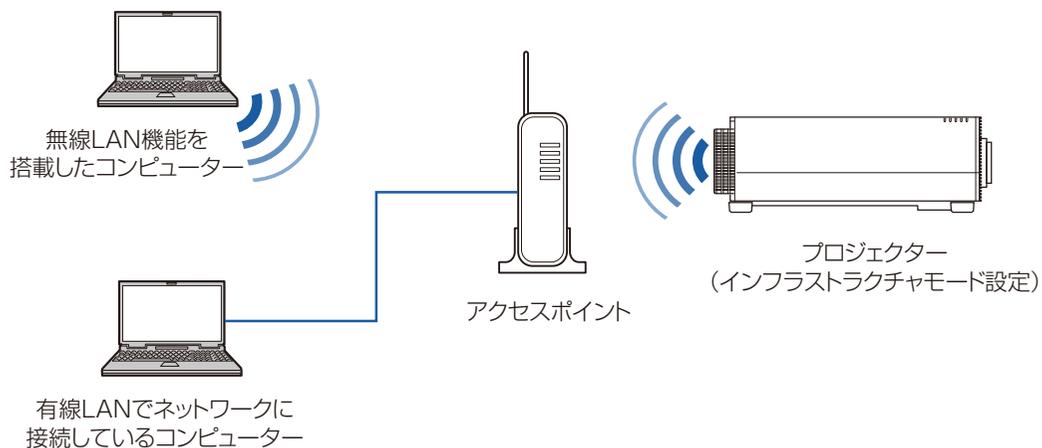
- Web 機能
- ユーザーコマンド機能
- SNMP 機能

上記以外のネットワーク機能 (PJLink、Mail、AMX Device Discovery、Crestron RoomView) は使用できません。

## • インフラストラクチャモード

プロジェクターを無線 LAN クライアントとして動作させ、無線 LAN アクセスポイントに接続することができます。

コンピューターとプロジェクターは、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。



### ネットワークの接続について

- インフラストラクチャモードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。

- Web 機能
- Mail 機能
- ユーザーコマンド機能
- SNMP 機能

上記以外のネットワーク機能（PJLink、AMX Device Discovery、Crestron RoomView）は使用できません。

- インフラストラクチャモードを使用する場合、以下の制約があります
  - アクセスポイントのSSIDにASCIIコード（半角英数字、半角記号）以外の文字を使用されている場合、検索結果が文字化けして表示される可能性があります。
  - アクセスポイントのSSIDにASCIIコード（半角英数字、半角記号）以外の文字が使用されている場合、接続の保証はできません。

同じSSIDを使用しているアクセスポイントが複数あった場合、信号強度の強いアクセスポイントだけが検索結果に表示されます。

- プロジェクターの [ネットワーク（有線/無線）] の設定が [切/切]（ネットワーク接続が無効）になっている場合は、使用する有線 LAN または無線 LAN を [入] に変更してください。（P152）無線 LAN は、接続するモードを選んでください。

- LAN / HDBaseT 端子の通信速度は 100Mbps（上限値）です。

- 「インフォメーション」（P165）を参照して、プロジェクターの IP アドレスが、ネットワーク上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターの IP アドレスを設定する場合は、「有線 LAN 基本情報の設定 [Wired]」（P172）または、「無線 LAN 基本情報の設定 [Wireless]」（P174）の手順に従って Web 画面で行うか、プロジェクターの「詳細設定（有線）」（P153）、「詳細設定（無線）」（P157）を使用して行います。

- 接続するネットワーク環境で DHCP サーバーが稼動している場合は、プロジェクターの [DHCP] 画面で [入] を選択し、DHCP 機能（P153、P159）を有効にして接続することができます。



- 有線 LAN とインフラストラクチャモードは同時に使用できません。
- PJ AP モードとインフラストラクチャモードは同時に使用できません。
- 有線 LAN と PJ AP モードは同一のサブネットワーク内では使用できません。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

## ■ コンピューターのネットワーク設定をする

コンピューターのIPアドレス（有線または無線）を設定する方法をOSごとに説明します。

### Windows 10 の場合

- 1 画面左下のスタートボタン（Windows ロゴ）をクリックします。
- 2 表示されるスタートメニューのプログラム [Windows システムツール] から [コントロールパネル] をクリックします。
  - Windows 10 のバージョンによっては、[Windows システムツール] は [すべてのアプリ] をクリック後に表示されます。
- 3 [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
  - アイコン表示の場合  
[ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 4 [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 5 有線LANの場合は [イーサネット]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 6 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。
- 7 [次のIP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 8 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[イーサネットのプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

### Windows 8.1 の場合

- 1 スタート画面左下の下向き矢印をクリックします。
- 2 [コントロールパネル] をクリックします。
  - デスクトップ画面から操作する場合  
キーボードの [Windows ロゴ] キー と [X] キーを同時に押します。  
画面左下に表示されるショートカットメニューから [コントロールパネル] をクリックします。

- 3** [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
  - アイコン表示の場合  
[ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 4** [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 5** 有線 LAN の場合は [イーサネット]、無線 LAN の場合は [Wi-Fi] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 6** [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど) をメモしておきます。
- 7** [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 8** 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

### Windows 7 の場合

- 1** コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開きます。
- 2** [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
- 3** ウィンドウの左側のメニューにある [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 4** 有線 LAN の場合は [ローカルエリア接続]、無線 LAN の場合は [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。
- 5** [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど) をメモしておきます。
- 6** [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 7** 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカルエリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

## Mac OS X の場合

- 1 アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの [ネットワーク] をクリックし、ネットワーク画面を表示します。
- 3 有線LANの場合は [内蔵 Ethernet]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を選び、[詳細] を選択します。
- 4 [TCP/IP] タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定 (IPアドレスやサブネットマスク、ルーター、DNSサーバーなど) をメモします。
- 5 新しいネットワーク環境を作成し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。  
プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 6 [OK] をクリックし、[適用] を選択してネットワーク画面を閉じます。

## コンピューターのIPアドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

## ■ ネットワークを設定する

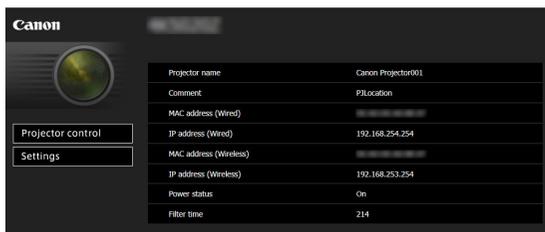
### ネットワーク設定画面の表示

- 1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。



プロジェクターの電源プラグをコンセントにさし、通電してから約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

- 2 Web ブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターのIPアドレス)」を入力して [Enter] キーを押します。  
プロジェクターの Web 画面が表示されます。



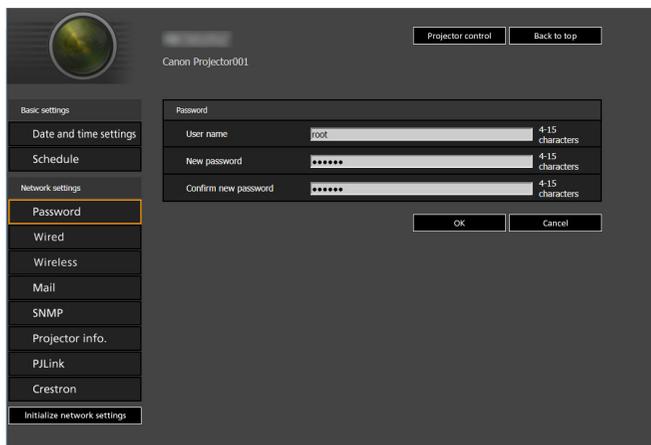
表示される情報は次の通りです。

Projector control	プロジェクターコントロール画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメント
MAC address (Wired)	有線 LAN の MAC アドレス
IP address (Wired)	有線 LAN (IPv4) の IP アドレス
MAC address (Wireless)	無線 LAN の MAC アドレス
IP address (Wireless)	無線 LAN (IPv4) の IP アドレス
Power status	プロジェクターの電源の状態
Filter time	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ (エラーが発生した場合) Temperature abnormality : 温度エラー Light source abnormality : 光源エラー Faulty air filter unit : エアフィルターエラー Faulty cooling fan : ファンエラー Faulty power supply : 電源エラー Faulty lens : レンズエラー



工場出荷時の有線 LAN (IPv4) の IP アドレスは「192.168.254.254」、無線 LAN (IPv4) の IP アドレスは「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。(P153)

- 3 Web 画面の [Settings] をクリックします。  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。  
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。  
セッティング画面が表示されます。この画面でネットワークの設定を行います。



プロジェクターの Web 画面について詳しくは、「プロジェクターの Web 画面メニューの説明」(P166) をご覧ください。



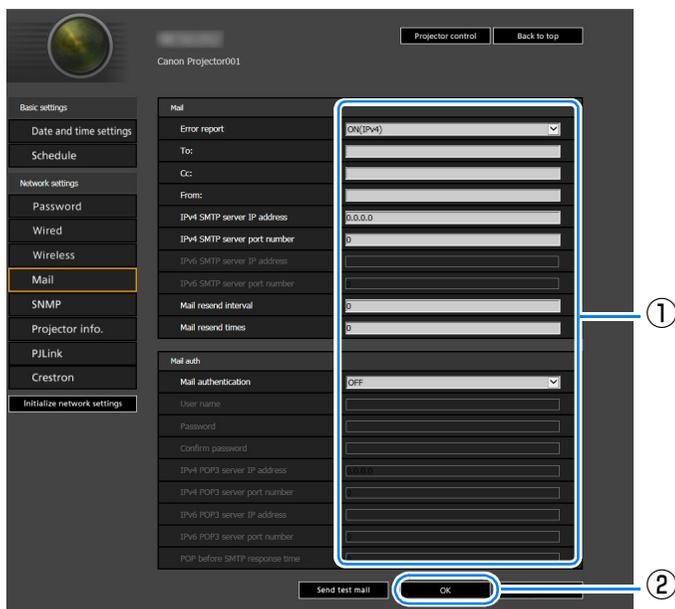
コンピューターからプロジェクターを制御する場合は [Projector control] をクリックします。(P70)

## ネットワークの設定

- 1 セッティング画面のメニューから、設定したい機能を選択します。



**2** 表示された各欄に設定内容を入力し (①)、[OK] をクリックします (②)。



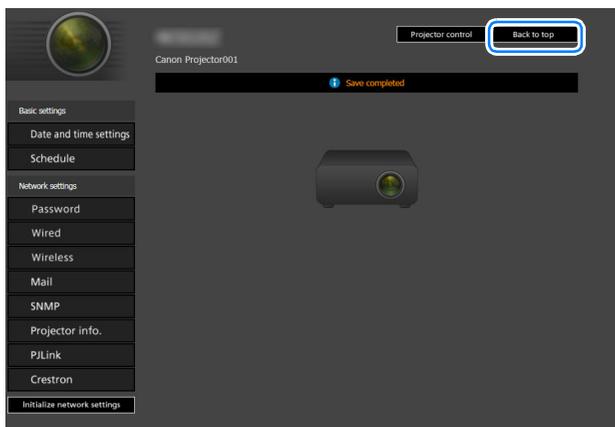
**3** 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ [Apply] をクリックします。



設定内容がプロジェクターに反映されます。

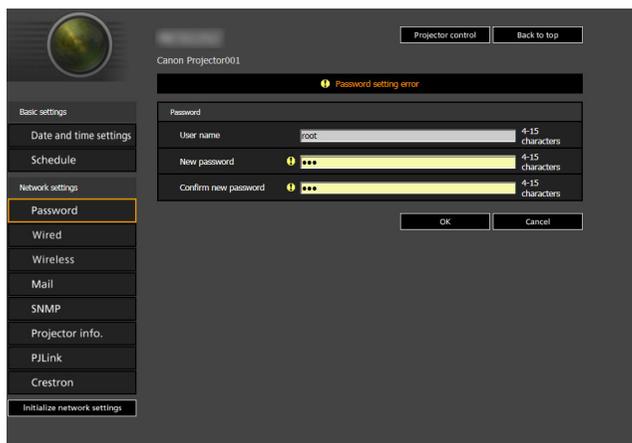
メニューで「Wired」や「Wireless」、[Password] を選択していた場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。

それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。[Back to top] をクリックし、Web 画面のトップ画面に戻ります。



## 設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因になっている入力欄に「!」マークが表示されます。



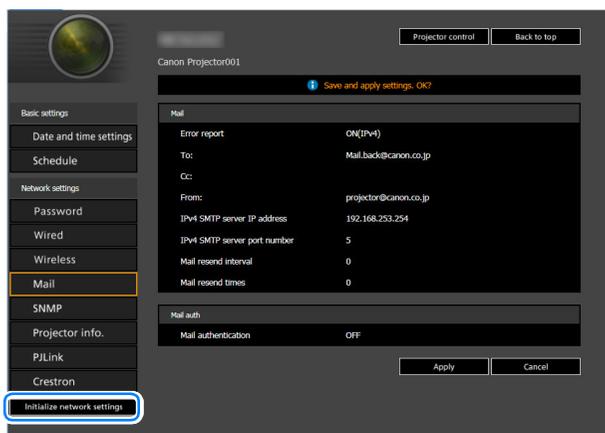
エラーの意味は以下の通りです。

エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証に失敗した。

エラー	意味
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信に失敗した。
Wired network is down	有線 LAN のネットワーク機能が無効に設定されている。
At the time of Monday, it is already set.*	指定した曜日と時間に既にスケジュールが設定されているため、スケジュールの設定に失敗した。 * 曜日によりメッセージが異なります。
Wireless network is Projector access point mode	PJ AP モードで接続されている。
Wireless network is down	無線 LAN のネットワーク機能が無効に設定されている。

## ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻す

- 1 「ネットワークを設定する」(P61) の手順 1～3 を行い、セッティング画面を表示します。
- 2 [Initialize network settings] をクリックします。



- 3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

## ■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

### エラー表

温度に関する エラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The temperature inside the projector is too high for some reason or the outside air temperature is higher than the operating range. If the problem is inside the projector, check whether the projector is installed and operating normally, unplug the projector from the power outlet to cool down the projector interior and then restart projection. If the air intake or exhaust vent is blocked, remove the obstacle. If the air filter is clogged, replace it. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
光源に関する エラー	件名	Light source abnormality
	本文	The light source does not illuminate. Restart the projector and check projection. If the light source does not illuminate after this, the light source drive circuit may be damaged. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	光源が点灯しません。電源を入れ直して、投写されるか確認してください。それでも光源が点灯しない場合は、光源の駆動回路などの故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter is not installed correctly. Install the air filter correctly and restart the projector. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し、電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	There may be a malfunction in the cooling fan or another component. Unplug the projector from the power outlet, then plug it back into the outlet and turn on the projector again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	Abnormal voltage is applied to some parts in the power supply or another failure may have occurred. Unplug the projector from the power outlet, then plug it back into the outlet and turn on the projector again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Unplug the projector from the power outlet. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いてください。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

レンズに関する エラー	件名	Faulty lens
	本文	The lens unit is not installed correctly. Unplug the projector, install the lens unit correctly, and then plug the projector in again. If the same warning occurs again, there may be a malfunction in the projector. Contact the Canon Customer Support Center.
	内容	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キャノンお客様相談センターにご連絡ください。

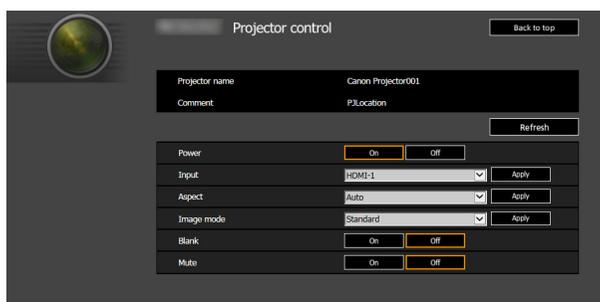
## コンピューターからプロジェクターを制御する

本機を有線 LAN または無線 LAN に接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

- 1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターの IP アドレス)」を入力して [Enter] キーを押します。  
プロジェクターの Web 画面が表示されます。

 工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。(P153)

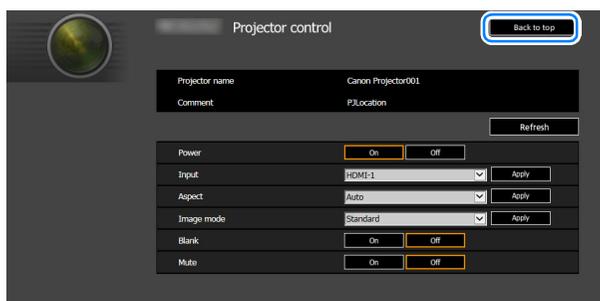
- 3 Web画面の [Projector control] をクリックします。  
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。  
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。  
プロジェクターコントロール画面が表示されます。



この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P179)
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを表示します。(P179)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源をオン / オフします。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P33)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P72)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P35)
Blank	ブランク設定のオン / オフを切り換えます。(P38)
Mute	ミュート設定のオン / オフを切り換えます。(P40)
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

**5** 作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、Web画面のトップ画面に戻ります。

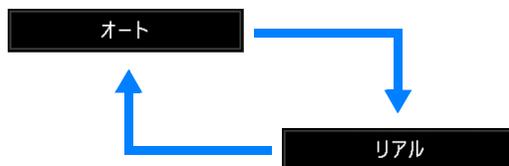


## スクリーンのサイズに合わせて投写する

### ■ アスペクトを選ぶ

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせてアスペクトを選びます。

リモコンの【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。\*



選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
リアル*	入力信号の解像度そのまま投写します。最大解像度以下の解像度のコンピューター画面をより鮮明に投写するときを選んでください。

\* 入力信号や解像度により選択できない場合があります。選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。



【映像設定】 > 【アスペクト】 で表示されるメニューからも切り換えられます。(P103)

## 台形ひずみを調整する

台形ひずみ（キーストーン）補正の方法には、縦横キーストーン補正と4点補正の2種類があります。

縦横キーストーン補正では、上下、または左右方向の長さ（ひずみ）を個別に調整し、4点補正では投写画面の四隅の位置をそれぞれ調整します。

リモコンの【KEYSTONE】ボタンでキーストーンの補正ができます。

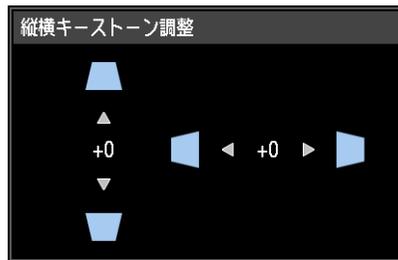
### ■ 縦横キーストーンで補正する

1 【設置設定】 > 【キーストーン】 > 【縦横キーストーン】 を選びます。

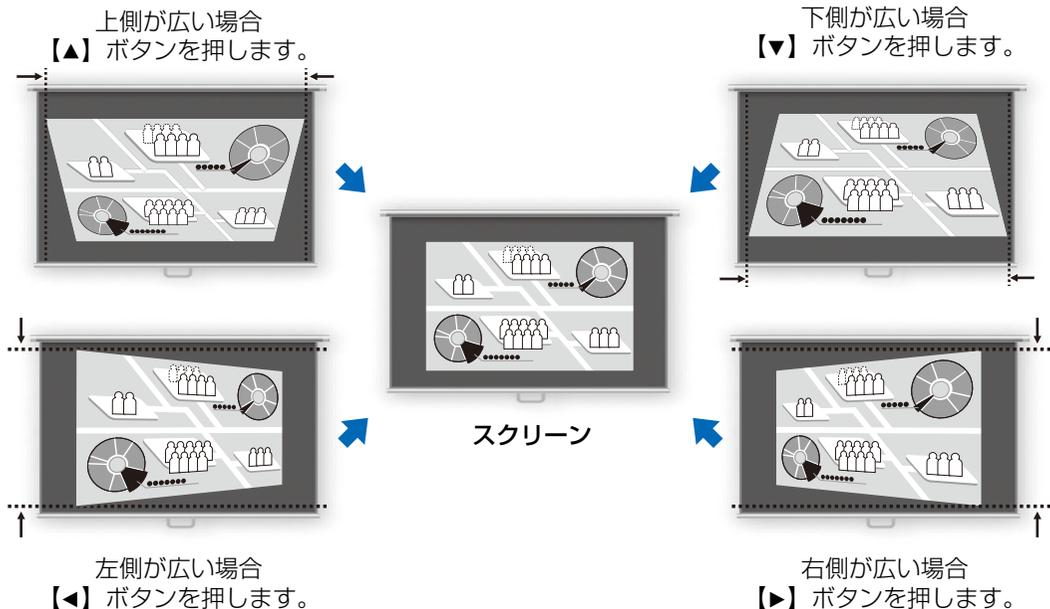


リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押しても縦横キーストーン調整画面が表示されません。

リモコン



## 2 方向ボタンで調整し、【OK】ボタンを押します。



- キーストーンが「縦横キーストーン」に設定されているときは「ズーム」(P119)は使えません。
- 縦横キーストーン範囲は使用するレンズ、レンズのズーム位置、シフト位置により異なる場合があります。

## ■ 4点補正で補正する

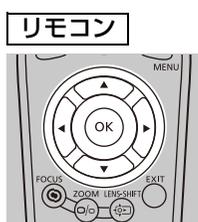
1 [設置設定] > [キーストーン] > [4点補正] を選びます。



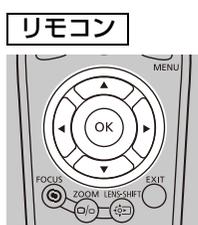
リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押しても4点補正画面が表示されます。



2 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。



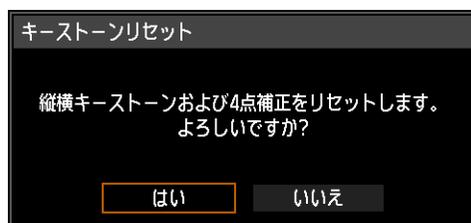
## 3 方向ボタンで調整し、【OK】 ボタンを押します。



 キーストーンが [4点補正] に設定されているときは [ズーム] (P119) は使えません。

## 補正をリセットするには

リモコンの【KEYSTONE】 ボタンを2回押し  
て [キーストーンリセット] 画面を表示させ、  
[◀] ボタンで [はい] を選び、【OK】 ボタンを  
押します。



## 高度なレジストレーションにより投写画面を調整する

画面内の各領域によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、各領域ごとに微調整できる機能です。

画面の四隅と中央の計5点を調整する5点調整と、54点（縦6×横9）で細かく調整するマニュアル調整があります。

5点調整してからマニュアル調整を行うと、5点調整の値をそのまま引き継ぎます。5点調整後に、さらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。



- ズームやレンズシフト調整をする場合は、[高度なレジストレーション] の調整前に行ってください。
- キーストーン補正を行っているとき [高度なレジストレーション] は正しく調整できません。キーストーン補正が必要な場合は、[高度なレジストレーション] の調整を先に行ってください。

### ■ 5点調整を行う

5点調整は、画面の四隅と中央の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正できます。

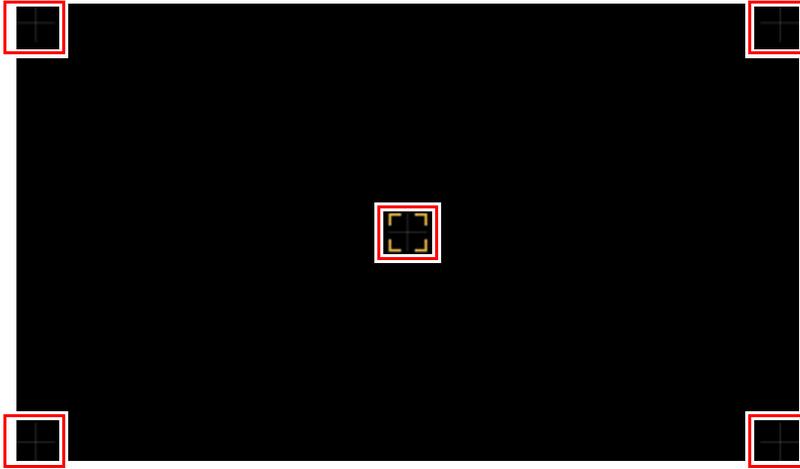
**1** [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[RGBアライメント]、[高度なレジストレーション]、[調整]、[5点調整]、[調整] の順に選びます。

5点調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。



高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け処理をした箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

- 2** 【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタンで調整する点を選び、【OK】 ボタンを押します。  
色選択モードになります。

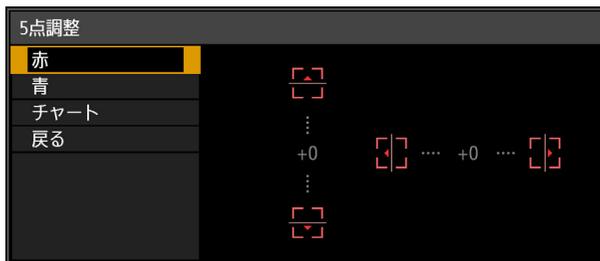


☰ 【MENU】 ボタンを押すと、[高度なレジストレーション] に戻ります。

- 3** 色種の [赤] または [青] を選び、【OK】 ボタンを押します。

- ☰
- ここで [チャート] を選び、【OK】 を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
  - テストパターンを表示した状態で5点調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

- 4** 【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。



- 5** 【OK】 ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。

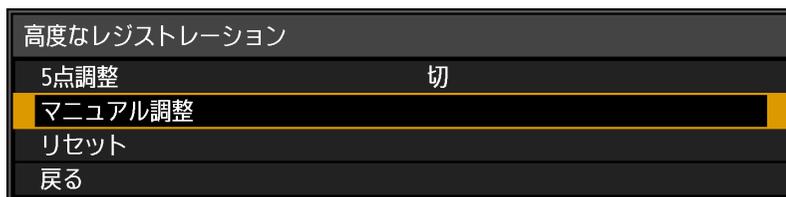
- 6** 残りの色種や調整点も同様に調整します。

### ■ マニュアル調整を行う

画面の部分的なレジストレーションを調整したい場合は、マニュアル調整を行います。

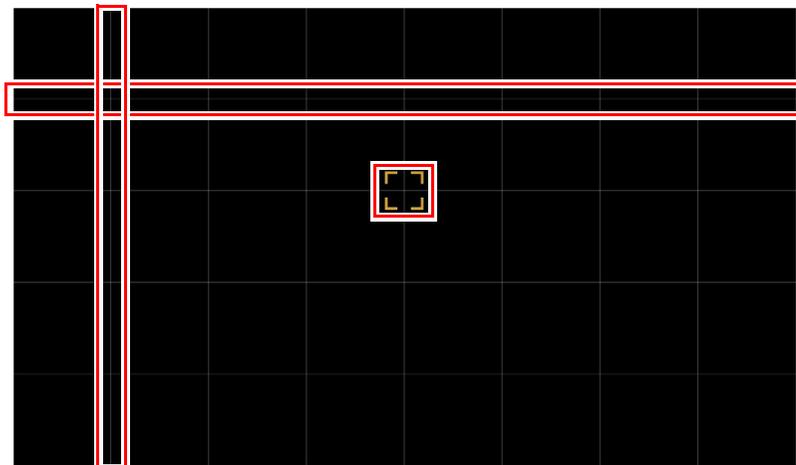
 マニュアル調整から5点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整の値はリセットされます。

- 1 **【設置設定】** メニューから、**【プロフェッショナル設定】**、**【RGBアライメント】**、**【高度なレジストレーション】**、**【調整】**、**【マニュアル調整】** の順に選びます。  
マニュアル調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。



 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

- 2 **【▲】【▼】【◀】【▶】** ボタンで調整する点を選び、**【OK】** ボタンを押します。  
色選択モードになります。



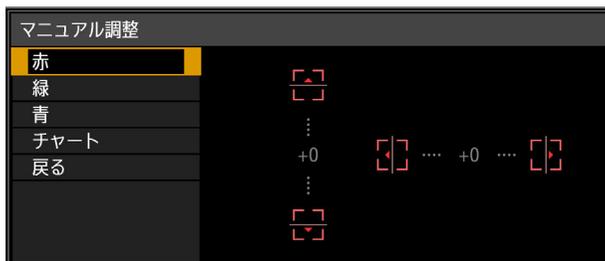
 **【MENU】** ボタンを押すと、**【高度なレジストレーション】** に戻ります。

### 3 色種を [赤]、[緑]、[青] から選び、[OK] ボタンを押します。



- ここで [チャート] を選び、[OK] を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
- テストパターンを表示した状態でマニュアル調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

### 4 [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。



### 5 [OK] ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。

### 6 残りの色種、残りの調整点も同様に調整します。

## ■ 調整をリセットする

5点調整、マニュアル調整の設定値をリセットします。

### 1 [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[RGBアライメント]、[高度なレジストレーション]、[調整]、[リセット] の順に選びます。

リセット確認の画面が表示されます。

### 2 [はい] を選んで、調整をリセットします。

以下の処理を実行します。

- 5点調整の設定値をリセットする
- 5点調整を [切] にする
- マニュアル調整の設定値をリセットする

#### 高度なレジストレーション確認

装着されている投写レンズが前回投写時と異なります。  
高度なレジストレーションの設定を確認してください。

【はい】を選ぶと、  
このメッセージが表示されなくなります。

はい

いいえ

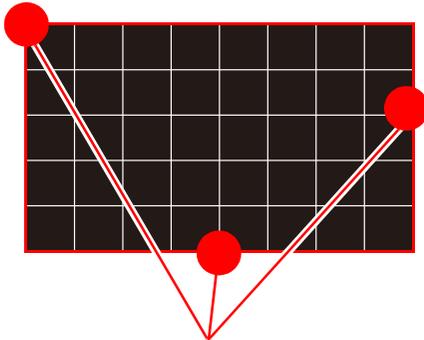
レンズ交換を行っても、高度なレジストレーションの設定値は初期化されません。ただし、高度なレジストレーションの設定値がいずれかの調整点で初期値と異なる値に設定されている場合、レンズ交換後に起動したとき、高度なレジストレーションの設定確認を促すメッセージが表示されます。

## 部分歪み補正により投写画面を調整する

投写画像の部分的な歪み（ゆがみ）を領域ごとに微調整できる機能です。赤、緑、青の3色を同時に調整します。



- 「高度なレジストレーション」とは独立した調整ができます。
- 最外縁の調整点から投写画像の外側方向へ調整することはできません。

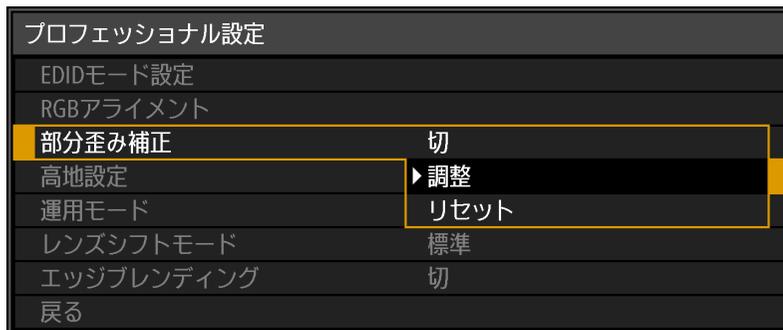


### ■ 部分歪みを補正する

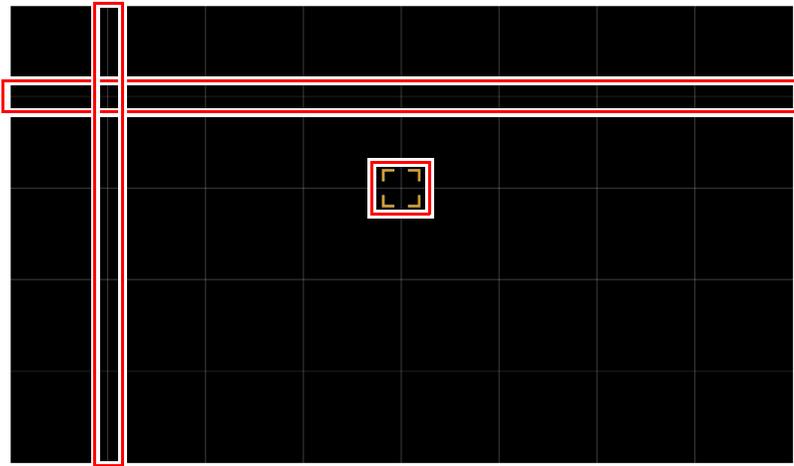
全54調整点（縦6x横9）の中から、歪みを微調整する調整点を選択します。

- 1 【設置設定】メニューから、【プロフェッショナル設定】、【部分歪み補正】、【調整】の順に選びます。

部分歪み補正のポイント選択モードに入り、補正箇所の選択画面が表示されます。



2 [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで微調整する点を選びます。



3 微調整するポイントを選んだ後に、【OK】 ボタンを押します。  
部分歪み補正を調整するモードになります。



- ここで【MENU】ボタンを押すと部分歪み補正のポイント選択画面に戻ります。
- ここで「チャート」を選び、【OK】ボタンを押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
- テストパターンを表示した状態で部分歪み補正調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

4 [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで調整点の部分歪み（上下方向、左右方向）を微調整します。

5 [戻る] を選択すると、ポイント選択画面に戻ります。

6 他の箇所も同様に調整します。

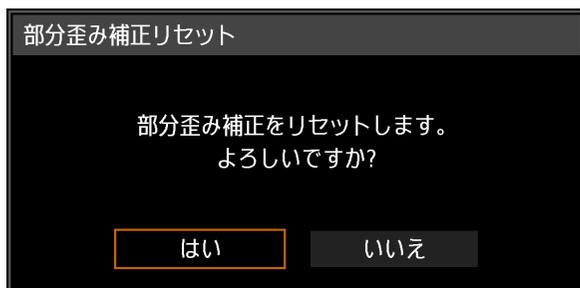
### ■ 調整をリセットする

部分歪み補正の設定値をリセットします。

- 1 【設置設定】メニューから、【プロフェッショナル設定】、【部分歪み補正】、【リセット】の順に選びます。

リセット確認の画面が表示されます。

- 2 【はい】を選んで、調整をリセットします。



## テストパターンを使って調整する

設置時の解像度や色の調整はテストパターンを使って行います。

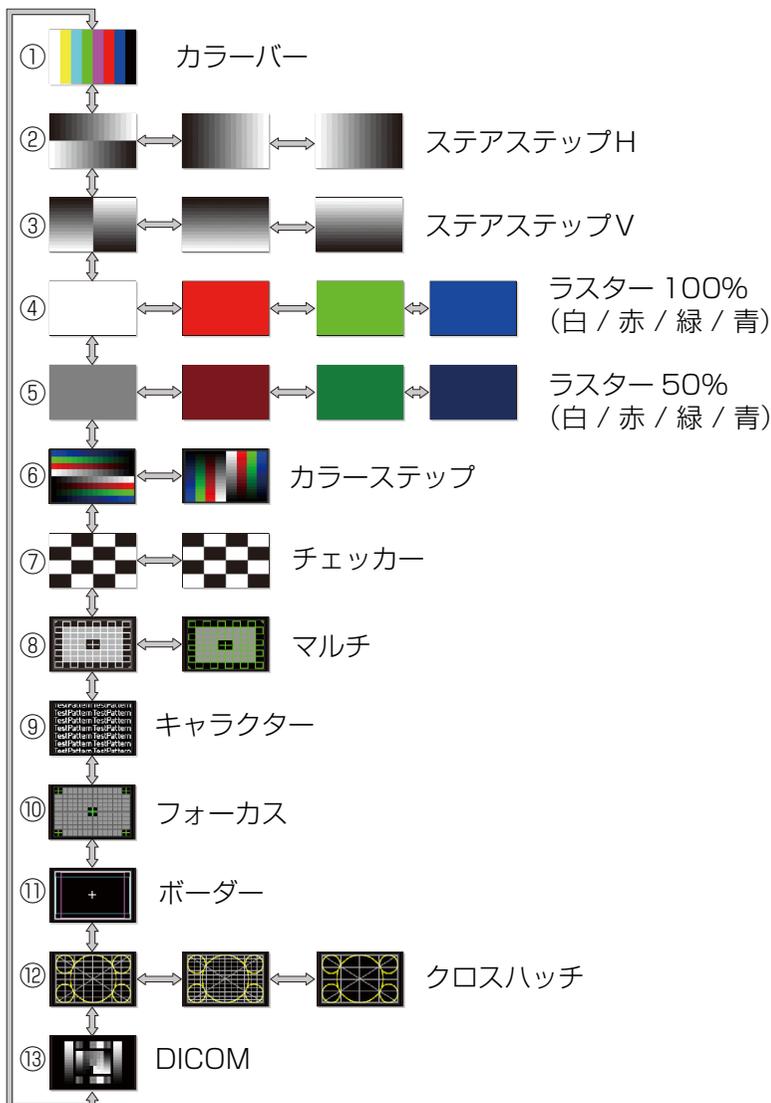
[設置設定] メニューの [テストパターン] (P129) で [入] を選ぶ、または、リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターン・ダイレクトメニューが表示されます。

テストパターン・ダイレクトメニューの表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。テストパターンが表示されると、表示中のテストパターン名の略称と操作ガイドのダイアログが表示されます。

投写したテストパターンを見ながら調整してください。

表示できるテストパターンは、以下の通りです。

【▲】【▼】で オプションパターン  
切り換え      【◀】【▶】で切り換え



## 周辺フォーカスを調整する

画面周辺部のフォーカスを調整できる機能です。

- ドーム型スクリーンに投写する場合に、周辺のフォーカスを調整します。
- 平面スクリーンにおいて画面全体のピントを合わせても画面周辺がぼけている場合は、周辺フォーカスを調整してピントを合わせます。

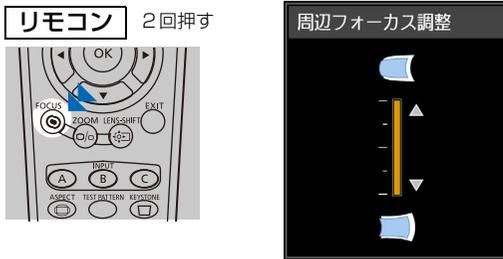


- 装着するレンズによっては、周辺フォーカス機能が使えません。
- あらかじめ「周辺フォーカス」を「入」に設定する必要があります。(P125)

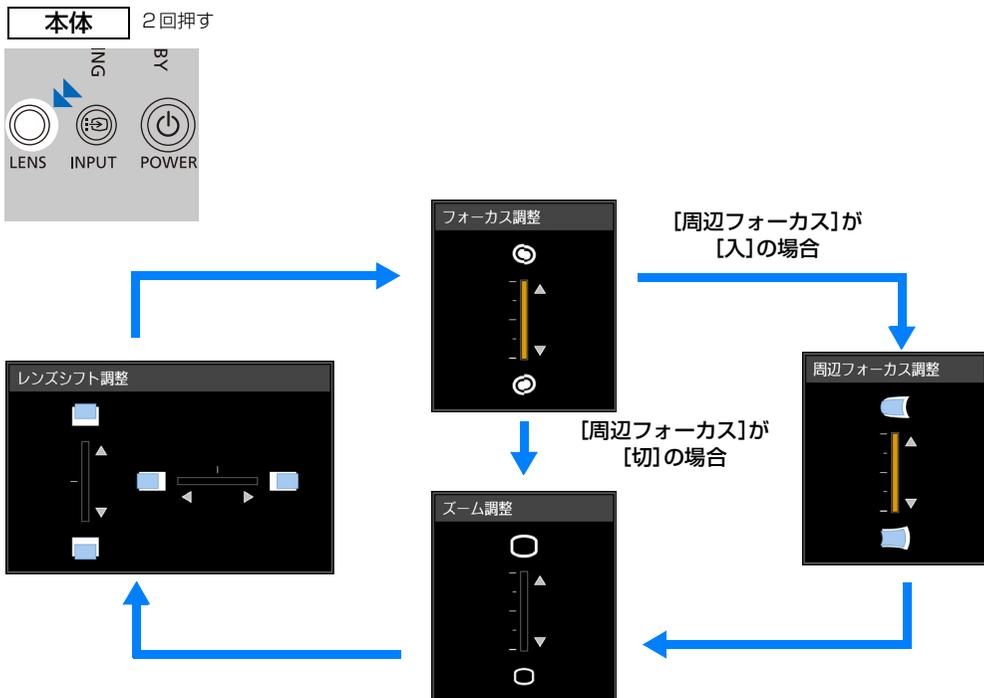
### ■ 画面周辺のピントを合わせる

リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面周辺のピントを調整することができます。

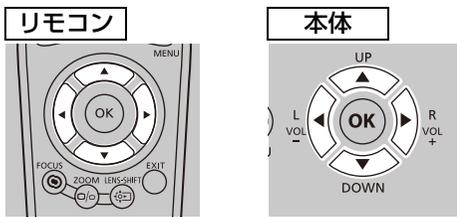
#### 1 リモコンの【FOCUS】ボタンを2回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。



本体の【LENS】ボタンは、押すたびにレンズ関連の画面表示が切り換わります。【LENS】ボタンを2回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。



## 2 方向ボタンで画面周辺のピントを合わせます。



【▲】【▶】【▼】【◀】 ボタンで、周辺のフォーカスを調整します。

周辺フォーカス調整画面でインジケータを上端、下端付近まで動かすと、投写画面中心付近のピントがぼけることがあります。この場合、以下の①～③を繰り返して投写画面全体のピントを調整してください。

- ① [フォーカス調整] (P34) で投写画面中心のピントを合わせる。
- ② [周辺フォーカス調整] で投写画面周辺のピントを合わせる。
- ③ 投写画面中心のピントを確認する。



レンズシフト調整機能を使用している場合、使用していない場合に比べ光軸が投写画面中心からずれた位置になりますが、①～③を繰り返すことで調整することができます。

## 3 ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。

### ■ 調整をリセットする

周辺フォーカス調整の設定値をリセット（レンズの周辺フォーカスを標準位置に戻す）します。

調整をリセットするには、[設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[周辺フォーカス]、[リセット] の順に選びます。

#### ! 周辺フォーカス調整

周辺フォーカス調整をリセット中です。  
しばらくお待ちください。

上記の画面が消えた後に [周辺フォーカス] の設定値がリセットされ、レンズの周辺フォーカスが標準位置に戻ります。リセットは [切]、[入] にかかわらず実行することができます。

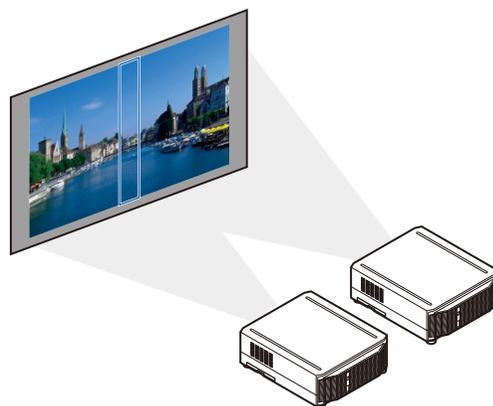


- [周辺フォーカス] を [切] にしただけでは、周辺フォーカスの設定値はリセットされません。周辺フォーカス調整値を維持したまま、操作を禁止したい場合は [切] を使用してください。
- 平面スクリーン投写において、リセットの操作をしても画面中心部と周辺部のピントがわずかにずれることがあります。
- 必要に応じて周辺フォーカス調整機能を使用して、中心部と周辺部のピントを合わせてください。

## エッジブレンディング機能を使って投写する

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくし、投写します。この機能を「エッジブレンディング」機能といいます。

2台のプロジェクターを並べて投写した場合の基本的なエッジブレンディングの設定は、以下の手順で行います。



複数台のプロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

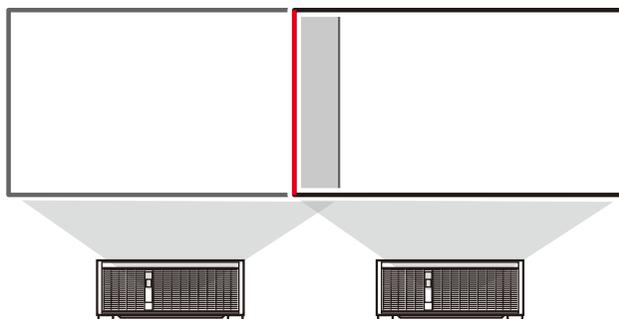
- 1 【設置設定】 > 【プロフェッショナル設定】 > 【エッジブレンディング】 > 【調整】 の順に選びます。

エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整	切	
黒レベル調整	切	
マーカー	切	
リセット		
戻る		

## 2 【マーカー】を【入】にします。

映像に赤（調整の開始位置を示す開始マーカー）と緑（調整の終端位置を示す終端マーカー）の線（マーカー）が表示されます。

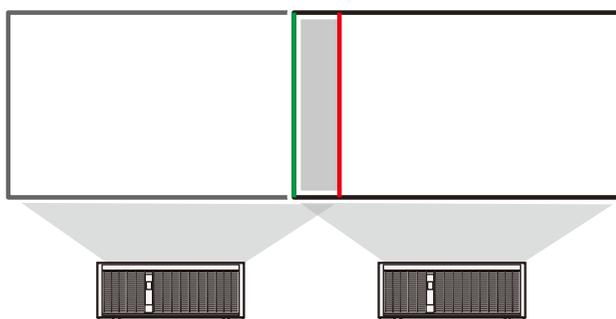
初めてエッジブレンディング機能で調整する場合は、赤と緑のマーカーが重なり、赤しか見えません。



## 3 【サイド】の【開始位置】を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている部分の外側端に開始マーカーを移動します。

上下左右の各方向について行ってください。

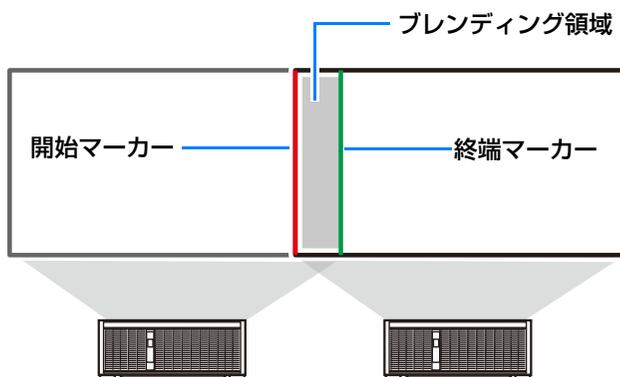
エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整 切		
照レベル調整 切		
マーカー 切		
リセット		
戻る		



## 4 【幅】を選び、【▲】【▼】ボタンで映像が重なっている部分の内側端に終端マーカーを移動します。

上下左右の方向について行ってください。

エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整 切		
照レベル調整 切		
マーカー 切		
リセット		
戻る		



開始マーカ―と終端マーカ―の間をブレンディング領域と呼びます。この領域がグラデーション加工され、重なった状態では他の部分と同じ明るさになるように調整されます。片側の映像の設定が終わったら、もう片側の映像も同様にブレンディング領域を設定してください。その際、それぞれの映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

### 5 【マーカ―】を【切】にします。

## ■ 映像の重なった部分を調整する

映像が重なって投写されている部分を調整し、重なり部分を滑らかにすることができます。

### 重なった部分の色つき、色ずれを調整する

映像を重ねて投写すると、重なった部分の色つき、色ずれが目立つことがあります。ブレンディング色調整により、映像の重なり部分を目立たなくすることができます。



- 1 【設置設定】 > 【プロフェッショナル設定】 > 【エッジブレンディング】 > 【調整】 > 【ブレンディング色調整】 > 【調整】の順に選びます。



- 2 初めに【白】で赤・緑・青を同時に調整し、さらに【赤】、【緑】、【青】をそれぞれの色味を個別に調整します。

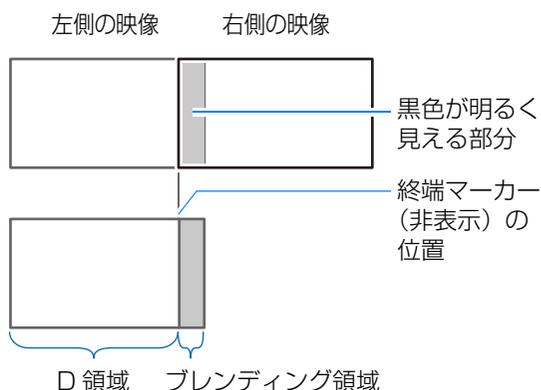
- 3 すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。

### 重なった部分の黒色を他の場所と合わせる

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。重なっていない部分の黒レベル調整をすることで、重なり部分を目立たなくすることができます。

映像の重なっていない終端マーカ―の内側部分をD領域と呼び、この領域を調整します。

本来は終端マーカ―から順にA、B、Cの領域があります。ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。





調整を行う前に [システム設定] > [ユーザー画面設定] > [無信号時画面] を [黒] に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の画像が確認できるようにしてください。

- 1 [設置設定] > [プロフェッショナル設定] > [エッジブレンディング] > [調整] > [黒レベル調整] > [調整] の順に選びます。
- 2 [調整種別] > [黒レベル] の順に選びます。
- 3 [D領域 基準] を選び、投写映像を見ながらブレンディング領域とD領域の明るさと色が同じになるように調整します。

黒レベル調整	
調整種別	黒レベル
B領域 基準	0
B領域 赤	+0
B領域 緑	+0
B領域 青	+0
D領域 基準	0
D領域 赤	+0
D領域 緑	+0
D領域 青	+0
戻る	

- 4 すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。

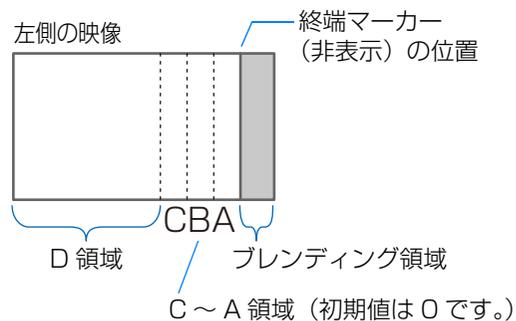
## ■ 重なった部分のつなぎ目を目立たなくする

D領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。

B領域の黒レベルを調整することにより、つなぎ目をより滑らかにすることができます。

各領域では、以下のような調整をします。ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、Cの領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。

ここでは、B領域を調整する方法を説明します。



- A領域：黒レベルの調整はできません。
- B領域：D領域とは別に黒レベルを調整します。
- C領域：B領域とD領域の黒レベルを滑らかにつなげます。

- 1 [設置設定] > [プロフェッショナル設定] > [エッジブレンディング] > [調整] > [黒レベル調整] > [調整] の順に選びます。

黒レベル調整	
調整種別	領域
サイド	左
A幅	0
B幅	0
C幅	0
戻る	

- 2 [調整種別] > [領域] > [サイド] > [右] の順に選びます。
- 3 [B幅] を選び、B領域の幅を黒レベルが違って見える部分に大まかに合わせます。
- 4 [調整種別] > [黒レベル] > [B領域 基準] を見ながら調整します。
- 5 A、B、Cの領域の幅を映像を見ながら調整します。
- 6 必要に応じてB領域の黒レベルを再調整します。



- B領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。
- 「ブレンディング色調整」などの調整を行っても、画像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。
- [調整種別] > [黒レベル] の [赤] [緑] [青] を調整することで、より詳細に調整できます。

メニュー編

# メニューの使いかた

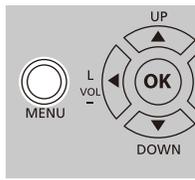
メニュー（MENU）で本機の動作をきめ細かく設定できます。

## 1 【MENU】 ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン



本体

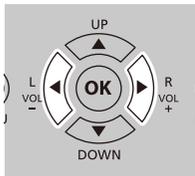


## 2 【◀】 【▶】 ボタンでタブを選びます。

リモコン



本体



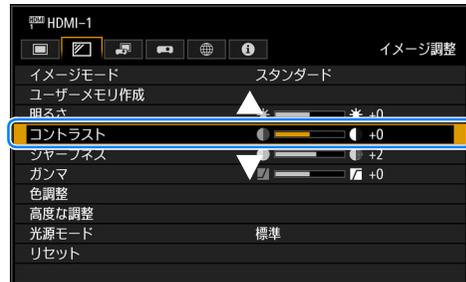
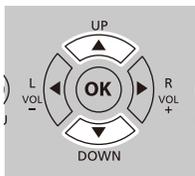
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】 【▼】 ボタンで一番上に移動させます。

## 3 【▲】 【▼】 ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体



## 4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ 例：アスペクト (P103)



1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】 ボタンまたは 【▶】 ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】 【▼】 ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら 【OK】 または 【▶】 ボタンを押します。

## 【◀】【▶】ボタンで調整する 例：コントラスト (P109)



1. コントラストを選びます。
2. 【◀】【▶】ボタンで調整量を変えます。

## 別画面を表示させて選ぶ (1) 例：ユーザー画像登録 (P131)

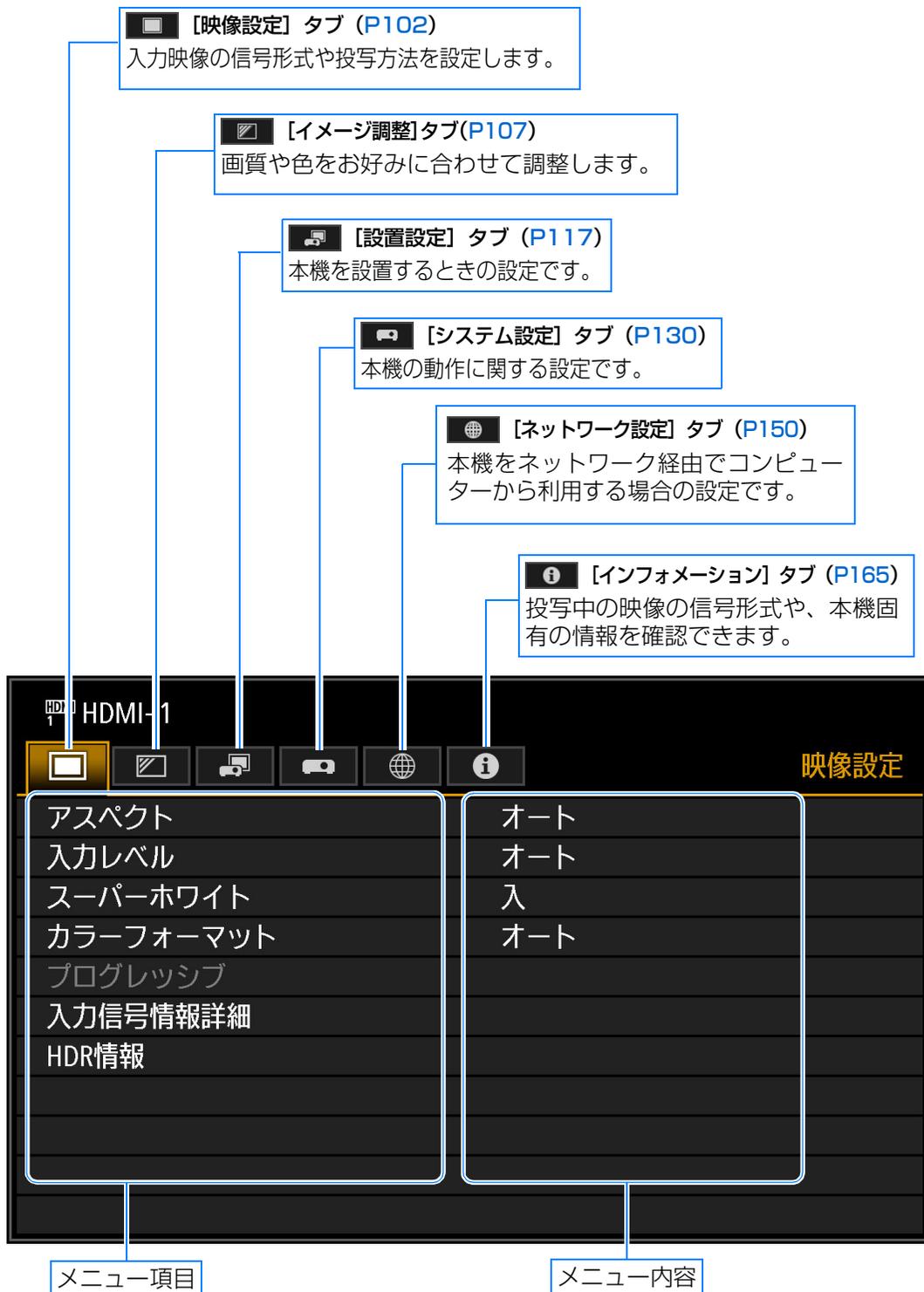


1. ユーザー画像登録を選びます。
2. 【OK】ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 画面のメッセージに従って操作します。

- 5** 【MENU】ボタンを押すとメニュー画面が消えます。  
【EXIT】ボタンを押しても、メニュー画面が消えます。

## メニューの使いかた

メニュー画面は、次の6つのタブに分かれています。



# メニューの構成

## 映像設定 (P102)

メニュー	選択 / サブメニュー	詳細
アスペクト	オート*、リアル	P103
入力レベル	オート*、標準、拡張	P103
スーパーホワイト	切、入*	P103
カラーフォーマット	オート*、RGB、YCbCr	P104
プログレッシブ	切、フィルム / オート*、ビデオ1、ビデオ2、25p/30p(PsF)	P104
入力信号情報詳細	フォーマット情報、色 / レンジ情報	P105
HDR情報	EOTF、 Display primaries [0]、[1]、[2]、 White point、 Max display mastering luminance、 Min display mastering luminance、 Max content light level、 Max frame-average light level	P106

\*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

## イメージ調整 (P107)

メニュー	選択 / サブメニュー	詳細	
イメージモード	スタンダード*、プレゼンテーション、ダイナミック、ビデオ、フォト / sRGB、DICOM SIM、ユーザー 1~5	P108	
ユーザーメモリ作成 / 保存	ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3、ユーザー 4、ユーザー 5	P108	
基準イメージモード		P108	
明るさ		P108	
コントラスト		P109	
シャープネス		P109	
ガンマ		P109	
HDRレンジ		P109	
色調整	色の濃さ	P110	
	色合い	P110	
	色温度	P110	
	色温度(1)	プリセット1、プリセット2、プリセット3*、プリセット4 (クリアベース)、プリセット5 (ブルーベース)	P110
	赤ゲイン		P110
	緑ゲイン		P110
	青ゲイン		P110
	赤オフセット		P110
	緑オフセット		P110
	青オフセット		P110
高度な調整	アンビエントライト(2)	切* 調整 種類、レベル	P111
	ランダムノイズリダクション	切*、弱、中、強	P111
	デジタルノイズリダクション	切*、MPEG-NR：弱、MPEG-NR：中、MPEG-NR：強、Frame-NR：弱、Frame-NR：中、Frame-NR：強	P111
	ダイナミックガンマ	切*(7)、弱(8)、中、強	P112
	コントラスト詳細調整	ダイナミックコントラスト 切*、弱、中、強 マニュアル光量調整(3) マニュアル信号調整(3)	P112
	カラリメトリ(6)	オート*、BT.709、BT.2020	P112
	HDR(6)	オート*、切、HDR10、HLG	P113
	記憶色補正	肌色 切*(7)、弱*(8)、中、強 空色 切*(7)、弱*(8)、中、強 緑色 切*(7)、弱*(8)、中、強	P113
	6軸色調整	切*、調整、リセット	P113
	ガンマ詳細調整(4)	切*、調整	P114
光源モード	標準*、静音1、静音2、調整	P115	
輝度レベル(5)		P115	
リセット	はい、いいえ	P116	

\*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

以下のときに表示されます。

- (1) イメージモードが [DICOM SIM] のとき
- (2) イメージモードが [フォト / sRGB] のとき
- (3) コントラスト詳細調整のダイナミックコントラストが [切] のとき
- (4) イメージモードが [DICOM SIM] 以外のとき
- (5) 運用モードが [標準] 以外のとき
- (6) イメージモードが [ビデオ] のとき
- (7) イメージモードが [ダイナミック] 以外のとき
- (8) イメージモードが [ダイナミック] のとき

## 設置設定 (P117)

メニュー	選択 / サブメニュー		詳細	
設置ロック	切*、入		P118	
反転表示	なし*、天吊り、リア、リア・天吊り		P118	
ズーム(11)			P119	
キーストーン	切(9)、縦横キーストーン(10)、4点補正		P119	
	リセット	はい、いいえ		
プロフェッショナル 設定	EDIDモード設定	HDMI-1 EDIDモード	広帯域(4K60Hz)*、高互換性	P120
		HDMI-2 EDIDモード	広帯域(4K60Hz)*、高互換性	P120
	RGBアライメント	マイクロデジタル イメージシフト	切*、調整	P121
		レジストレーション	切*、調整	
		高度なレジストレーション	切*、調整	
	部分歪み補正	切*、調整、リセット		P123
	高地設定	切*、入		P124
	運用モード	標準*、輝度一定、長寿命1、長寿命2		P124
	レンズシフトモード	標準*、拡張		P124
	周辺フォーカス	切*		P125
入		はい		
リセット				
エッジブレンディング	切*		P125	
	調整	左、右、上、下、ブレンディング色調整、黒レベル調整、マーカー、リセット		
レンズ-ポジション	ポジションロード1~3		P128	
	ポジションセーブ1~3			
	レンズシフトリセット	プリセット位置		XX%(10)(12)、0%
スクリーン色補正	標準*		P128	
	黒板			
	調整	赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン、赤オフセット、緑オフセット、青オフセット		
アイリス	オープン*、調整		P129	
テストパターン	切*、入		P129	

\*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

(9)：光学ズーム非搭載レンズ装着時は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

(10)：光学ズーム搭載レンズ装着時は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

(11)：以下の場合はグレーアウトし選択できません。

- ・光学ズーム非対応レンズ装着時以外
- ・キーストーンが[切]になっている時以外

(12)：XX%は、装着しているレンズのプリセット位置の数値が表示されます。

## システム設定 (P130)

メニュー	選択 / サブメニュー		詳細	
ユーザー画面設定	ユーザー画像登録	はい、いいえ	P131	
	ユーザー画像位置	左上、右上、中央*、左下、右下	P131	
	無信号時画面	黒、青*、ユーザー画像	P131	
	BLANK 時画面	黒、青、消灯*、ユーザー画像	P131	
	起動時画面	表示しない、Canonロゴ*、ユーザー画像	P132	
オンスクリーン	メニュー表示位置	左上、右上、中央*、左下、右下	P132	
	メニュー表示時間	標準*、延長	P132	
	メニュー回転	オート、なし*、左90°、右90°	P133	
	ガイド	切、入*	P133	
	入力状態表示	切、入*	P134	
	エアフィルター警告表示	切、入*	P134	
	高温注意表示	切*、入	P134	
	電子音	切、入*	P135	
リモコン / 操作部	キーリピート	切、入*	P135	
	キーロック	切*、本体、リモコン (ワイヤレス)	P135	
	リモコン受光部設定	オール*、フロント、リア	P136	
	リモコンチャンネル	Ch1、Ch2、Ch3、Ch4、オール*	P136	
	[INPUT A-C] ボタン設定	INPUT A	無効	P137
			HDMI-1*	
			HDMI-2	
		INPUT B	DP-1	
			DP-2	
			HDBaseT	
DP 1x2				
INPUT C			無効	
			HDMI-1*	
	HDMI-2			
音声入力端子選択	HDMI-1	切、HDMI-1*	P137	
	HDMI-2	切、HDMI-2*		
	DP-1	切、DP-1*		
	DP-2	切、DP-2*		
	HDBaseT	切、HDBaseT*		
	DP 1x2	切、DP-1*、DP-2		
HDBaseT 信号品質		P137		
通信設定	Extron XTP	切*、入	P138	
	シリアル通信	サービスポート*、HDBaseT	P138	
		詳細		ボーレート、データビット長、パリティ
				ストップビット   1*、2
コマンドモニター	切*、入、表示、消去	P138		
電源設定	スタンバイ電力設定	通常、省電力*	P139	
	高速起動	切*、入	P139	
	パワーマネジメントモード	無効、消灯、スタンバイ*	P139	
	パワーマネジメント時間	5分、10分、15分*、20分、30分、60分	P140	
ダイレクトパワーオン	切*、入	P140		

メニュー	選択 / サブメニュー		詳細	
MBリダクション	切*、弱、強		P140	
言語	English*、Deutsch、Français、Italiano、Español、Português、Svenska、Русский、Nederlands、Suomi、Norsk、Türkçe、Polski、Magyar、Čeština、Dansk、انجليزي、中文简体、中文繁體、한국어、日本語		P141	
その他の設定	パスワード設定	切*、入	P142	
	パスワード登録		P143	
	日付・時刻設定	日付・時刻		P143
		日付の表示形式	年 / 月 / 日、 月 / 日 / 年、日 / 月 / 年	
		サマータイム	切*、入、編集	
		エリア、タイムゾーン		
		SNTP	切、入 (IPv4)、入 (IPv6)	
	スケジュール	通常	切*、入、編集	P144
		特定期間 1～5	切*、入、編集	
	キャリブレーション	ガンマリストア	切*、調整	P147
		光源補正	はい、いいえ	
	トリガーアウト	切*、電源連動		P148
	エアフィルターカウンター	リセット	はい、いいえ	P148
通電カウンター			P148	
ファームウェアバージョン	はい、いいえ		P149	
工場出荷設定	はい、いいえ		P149	

\*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

## ネットワーク設定 (P150)

メニュー	選択 / サブメニュー		詳細	
ネットワーク設定変更	ロック解除	パスワード入力	P151	
	ロック*			
ネットワークパスワード設定	切、入*		P151	
ネットワークパスワード登録	パスワード入力		P151	
ネットワーク(有線/無線)	切 / 切*、入 / 切、入 / 入 (Pj AP)、切 / 入 (Pj AP)、切 / 入 (Infra)		P152	
詳細設定 (有線)	MACアドレス		P153	
	IPv4アドレス詳細設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス		
		DHCP		切*、入
		TCP/IP設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	
	IPv6	切*、入		P154
	IPv6アドレス詳細設定	リンクローカル、自動 <1>～<5>、手動、ゲートウェイ		
自動設定		切、入*		
	手動設定	IPアドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス		
ネットワーク設定初期化	はい、いいえ		P156	

## メニューの構成

メニュー	選択 / サブメニュー		詳細	
詳細設定（無線）	モード、SSID、セキュリティ、チャンネル、信号強度、MACアドレス		P157	
	WiFi Protected Setup	PBC		はい、いいえ
		PIN		はい、いいえ
	手動設定	モード		
		SSID		更新、ページ切り替え、SSID表示1～16、SSID入力、手動入力SSID表示
		セキュリティ		Open、WEP、WPA2 AES、WPA/WPA2 TKIP/AES
		チャンネル		
		キー ID		1、2、3、4
		キータイプ		アスキー、16進数
		キー		
		確定		
	IPv4アドレス詳細設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス		
		DHCP		切*、入
		TCP/IP 設定		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、確定
	IPv6	切*、入		
IPv6アドレス詳細設定	リンクローカル、自動<1>～<5>、手動、ゲートウェイ			
	自動設定	切、入*		
	手動設定	IP アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレス、確定		
ネットワーク設定初期化	はい、いいえ			
PJLink	切、入*		P162	
AMX Device Discovery	切*、入		P163	
Crestron RoomView	切*、入		P163	
インフォメーション	メール送信元アドレス		P164	
	メール送信先アドレス			
	詳細情報（有線）	IPv4		
		IPv6		リンクローカル、自動、手動
	詳細情報（無線）	IPv4		
		IPv6		リンクローカル、自動、手動

\*：工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

## インフォメーション (P165)

メニュー
モデル名
入力信号
ファームウェアバージョン
シリアルNo.
プロジェクター使用時間
IPアドレス (有線)
IPアドレス (無線)
プロジェクター名
コメント
システム情報ID

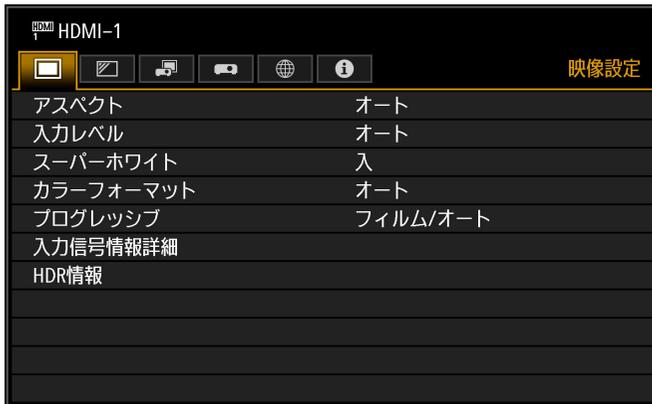


以下の項目は工場出荷設定を行ってもリセットされません。

- 選択されている入力信号
- [イメージ調整] の下記項目
  - ユーザーメモリ作成 / 保存
  - ガンマ詳細調整セーブ (保存値)
- [設置設定] の下記項目
  - レジストレーション
  - 高度なレジストレーション
  - 部分歪み補正
  - 高地設定
  - 運用モード
  - レンズシフトモード
  - 周辺フォーカス調整値
  - レンズポジションセーブ (保存値)
- [システム設定] の下記項目
  - リモコンチャンネル
  - Extron XTP
  - ストップビット
  - スタンバイ電力設定
  - 高速起動
  - 言語
  - 日付・時刻設定
  - スケジュールの各項目
  - ガンマリストア
  - トリガーアウト
  - エアフィルターカウンター
  - 通電カウンター
  - ファームウェアバージョン
- [ネットワーク設定] の各項目
- [インフォメーション] の各項目

## 映像設定

映像の縦横比や解像度、設定について説明します。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
アスペクト	映像の縦横比に合わせてアスペクトを設定します。	P103
入力レベル	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号の入力レベルを選びます。	P103
スーパーホワイト	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号でスーパーホワイトモード対応を選びます。	P103
カラーフォーマット	HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号のカラーフォーマットを選びます。	P104
プログレッシブ	フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定します。	P104
入力信号情報詳細	使用している入力端子ごとに、入力信号の詳細な情報を表示します。	P105
HDR 情報	HDMI 信号、HDBaseT 信号のダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム (Dynamic Range and Mastering InfoFrame) の情報を表示します。	P106

選択できないメニューはグレースアウトになります。

## アスペクト

 > [映像設定] > [アスペクト]

映像の入力信号に対し、どのような縦横比で投写するかの設定をします。  
リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。 一般的な投写のときはこのモードを選んでください。
リアル	入力信号の解像度そのまま投写します。

選択できないメニューはグレーアウトします。

## 入力レベル

 > [映像設定] > [入力レベル]

映像ソフトをデジタルビデオ信号（HDMI信号、HDBaseT信号、またはDisplayPort信号）で投写するときに入力レベルを調整します。

選択	機能
オート	入力信号に応じて入力レベルを自動的に切り換えます。
標準	入力レベルを 16 ~ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ~ 255 でフル入力します。



- [オート] では信号レベルを自動的に選びます。(AV 機器や HDBaseT の伝送機器によっては対応していないことがあります)
- AV 機器の HDMI / HDBaseT 出力が [標準]、[拡張] に切り換えられるときは、[拡張] に設定することをお勧めします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の [入力レベル] は [オート] または [拡張] を選んでください。詳しくは、接続する AV 機器の取扱説明書を参照してください。

## スーパーホワイト

 > [映像設定] > [スーパーホワイト]

HDMI信号、HDBaseT信号、またはDisplayPort信号の白色表示を、入力レベルが16 ~ 235の白信号に対し、100% (235) ~ 109% (255)の明るさの階調表現で行うときに選びます。

選択	機能
切	スーパーホワイトの機能を使用しません。 入力レベル「235」の白信号を白の明るさ 100% とし、入力レベル「235」以上の白信号もすべて明るさ 100% として投写します。
入	入力レベル「16 ~ 235」の入力信号に対し、白 109% (入力レベル「255」) を明るさ 100% に換算して投写します。



- [入力レベル] が [拡張] に設定されているときは、スーパーホワイトは効果がありません。
- [入] にしたときに映像の乱れや不自然さが気になる場合は、[切] に設定してください。
- [入] に設定すると、全体的に暗くなります。

## カラーフォーマット

 > [映像設定] > [カラーフォーマット]

HDMI 信号、HDBaseT 信号、または DisplayPort 信号のカラーフォーマットを選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

## プログレッシブ

 > [映像設定] > [プログレッシブ]

HDMI 信号および DisplayPort 信号のインターレース信号が入力されたときに、フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。

選択	機能
切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対しプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
25p/30p (PsF)	1080PsF / 25 (25 フレーム / 秒) および 1080PsF / 30 (30 フレーム / 秒) の映像に対しプログレッシブ処理を行います。

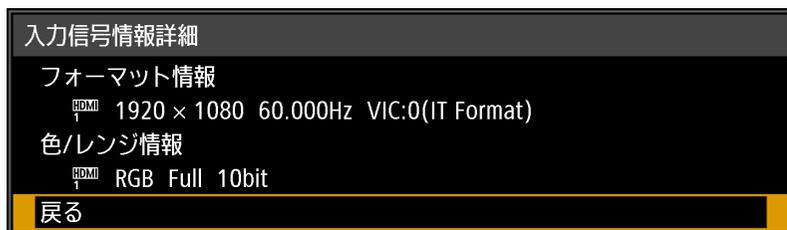
 動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは [切] にしてください。

## 入力信号情報詳細

 > [映像設定] > [入力信号情報詳細]

選択中の入力端子に入力されている映像信号の情報詳細を表示します。

本メニューはHDMI、DisplayPortまたはHDBaseTで入力する場合に表示されます。



フォーマット情報として、解像度、周波数、VIC (Video Identification Code) が表示されます。

色情報として、カラーフォーマット / サブサンプリング、カラリメトリが表示されます。

レンジ情報として、レンジ、深度が表示されます。

## HDR 情報

 > [映像設定] > [HDR 情報]

入力が HDMI 信号または HDBaseT 信号のとき、ダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム (Dynamic Range and Mastering InfoFrame) の情報を表示します。

信号が SDR 型か HDR 型かを識別して表示します。

信号が HDR 型の信号の場合は、信号の中に色と明るさの情報を含む領域を持っており、その情報を表示します。表示される情報は以下の通りです。

HDR情報		
EOTF	Traditional gamma-SDR	
Display primaries[0]	x:0.2650	y:0.6900
Display primaries[1]	x:0.1500	y:0.0600
Display primaries[2]	x:0.6800	y:0.3200
White point	x:0.3127	y:0.3290
Max display mastering luminance	4000 cd/m <sup>2</sup>	
Min display mastering luminance	0.0050 cd/m <sup>2</sup>	
Max content light level	1500 cd/m <sup>2</sup>	
Max frame-average light level	300 cd/m <sup>2</sup>	
戻る		

項目	表示	内容
EOTF	Traditional gamma-SDR	映像コンテンツがもつガンマ情報がそれぞれ表示される
	Traditional gamma-HDR	
	SMPTE ST 2084	
	HLG	
Display primaries [0],[1],[2]	x: 0.0000 ~ 1.0000 y: 0.0000 ~ 1.0000	色空間の中で色域を示す三角形の 3 つの頂点の座標
White point	x: 0.0000 ~ 1.0000 y: 0.0000 ~ 1.0000	色空間の中に表示される「白」の座標
Max display mastering luminance	1 ~ 65535 cd/m <sup>2</sup>	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最大値
Min display mastering luminance	0.0001 ~ 6.5535 cd/m <sup>2</sup>	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最小値
Max content light level	1 ~ 65535 cd/m <sup>2</sup>	映像コンテンツが含むシーンの明るさの最大値
Max frame-average light level	1 ~ 65535 cd/m <sup>2</sup>	映像コンテンツが含む 1 フレームごとの明るさの平均値の中で最大値

## イメージ調整

映像の明るさやコントラスト、シャープネスなどの画質の設定について説明します。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
イメージモード*	投写する映像に適した画質を選びます。	P108
ユーザーメモリ作成	任意に設定した画質の設定を保存します。	P108
基準イメージモード	ユーザーメモリで使用した元のイメージモードが表示されます。	P108
明るさ*	映像の明るさを調整します。	P108
コントラスト*	映像のコントラストを調整します。	P109
シャープネス*	映像の鮮明度を調整します。	P109
ガンマ*	映像が暗い、または明るくて見えにくい部分を補正します。	P109
HDR レンジ*	「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。	P109
色調整*	映像のより詳細な調整をします。	P110
高度な調整*	ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。	P110
光源モード*	投写輝度と動作音を調整します。	P115
輝度レベル*	レーザーダイオードの駆動電流を制御し、投写輝度を調整します。	P115
リセット	現在のイメージ調整の設定を工場出荷時の状態に戻します。	P116

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

\* 調整内容は、入力信号とイメージモードの組み合わせごとに記憶されます。

## イメージモード

 > [イメージ調整] > [イメージモード]

投写する映像に合わせ、画質を選びます。リモコンの【IMAGE】ボタンを押しても選択できます。(P25)

選択	映像の種類	特長
スタンダード	コンピューター画面や映像ソフト(動画)	画面が明るく、白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	文字を中心とした画像	画面が明るい
ダイナミック	映像ソフト(動画)	画面が明るい
ビデオ	ビデオカメラ映像	画面がやや暗く、テレビに近い色表現
フォト / sRGB	sRGB 対応のデジタルカメラ画像	画面がやや暗く、sRGB 規格対応
DICOM SIM	医療用などのモノクロ映像	DICOM Standard Part 14 に準じています。ただし、診断などには使用できません。
ユーザー 1 ~ 5	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 5 種類までメモリ(ユーザーメモリ)に保存することができます。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。	

選択できないメニューはグレースアウトになります。



各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。

[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[HDR レンジ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[光源モード]、[輝度レベル]

## ユーザーメモリ作成 / 保存

 > [イメージ調整] > [ユーザーメモリ作成 / 保存]

任意に設定した画質の設定を 5 種類まで保存できます。



- 保存される設定値は、[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[HDR レンジ]、[色調整]、[高度な調整]、[光源モード]、[輝度レベル] です。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も一緒に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが [標準イメージモード] としてメニューに表示されます。

## 明るさ

 > [イメージ調整] > [明るさ]

映像の明るさを調整します。

## コントラスト

 > [イメージ調整] > [コントラスト]

明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像やソフトな映像に調整します。

## シャープネス

 > [イメージ調整] > [シャープネス]

映像の鮮明度を調整します。

## ガンマ

 > [イメージ調整] > [ガンマ]

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分を補正します。



ガンマ詳細調整 (P114) により、より詳細な調整を行うことができます。

## HDR レンジ

 > [イメージ調整] > [HDR レンジ]

「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。メニューに [HDR レンジ] が表示される場合は、[ガンマ] が表示されません。



次のときにのみ、[HDR レンジ] を設定することができます。

- イメージモード (P108) が [ビデオ] で、HDR (P113) が [HDR10] のとき
- イメージモード (P108) が [ビデオ] で、HDR (P113) が [オート]、かつ入力信号が HDR 10 信号のとき
- HDR レンジの調整後、数秒経つと調整したレンジに画面が切り替わります。

## 色調整

 > [イメージ調整] > [色調整]

映像の色の濃さ、色合い、色温度などを調整します。

色調整		
色の濃さ		+0
色合い		+0
色温度		+0
赤ゲイン		+0
緑ゲイン		+0
青ゲイン		+0
赤オフセット		+0
緑オフセット		+0
青オフセット		+0
戻る		

サブメニュー	機能
色の濃さ	色の濃さを調整します。
色合い	紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整します。
色温度	白の色味を調整します。
赤 / 緑 / 青ゲイン	赤、緑、青の色味のゲインを調整します。
赤 / 緑 / 青オフセット	赤、緑、青のオフセットを調整します。

 イメージモードが [DICOM SIM] のときは、[色温度] が数値による調整ではなく、以下の5種類のプリセットから選択します。

- プリセット 1 : DICOM Standard Part14 に対して、明るさを優先します。
- プリセット 2 : DICOM Standard Part14 に対して、色の色味を優先します。
- プリセット 3 : DICOM Standard Part14 に対応した色を表現します。
- プリセット 4 : X線フィルム（クリアベース）の色を表現します。
- プリセット 5 : X線フィルム（ブルーベース）の色を表現します。

## 高度な調整

 > [イメージ調整] > [高度な調整]

ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。

高度な調整	
ランダムノイズリダクション	切
デジタルノイズリダクション	切
ダイナミックガンマ	切
コントラスト詳細調整	
記憶色補正	
6軸色調整	切
ガンマ詳細調整	切
戻る	

## アンビエントライト

スクリーン上に届く環境光による影響を低減させ投写します。

選択	機能		
切	調整せずに投写します。		
調整	種類	電球	環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合。
		蛍光灯	環境光が昼白色蛍光灯の場合。
	レベル	弱	環境光が通常の場合。
		強	環境光が明るい場合。

### アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室など



- ・イメージモードがフォト / sRGB のときに選ぶことができます。(P108)
- ・基準イメージモードがフォト / sRGB のときに選ぶことができます。

## ランダムノイズリダクション

映像のランダムノイズ\*を低減します。

\* 周波数や振幅が不規則なノイズです。

選択	機能
切	ランダムノイズリダクションを行いません。
弱 中 強	ランダムノイズリダクションの強度を3段階で指定します。



動きの速い映像の場合は [弱] を、動きの遅い映像の場合は [強] を選んでください。

## デジタルノイズリダクション

映像のデジタルノイズを低減します。また、フレームノイズリダクションは、MPEG ノイズリダクションと比較して投影画像の階調性が向上します。

選択	機能
切	デジタルノイズリダクションを行いません。
MPEG-NR : 弱 MPEG-NR : 中 MPEG-NR : 強 Frame-NR : 弱 Frame-NR : 中 Frame-NR : 強	MPEG および Frame ノイズリダクションをそれぞれ3段階で行います。

## ダイナミックガンマ

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

選択	機能
切	ダイナミックガンマを行いません。
弱 中 強	ダイナミックガンマの強度を 3 段階で指定します。

## コントラスト詳細調整

投写中の映像が暗い時に光源の輝度と信号の補正量を調整し、暗い部分をより暗くして投写します。

サブメニュー	機能						
ダイナミック コントラスト	入力信号の変化に対して自動でコントラストを強調します。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>ダイナミックコントラストの調整を行いません。</td> </tr> <tr> <td>弱 中 強</td> <td>ダイナミックコントラストの強度を 3 段階で指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	ダイナミックコントラストの調整を行いません。	弱 中 強	ダイナミックコントラストの強度を 3 段階で指定します。
	選択	機能					
切	ダイナミックコントラストの調整を行いません。						
弱 中 強	ダイナミックコントラストの強度を 3 段階で指定します。						
マニュアル光量 調整	光源の輝度を手動で調整します。						
マニュアル信号 調整	信号処理の補正量を手動で調整します。						

## カラリメトリ

色空間を選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて、BT.709 と BT.2020 から最適な色空間を選びます。
BT.709	強制的に BT.709 の色空間を適用します。
BT.2020	強制的に BT.2020 の色空間を適用します。



イメージモード (P108) が [ビデオ] のときにのみ、[カラリメトリ] を設定することができます。

## HDR (High Dynamic Range)

輝度レンジの拡大された HDR 信号 (HDR10 もしくは HLG 信号) に準拠し、白トビや黒つぶれを抑えた映像を表示できます。

選択	機能
オート	入力信号が HDR 信号の場合は自動的に HDR を使用します。
切	HDR を使用していない状態にします。
HDR10	強制的に HDR10 に準拠した表示にします
HLG	強制的に HLG に準拠した表示にします

 イメージモード (P108) が [ビデオ] のときにのみ、[HDR] を設定することができます。

## 記憶色補正

肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。

サブメニュー	機能	
肌色 空色 緑色	切	補正は行いません。
	弱 中 強	補正の強度を指定します。

## 6 軸色調整

映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。

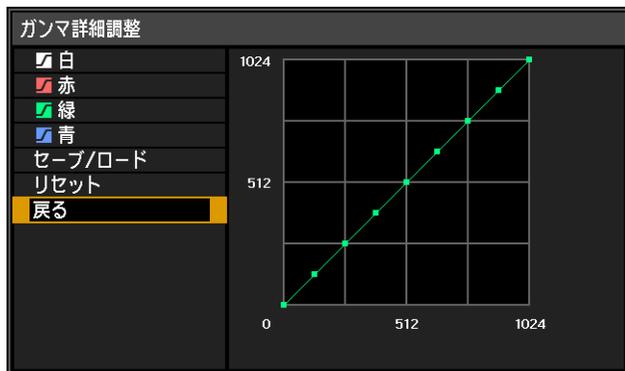
選択	機能
切	6 軸色調整を行いません。
調整	<div data-bbox="397 1072 939 1468" data-label="Image"> <p>6軸色調整</p> <p>● 色相 ■ 彩度 ✧ 明度</p> </div> <p>調整</p> <p>【▲】【▼】 ボタンで [○色相 (色合い)]、[□彩度 (色の濃さ)]、[✧明度 (色の明るさ)] を選び、【◀】【▶】 ボタンで調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色調整が終わったら、【OK】 ボタンを押します。</li> </ul> <p> 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。</p>
リセット	調整結果をリセットします。

## ガンマ詳細調整

白、赤、緑、青の4つのガンマ曲線を調整します。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の3色に調整量が反映されます。どちらで調整を行っても、最後の調整値が上書きされます。

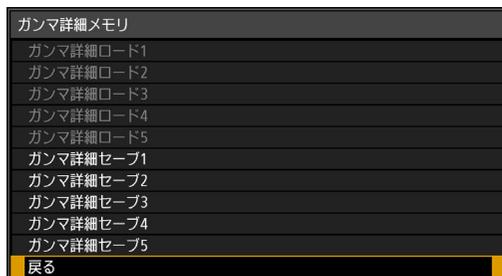
【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】ボタンを押します。

次に【◀】【▶】ボタンでガンマ曲線上の点を選び、【▲】【▼】ボタンで点の位置を調整します。調整が終わったら【OK】ボタンを押して確定します。



- イメージモードが [DICOM SIM] 以外のときに、[ガンマ詳細調整] を選ぶことができます。
- HDR が [切] 設定時および、[オート] 設定時に HDR 信号が入力されていないときに [ガンマ詳細調整] を選ぶことができます。
- ガンマ補正については、ガンマ (P109) を参照してください。
- 入力信号、またはテストパターンを使って調整してください。
- 表示しているメニュー画面には、調整は適用されません。
- 保存できる調整値は5つまでです。

また、[セーブ/ロード] を選択し、表示される画面で調整値を保存したり、保存した調整値を呼び出すこともできます。



ガンマ詳細調整において「調整」を選択すると、上位の「高度な調整」の欄に「レ」マークが付き「ガンマ」の調整値の横に「\*」マークが付きます。

## 光源モード

 > [イメージ調整] > [光源モード]

投写光の光量を落とすことで消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにします。

選択	機能
標準	最大の明るさで投写します。
静音 1	明るさを制限したいときや静音が求められるときに選びます。
静音 2	さらに明るさを制限し、静音にします。
調整	<p>明るさを微調整できます。明るさの変化に応じて冷却ファンの回転数が調整されます。 表示される輝度調整画面で、【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。</p>  <p> 光源モードが [調整] のとき、輝度レベルメニューを表示します。</p>



「光源モード」は運用モードが [標準] のときに表示されます。運用モード (P124) を [標準] 以外に設定した場合、[光源モード] メニューの代わりに [輝度レベル] メニューが表示されます。

## 輝度レベル

 > [イメージ調整] > [輝度レベル]

レーザーダイオードを制御し、投写輝度の調整を行います。

【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。



「輝度レベル」は運用モード (P124) を [標準] 以外に設定した場合、[光源モード] メニューの代わりに [輝度レベル] メニューが表示されます。

## リセット

 > [イメージ調整] > [リセット]

現在使用しているイメージ調整の設定を、工場出荷時の状態に戻します。

選択	機能
はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。



- [イメージモード]でユーザー1～5を選択しているときにリセットすると、[ユーザー1～5]に保存されている状態に戻ります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。

## 設置設定

スクリーンや投写する映像の補正、プロジェクターの設置方向など設置に関する設定をします。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
設置ロック	設置に関連する機能の操作を禁止することができます。	P118
反転表示	天吊り投写やリア投写、リア・天吊り投写の設定をします。	P118
ズーム	光学ズーム非搭載レンズを装着した場合に電子的に映像を縮小して投写します。	P119
キーストーン	キーストーン補正の調整方法を設定します。	P119
プロフェッショナル設定	プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。	P120
レンズ - ポジション	レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを記憶し、復元します。	P128
スクリーン色補正	スクリーンの色に合わせて映像の色味を調整します。	P128
アイリス	機械的な絞りの度合いを手動で調整します。光量を絞るほど暗くなりますが、コントラストが良くなります。	P129
テストパターン	本機設置時に解像度や色の確認をするため、テストパターンを投写します。	P129

選択できないメニューはグレーアウトになります。

## 設置ロック

 > [設置設定] > [設置ロック]

設置に関連する以下の設定変更をできなくします。

- 反転表示
- プロフェッショナル設定
- レンズシフトリセット
- ズーム調整
- レンズ-ポジションのポジションセーブ
- フォーカス調整
- レンズシフト調整
- ズーム
- キーストーン

選択	機能
切	設置ロックを使用しません。
入	設置関連の機能の設定変更ができなくなります。

## 反転表示

 > [設置設定] > [反転表示]

プロジェクターの設置向きを設定します。

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置するときに選びます。 上下左右が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り	天井から逆さに吊り下げ、スクリーンの裏から投写するときに選びます。 上下が反転します。

-  • 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具 (RS-CL15) と天吊りアーム (RS-CL17) が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 反転表示を行うと台形ひずみ (キーストーン) の補正はリセットされるため、改めて補正してください。
- 反転表示の設定を変更しても、本体操作部のキー割り当ては変更されません。

## ズーム

 > [設置設定] > [ズーム]

光学ズーム非搭載レンズを装着した場合、投写画面がスクリーンに入りきらないときに、映像を電子的に小さく表示します。このズームは映像中心を基準に縮小されます。

リモコンの【◀】ボタンを押すと映像が縮小して投写され、【▶】ボタンを押すと元に戻します。100%～75%の間で投写することができます。



- リモコンの D.ZOOM ボタンでは [ズーム] は使用できません。
- [キーストーン] の設定が [切] 以外のおとき [ズーム] は使えません。
- [ズーム] を設定後、[キーストーン] の設定を [切] 以外にすると [ズーム] は解除されます。
- レンズを光学ズーム非搭載レンズ以外に交換すると、設定はリセットされ、100%に戻ります。

## キーストーン

 > [設置設定] > [キーストーン]

キーストーン補正として縦横キーストーンと4点補正のどちらを使用するかを設定します。キーストーン補正のリセットも行えます。リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押したときも実行できます。(P72～P75)

サブメニュー	機能
切	キーストーン補正を行いません。
縦横キーストーン	縦横キーストーン補正を実行します。上下、左右方向の長さを変更します。
4点補正	4点補正を実行します。それぞれの角ごとに位置を調整します。
リセット	設定したキーストーンの値をリセットします。



縦横キーストーン範囲は使用するレンズ、レンズのズーム位置、シフト位置により異なる場合があります。

## プロフェッショナル設定

MENU > [設置設定] > [プロフェッショナル設定]

プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。

プロフェッショナル設定	
EDIDモード設定	
RGBアライメント	
部分歪み補正	切
高地設定	切
運用モード	標準
レンズシフトモード	標準
周辺フォーカス	切
エッジブレンド	切
戻る	

超短焦点レンズ (RS-SL06UW) または、4K 標準ズームレンズ (RS-SL07RST) を装着した場合の画面

## EDID モード設定

HDMI-1、HDMI-2 の EDID に登録される対応信号のモードを切り替えます。

サブメニュー	機能	
HDMI-1 EDID モード	選択	機能
	広帯域 (4K60Hz)	9Gbps ~ 18Gbps の広帯域信号 (4K60Hz YCbCr444/8bit や 4K24Hz YCbCr444/10bit 等) が EDID に登録されます。
HDMI-2 EDID モード	高互換性	[広帯域] 選択時に、映像や音声が入力されない場合に選択します。

## RGB アライメント

色ずれ調整を行います。

サブメニュー	機能		
マイクロデジタル イメージシフト	画面全体を 1 画素単位で位置調整できます。		
	サブメニュー	機能	
	切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。	
	調整	サブメニュー	機能
調整		【▲】 【▼】 ボタンで垂直方向の、 【◀】 【▶】 ボタンで水平方向のシフトを行います。	
レジストレー ション	調整	チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。
		サブメニュー	機能
	切	レジストレーションを行いません。	
	調整	サブメニュー	機能
赤 / 緑 / 青		【▲】 【▼】 ボタンで垂直方向の、 【◀】 【▶】 ボタンで水平方向のシフトを行います。	
調整	チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。	

 チャートを表示すると音声が出力されません。

サブメニュー	機能		
高度なレジストレーション	サブメニュー	機能	
	切	各領域ごとの色ずれ調整を行いません。	
		各領域ごとの色ずれ調整を行うメニューを表示します。	
	サブメニュー	機能	
	5点調整	サブメニュー	機能
		切	調整を無効にします。
			画面内の5点（四隅と中央）について調整する5点調整モードになります。
		サブメニュー	機能
		赤 / 青	【▲】【▼】ボタンで垂直方向の、【◀】【▶】ボタンで水平方向のアライメントを行います。
	チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。	
マニュアル調整		画面内の54点（縦6×横9）で細かく調整します。	
	サブメニュー	機能	
	赤 / 緑 / 青	【▲】【▼】ボタンで垂直方向の、【◀】【▶】ボタンで水平方向のアライメントを行います。	
	チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。	
	リセット	調整結果をリセットします。	
調整			

サブメニュー	機能
高度なレジストレーション	<div data-bbox="422 237 450 276"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。</li> <li>5点調整は、画面上の中心と四隅の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正することができます。画面の部分的なレジストレーション調整を行いたい場合は、マニュアル調整を試してください。</li> <li>5点調整してからマニュアル調整を行うと、5点調整値をそのまま引き継ぎます。5点調整後にさらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。</li> <li>マニュアル調整から5点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整値はリセットされます。</li> <li>レンズ交換を行っても、高度なレジストレーションの設定値は初期化されません。ただし、高度なレジストレーションの設定値がいずれかの調整点で初期値と異なる値に設定されている場合、レンズ交換後に起動したとき、高度なレジストレーションの設定確認を促すメッセージが表示されます。</li> </ul> <div data-bbox="495 823 1092 1116" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>高度なレジストレーション確認</b></p> <p>装着されている投写レンズが前回投写時と異なります。 高度なレジストレーションの設定を確認してください。</p> <p style="text-align: center;">【はい】を選ぶと、 このメッセージが表示されなくなります。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin-top: 10px;"> <span data-bbox="607 1049 776 1087">はい</span> <span data-bbox="803 1049 978 1087" style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">いいえ</span> </div> </div>

## 部分歪み補正

投写画像の部分的な歪み（ゆがみ）を画面内の54点（縦6×横9）で細かく調整します。詳細な調整方法については「部分歪み補正により投写画面を調整する」（P80）を参照してください。

選択	機能	
切	部分歪み補正を行いません。	
調整	サブメニュー	機能
	調整	[▲] [▼] [◀] [▶] で選択した調整点について、[▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで水平および、垂直方向のアライメントを行います。
	チャート	調整を補助するチャートを表示します。チャートを表示しながら微調整します。
リセット	調整結果をリセットします。	

部分歪み補正を行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に模様が生じることがあります。

## 高地設定

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、海拔 2,300m 以上の高地の場合とで切り換えます。

選択	機能
切	海拔 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
入	海拔 2,300m 以上で使用する場合の設定です。



設定値が不適切な場合、本機の部品の寿命が縮まる可能性があります。

## 運用モード

光源と冷却ファンの制御方法を切り換えます。

選択	機能
標準	標準の駆動モードです。使用時間に伴い、輝度が低下します。
輝度一定	レーザーダイオードの劣化状態をセンサーで検知し、劣化した分のレーザーダイオード駆動電流を増加させることで、設定時の輝度をほぼ一定に維持します。
長寿命 1	光源モードの輝度レベルを低減し、ファン駆動を制御することで、光学部材の寿命を延長します。
長寿命 2	光源モードの輝度レベルをさらに低減し、さらにファン駆動を制御することで、光学部材の寿命をより延長します。



24 時間以上連続で使用する場合、または電源コードを抜いてパワー OFF している場合は、以下のいずれかでキャリブレーションの光源補正を実行してください。実行しない場合は輝度一定を維持することができません。

- 定期的に [キャリブレーション] (P147) の [光源補正] を [はい] に設定する。
- [スケジュール] (P144) のキャリブレーション [CALIBRATION] を設定する。

## レンズシフトモード

レンズシフト機能で設定可能なシフト量を切り換えます。

選択	機能
標準	レンズシフト機能で設定可能なシフト量を標準に設定します。
拡張	レンズシフト機能で設定可能なシフト量が拡張されます。



- 拡張を選択した場合、シフト量によって映像の画質および、キーストーン補正の精度が低下することがあります。
- レンズシフト位置が拡張領域（標準位置より外側）にある場合に、[標準] を選択するとレンズシフトリセット (P128) が実行されます。

## 周辺フォーカス

ドーム型スクリーン等に投影するときに、周辺のフォーカスを調整したり、リモコン操作による周辺フォーカス調整の ON / OFF を選びます。詳細な調整方法については「周辺フォーカスを調整する」(P84) をご覧ください。

選択	機能
切	周辺フォーカス調整を OFF にします。
入	周辺フォーカス調整を ON にします。本体の【LENS】ボタンを2回、またはリモコンの【FOCUS】ボタンを2回押すと調整用の画面が表示されます。
リセット	周辺フォーカス調整を標準位置へ戻します。



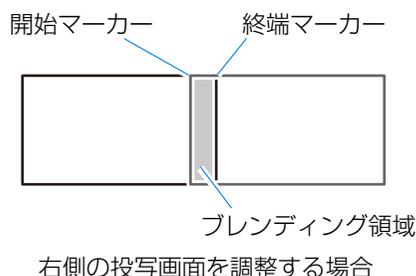
- ・装着するレンズによっては、周辺フォーカス機能が使えません。
- ・[切] にすると、周辺フォーカス調整値を維持したまま、調整画面が表示されなくなります。周辺フォーカス調整の操作を禁止したい場合に使用してください。

## エッジブレンディング

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、映像の重なった部分（ブレンディング領域）の明るさと色を調整して重なった部分を目立たなくします。詳細な調整方法については「エッジブレンディング機能を使って投写する」(P86) を参照してください。

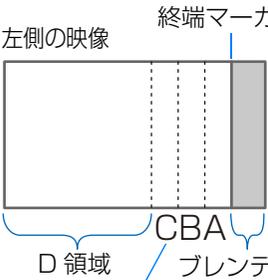
選択	機能
切	ブレンディング領域の調整を行いません。
調整	ブレンディング領域の調整を行うメニューを表示します。

エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整	切	
黒レベル調整	切	
マーカー	切	
リセット		
戻る		



- ・調整を行ってもブレンディング領域に色つきや輝度差が残る場合があります。
- ・各プロジェクターのイメージモードを揃えたり、以下の調整を行うことでエッジブレンディングの効果を高めることができます。
  - ① 明るさ、コントラスト、赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセット、黒レベル、ブレンディング色、色温度、色の濃さ、色合い、シャープネス、ガンマ (P110)
  - ② 6 軸色調整を用いた色調整 (P113)
  - ③ ガンマ詳細調整を用いたガンマ調整 (P114)
  - ④ キーストーンを用いた 4 点補正 (P119)

サブメニュー	機能	
サイド	左 / 右 / 上 / 下	調整を行うブレンディング領域の方向を選択します。
	幅	開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。
	開始位置	開始マーカーの位置を移動させます。
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブレンディング領域を大きく設定すると入力信号ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。そのときは一時的にエッジブレンディングを [切] にして表示を確認してください。</li> <li>開始マーカーは通常映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。</li> </ul>	
ブレンディング色調整	ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。	
	サブメニュー	機能
	切	ブレンディング色調整は行いません。
	調整	ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
選択		機能
白		ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青の色つき、色ずれを同時調整します。
赤 / 緑 / 青	ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青それぞれの色つき、色ずれを個別に調整します。	

サブメニュー	機能																																									
黒レベル調整	<p>ブレンディング領域では黒色が他の部分よりも明るく投写されるため、重ならない部分の黒レベルを調整して輝度差を目立たなくします。</p> <p>左側の映像 <span style="margin-left: 100px;">終端マーカ（非表示）の位置</span></p>  <p>A 領域：黒レベルの調整はできません。                      B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。                      C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかにつなげます。</p> <p>D 領域 / ブレンディング領域                      C ~ A 領域（初期値は 0 です。）</p>																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>黒レベル調整は行いません。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">調整</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">調整種別</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>マーカ</td> <td> <p>調整範囲を示すマーカを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>調整範囲を示すマーカは表示しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>リセット</td> <td>調整結果をリセットします。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	黒レベル調整は行いません。	調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">調整種別</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	調整種別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	領域	ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。	領域	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。	A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。	黒レベル	B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。	黒レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。	B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。	マーカ	<p>調整範囲を示すマーカを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>調整範囲を示すマーカは表示しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	調整範囲を示すマーカは表示しません。	入	調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。	リセット
選択	機能																																									
切	黒レベル調整は行いません。																																									
調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">調整種別</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	調整種別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	領域	ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。	領域	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。	A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。	黒レベル	B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。	黒レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。	B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。															
	サブメニュー	機能																																								
調整種別	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>領域</td> <td>ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。</td> </tr> <tr> <td>領域</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td>B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</td> </tr> <tr> <td>黒レベル</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	領域	ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。	領域	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。	A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。	黒レベル	B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。	黒レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。	B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。																			
	選択	機能																																								
領域	ブレンディング領域と接するつなぎ目をより滑らかにするため C ~ A 領域の調整をします。																																									
領域	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。	A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。																																			
選択	機能																																									
サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下 から選択します。																																									
A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。																																									
黒レベル	B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。																																									
黒レベル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。	B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。																																			
選択	機能																																									
B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。																																									
B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。																																									
マーカ	<p>調整範囲を示すマーカを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>調整範囲を示すマーカは表示しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	調整範囲を示すマーカは表示しません。	入	調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。																																			
選択	機能																																									
切	調整範囲を示すマーカは表示しません。																																									
入	調整範囲を示すマーカを表示します。赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。																																									
リセット	調整結果をリセットします。																																									

## レンズ - ポジション

 > [設置設定] > [レンズ - ポジション]

レンズポジションのメモリ機能により、レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを3つまで記憶しておくことができ、復元もできます。

サブメニュー	機能
ポジションロード 1、2、3	ポジションセーブ 1～3 で記憶したレンズポジションに復元します。
ポジションセーブ 1、2、3	レンズポジションをポジションセーブ 1～3 に記憶します。
レンズシフトリセット	<p>レンズシフト位置をプリセット位置に戻します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>プリセット位置はレンズの種類により変わります。</li> <li>天吊り設定など本体の向きを変えると、それに準じてプリセット位置は変わります。例えば、「+50%、0%」が「-50%、0%」に変わります。</li> </ul> </div>

-  記録したポジションをロック（保護）したい場合、設置ロック（P118）を「入」にしてください。
- レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）の他に以下の設定についても設定値が記憶されます。
  - 縦横キーストーン / 4 点補正
  - スクリーン色補正
  - ズーム値
- [ポジションロード] は一度 [ポジションセーブ] を行わないと選択できません。
- レンズシフトの基準位置は、装着しているレンズにより異なります。
- レンズポジションのメモリ機能を使用しても、投写画面が設定（ポジションセーブ）した位置から、わずかにずれることがあります。
- 投写画面サイズをスクリーン画面（投影領域）サイズより少し小さく設定することで、投写画面全体を欠けることなく、複数ポジションの投写画面を切り換えることができます。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して微調整してください。

## スクリーン色補正

 > [設置設定] > [スクリーン色補正]

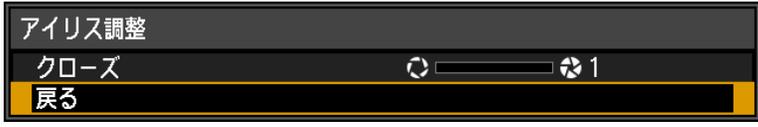
投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

サブメニュー	機能
標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板（濃緑色）をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも [標準] に近い色味になります。
調整	赤 / 緑 / 青の色味をそれぞれ細かく調整するときに選びます。

## アイリス

 > [設置設定] > [アイリス]

明るさよりもコントラストを重視した投写を行うときに本機能を使用します。

サブメニュー	機能
オープン	機械的な絞りを使用しません。
調整	<p>機械的な絞りの度合いを手動で調整します。</p> 

 [アイリス] の設定により消費電力が変化することはありません。

## テストパターン

 > [設置設定] > [テストパターン]

映像信号入力を接続しなくてもテストパターン (P83) を投写することができます。

本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押しても選択できます。

選択	機能
切	テストパターンの表示をしません。
入	テストパターンの表示をします。

- 
- テストパターン・ダイレクトメニュー表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。
  - テストパターン・ダイレクトメニューは一定時間後に消えます。【▲】【▼】ボタンを押すことにより再表示されます。

## システム設定

電源投入時やスタンバイ時、操作音など、本機やリモコンの動作に関する設定をします。



入力信号がHDMI -1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ユーザー画面設定	電源を入れたときや入力信号が検出されなくなったときに表示する画面などの設定をします。	P131
オンスクリーン	メニューの表示位置やガイド、警告、注意を示すアイコンの表示、非表示などの設定をします。	P132
リモコン / 操作部	リモコンや本体のボタン操作などを設定します。	P135
音声入力端子選択	音声を入力する端子を選びます。	P137
HDBaseT 信号品質	HDBaseT の映像信号品質を表示します。	P137
通信設定	Extron XTP やシリアル通信を設定します。	P138
電源設定	起動時や、スタンバイ状態時、無信号入力時などの電源設定をします。	P139
MB リダクション	MB (モーションブラー) とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。	P140
言語	メニューに表示する言語を選べます。	P141
その他の設定	パスワードの登録やエアフィルターの交換時期の表示などの設定をします。	P142

選択できないメニューはグレースアウト、または非表示になります。

## ユーザー画面設定

 > [システム設定] > [ユーザー画面設定]

画像の登録や表示の設定をします。

ユーザー画面設定	
ユーザー画像登録	
ユーザー画像位置	中央
無信号時画面	青
BLANK時画面	黒
起動時画面	Canonロゴ
戻る	

### ユーザー画像登録

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK時の画面、起動時の画面として使用することができます。

選択	機能
はい	登録する画像を画面に表示します。 赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

### ユーザー画像位置

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。  
ユーザー画面を登録したときに設定することができます。左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

### 無信号時画面

入力信号がないときの表示画面の設定をします。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

### BLANK 時画面

リモコンの【BLANK】ボタンを押して画像を一時的に消したときに表示する画面を選びます。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
消灯	光源をオフにします。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

## 起動時画面

電源を入れてから入力信号の投写ができるまでの間に表示する画面を選びます。

選択	機能
表示しない	黒画面が表示されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキャノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

## オンスクリーン

 > [システム設定] > [オンスクリーン]

操作の補助となるガイドやメニュー、警告や注意を示すアイコンの設定をします。

オンスクリーン	
メニュー表示位置	中央
メニュー表示時間	標準
メニュー回転	なし
ガイド	入
入力状態表示	入
エアフィルター警告表示	入
高温注意表示	切
戻る	

## メニュー表示位置

メニュー表示の位置を変えます。  
左上、右上、中央、左下、右下から選びます。



エッジブレンディング機能を使用しているときは、メニュー表示位置が [中央] に固定されるため、他の表示位置はグレイアウトし、選択できません。

## メニュー表示時間

通常は 10 秒または 30 秒のメニュー表示時間を 3 分に延長します。

選択	機能
標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

以下の表示時間が変わります。

項目	[標準]	[延長]
- MENU 画面 - エッジブレンディング (P125)	30 秒	3 分
- インプット (P33) - キーストーン (P72) - キーストーンリセット (P75) - フォーカス (P34) - ズーム (P34) - レンズシフト (P49) - レンズシフトリセット (P51) - 周辺フォーカス (P84) - アスペクト (P103) - イメージモード (P108) - 音量 (P22、P26) - ガンマ (P109)	10 秒	3 分

## メニュー回転

メニューの表示向きを回転します。本機をポートレート投写など 90° 傾けて設置した場合、投写画面の上下に合わせてメニュー画面の向きを揃えるために設定します。

選択	機能
オート	重力センサーを使用して、左 90° ポートレート設置、右 90° ポートレート設置、平置き設置を判別し、自動的にメニューの向きを回転します。
なし	メニューを回転しません。平置き時に正しく見える向きにメニューを表示します。
左 90° 右 90°	メニューを 90° 回転させます。本機を左または右に 90° ポートレート設置したときにメニューが正しい向きで見えます。



- 電源を入れたときや、オート以外のメニューから [オート] を選んだ直後の本機の設置向きを検知し、メニューの回転方向が判断されます。
- 映像の投写中に本機の設置向きを回転しても、自動的にメニューの向きは変わりません。

## ガイド

ガイド画面を表示します。

選択	機能
切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。



- ガイド画面は次の場合に表示されます。
- 入力信号が確認できない場合。
  - [BLANK]、[FREEZE] 時に無効なボタンが押された場合。(P25)
  - 設置ロック (P118) が [入] に設定されており、設置ロック中の操作禁止のボタンが押された場合。

## 入力状態表示

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

## エアフィルター警告表示

エアフィルターの交換が必要な場合に、交換を促す警告を表示します。

選択	機能
切	エアフィルター警告を表示しません。
入	エアフィルター警告を表示します。

 エアフィルター警告表示「切」を選択した場合、エアフィルター交換の警告が表示されません。エアフィルターカウンター (P148) で交換時期の確認をお勧めします。

## 高温注意表示

本機内部の温度が上がり、異常温度に近づいたときに、高温注意アイコン  を表示するかどうかを設定します。

選択	機能
切	高温注意アイコンを表示しません。
入	高温注意アイコンを表示します。

## リモコン / 操作部

 > [システム設定] > [リモコン / 操作部]

リモコンや本体操作部のボタン操作などの設定を行います。

リモコン/操作部	
電子音	入
キーリピート	入
キーロック	切
リモコン受光部設定	オール
リモコンチャンネル	オール
[INPUT A-C]ボタン設定	
戻る	

### 電子音

操作時の電子音の有無を設定します。

選択	機能
切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

 リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

### キーリピート

本体やリモコンのボタンを押したままにしたとき、連続して押した状態と同じ動作をさせること（キーリピート）ができます。

選択	機能
切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

### キーロック

本体またはリモコン（ワイヤレス）のいずれかの操作をできないように設定します。

選択	機能
切	キーロックをしません。本体・リモコンどちらからでも操作することができます。
本体	本体操作部が使用できなくなります。リモコン側で操作してください。
リモコン (ワイヤレス)	赤外線でのリモコン操作ができなくなります (P28)。本体側で操作してください。 別売品のリモコン (RS-RC05) をケーブルに接続して操作することはできます。

### キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながらか電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。



キーロックは、本体操作部を用いて [本体] を設定することはできません。リモコンを用いて [リモコン (ワイヤレス)] の設定も同様にできません。

### リモコン受光部設定

使用するリモコンの受光部を選択します。

選択	機能
オール	前面、背面両方のリモコン受光部を使用します。
フロント	前面のリモコン受光部を使用します。
リア	背面のリモコン受光部を使用します。

### リモコンチャンネル

ひとつのリモコンで複数台（最大 4 台）のプロジェクターを同時に使用するとき、操作するプロジェクターを使い分けるためリモコンのチャンネル設定をします。

#### 本体側のチャンネルを選ぶ

リモコンをケーブル接続して使用する場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

選択	機能
Ch1	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
Ch2	
Ch3	
Ch4	
オール	すべてのチャンネルのリモコンが使用できるようになります。

#### リモコン側のチャンネルを選ぶ

メニューで本体側のチャンネル切り換えを行ったら、リモコンで以下の操作を行い、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。

Ch1	Ch ボタンと 【1】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	Ch ボタンと 【2】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	Ch ボタンと 【3】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	Ch ボタンと 【4】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	Ch ボタンと 【0】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

## 【INPUT A-C】 ボタン設定

リモコンの【INPUT A】、【INPUT B】、【INPUT C】 ボタンに割り当てる入力信号を選択します。直接、入力信号を選択することができます。

選択	機能
INPUT A	割り当てる入力信号を [無効]、[HDMI-1]、[HDMI-2]、[DP-1]、[DP-2]、[HDBaseT]、[DP 1x2] から選びます。
INPUT B	
INPUT C	

## 音声入力端子選択

 > [システム設定] > [音声入力端子選択]

各入力信号の音声を入力する端子を選びます。

サブメニュー	機能														
HDMI-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>音声出力を行いません。</td> </tr> <tr> <td>HDMI-1</td> <td>HDMI-1 の音声信号を出力します。</td> </tr> <tr> <td>HDMI-2</td> <td>HDMI-2 の音声信号を出力します。</td> </tr> <tr> <td>DP-1</td> <td>DP-1 の音声信号を出力します。</td> </tr> <tr> <td>DP-2</td> <td>DP-2 の音声信号を出力します。</td> </tr> <tr> <td>HDBaseT</td> <td>HDBaseT の音声信号を出力します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	音声出力を行いません。	HDMI-1	HDMI-1 の音声信号を出力します。	HDMI-2	HDMI-2 の音声信号を出力します。	DP-1	DP-1 の音声信号を出力します。	DP-2	DP-2 の音声信号を出力します。	HDBaseT	HDBaseT の音声信号を出力します。
選択		機能													
切		音声出力を行いません。													
HDMI-1		HDMI-1 の音声信号を出力します。													
HDMI-2		HDMI-2 の音声信号を出力します。													
DP-1		DP-1 の音声信号を出力します。													
DP-2		DP-2 の音声信号を出力します。													
HDBaseT	HDBaseT の音声信号を出力します。														
HDMI-2															
DP-1															
DP-2															
HDBaseT															
DP 1x2															

## HDBaseT 信号品質

 > [システム設定] > [HDBaseT 信号品質]

HDBaseT の映像信号品質を表示します。白線は実際の HDBaseT 入力信号値です。



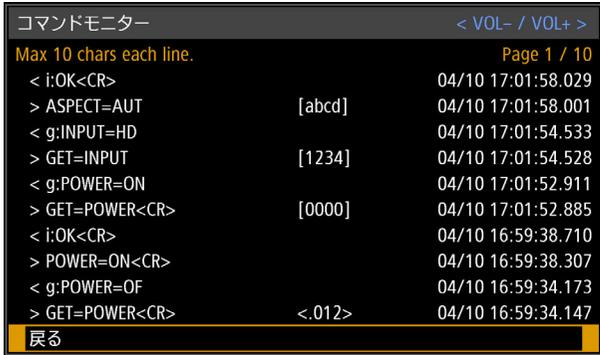
高	緑色。推奨レベルです。
中	黄色。信号が不安定です。ケーブルの配線状況の見直しをお勧めします。
低	赤色。使用できません。ケーブルを配線し直すか、ケーブルを交換してください。

 ケーブルは重ねたり、まとめて束ねたりしないでください。

## 通信設定

 > [システム設定] > [通信設定]

サービスポート、またはHDBaseTシリアル通信の通信設定値を表示／設定します。

サブメニュー	機能										
Extron XTP	HDBaseT で接続しているとき、Extron 社の XTP トランスミッターに接続するかどうかを設定します。										
シリアル通信	<p>シリアル通信機能で使用するポートを選びます。シリアル通信機能で選択したポートの設定値を確認することができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービスポート</td> <td>サービス用端子 (CONTROL) を使用します。</td> </tr> <tr> <td>HDBaseT</td> <td>HDBaseT 端子を使用します。</td> </tr> <tr> <td>詳細</td> <td>ボーレート、データビット長、パリティを表示し、ストップビットを変更 (1、2 ビット切り換え) します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	サービスポート	サービス用端子 (CONTROL) を使用します。	HDBaseT	HDBaseT 端子を使用します。	詳細	ボーレート、データビット長、パリティを表示し、ストップビットを変更 (1、2 ビット切り換え) します。		
選択	機能										
サービスポート	サービス用端子 (CONTROL) を使用します。										
HDBaseT	HDBaseT 端子を使用します。										
詳細	ボーレート、データビット長、パリティを表示し、ストップビットを変更 (1、2 ビット切り換え) します。										
コマンドモニター	<p>ユーザーコマンド履歴を記録／表示／非表示／消去する機能です。</p>  <p>送受信されたユーザーコマンドの種類 / 実行時間 / IP アドレス (受信時の最終オクテットのみ) を記録表示できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>ユーザーコマンド履歴を記録しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>ユーザーコマンド履歴を記録します。</td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>ユーザーコマンド画面を表示します。</td> </tr> <tr> <td>消去</td> <td>ユーザーコマンド履歴を全消去します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	ユーザーコマンド履歴を記録しません。	入	ユーザーコマンド履歴を記録します。	表示	ユーザーコマンド画面を表示します。	消去	ユーザーコマンド履歴を全消去します。
選択	機能										
切	ユーザーコマンド履歴を記録しません。										
入	ユーザーコマンド履歴を記録します。										
表示	ユーザーコマンド画面を表示します。										
消去	ユーザーコマンド履歴を全消去します。										

## 電源設定

 > [システム設定] > [電源設定]

スタンバイ状態時、無信号入力時、起動時などの電源設定をします。

電源設定	
スタンバイ電力設定	省電力
高速起動	切
パワーマネージメントモード	スタンバイ
パワーマネージメント時間	15分
ダイレクトパワーオン	切
戻る	

### スタンバイ電力設定

スタンバイ状態時のネットワーク機能動作状態を設定します。

選択	機能
通常	ネットワーク機能が有効の場合は Web 設定、PJLink などすべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	一部の有線 LAN 機能（ネットワーク経由の操作など）を除いて無効にします。



- スケジュール機能 (P144) を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。
- 無線 LAN 機能 (P152) を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。

### 高速起動

電源オフ時に、90 分間一部の回路を通電状態として、次の電源オン後の起動時間を短縮します。ただし、瞬間的な大光量変化を防止するため約 1.7 秒をかけて映像を投写します。

選択	機能
切	高速起動を使用しません。
入	高速起動を使用します。

### パワーマネージメントモード

映像入力信号がない状態（無信号状態）で、消灯やスタンバイ状態にできます。リモコンや本体操作部の操作がない（無操作状態）場合、所定時間が経過した後に、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

選択	機能
無効	パワーマネージメントモードを使用しません。
消灯	光源のみオフします。
スタンバイ	電源を切り、スタンバイ状態にします。



- 消灯から復帰するのは、映像信号（消灯前と同じ入力信号）が復活した場合、またはリモコン／本体のボタンを操作した場合、ユーザーコマンドで電源 ON を行った場合です。
- スタンバイ状態から復帰するには、通常の電源を入れる操作が必要です。
- [無効] に設定した場合は、[ダイレクトパワーオン] は使用できません。

## パワーマネージメント時間

【パワーマネージメントモード】で設定した消灯やスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。

選択	機能
5分～60分	入力信号がなくなって30秒が経過し、かつ操作がない状態が継続すると、選択した時間のカウントダウン表示を開始します。



- 5分、10分、15分、20分、30分、60分の設定が可能です。
- ブランク中にカウントダウンを開始する条件になると、ブランクは解除されます。

## ダイレクトパワーオン

【POWER】ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

選択	機能
切	電源を入れるために【POWER】ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。



- ダイレクトパワーオンを【入】にするときは、【パワーマネージメントモード】の設定を【無効】以外に設定してください。【無効】にするとダイレクトパワーオンは使用できません。
- 本機はダイレクトパワーオフ機能を備えています。投写中に電源ボタンを押さずに、電源コードをコンセントから抜いて電源を切っても、故障などを起こしません。ただし、コンセントを抜く直前に行われた設定の変更は保存されない場合があります。

## MB リダクション

>【システム設定】>【MB リダクション】

MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。

選択	機能
切	MB リダクションを実行しません。
弱	動きの速い映像のブレを軽減します。若干映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。
強	【弱】よりも動きの速い映像のブレを軽減します。映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。



- 【弱】、【強】にしたときにちらつきが気になる場合は、【切】に設定してください。
- イメージモードが【DICOM SIM】の場合は、【MB リダクション】は機能しません。メニューはグレイアウト表示となります。

## 言語

 > [システム設定] > [言語]

メニューに表示する言語を選びます。

言語		
<b>English</b> 英語	<b>Русский</b> ロシア語	<b>Čeština</b> チェコ語
<b>Deutsch</b> ドイツ語	<b>Nederlands</b> オランダ語	<b>Dansk</b> デンマーク語
<b>Français</b> フランス語	<b>Suomi</b> フィンランド語	<b>إنجليزي</b> アラビア語
<b>Italiano</b> イタリア語	<b>Norsk</b> ノルウェー語	中文简体 中国語（簡体）
<b>Español</b> スペイン語	<b>Türkçe</b> トルコ語	中文繁體 中国語（繁体）
<b>Português</b> ポルトガル語	<b>Polski</b> ポーランド語	한국어 韓国語
<b>Svenska</b> スウェーデン語	<b>Magyar</b> ハンガリー語	日本語 日本語

## その他の設定

 > [システム設定] > [その他の設定]

パスワードの登録や設定、エアフィルターのカウンターのリセット、スケジュールなどの設定をします。

その他の設定	
パスワード設定	切
パスワード登録	
日付・時刻設定	
スケジュール	
キャリブレーション	
トリガーアウト	切
エアフィルターカウンター	
通電カウンター	3H
ファームウェアバージョン	00.000131
工場出荷設定	
戻る	

## パスワード設定

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。

選択	機能
切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

### パスワードを強制解除するには

本体側で解除する方法	本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。 次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。(登録したパスワードもリセットされます)
リモコン側で解除する方法	リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを3回押し、【POWER】ボタンを押してください。



- [パスワード登録] を行わないとパスワード設定を [入] にできません。  
パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されません。  
パスワードは4桁で入力します。  
【▲】、【▶】、【▼】、【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。  
パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを3回間違えると、電源が切れます。
- パスワードの入力画面のまま無操作状態で3分間経過した場合も電源が切れます。

## パスワード登録

投写を始めるためのパスワードを登録します。

パスワードは 4 桁で入力します。

方向ボタン **【▲】** (1)、**【▶】** (2)、**【▼】** (3)、**【◀】** (4)、またはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。

左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

パスワードの登録を中止するときは **【MENU】** ボタンを押してください。

## 日付・時刻設定

現在の日付と時刻や、その表示形式、サマータイム、タイムゾーンなどを設定します。

サブメニュー	機能								
日付・時刻	日付と時刻を設定します。現在設定されている日付と時刻が表示され、時刻は 1 秒ごとに更新されます。   日付・時刻が未設定のとき、表示は空欄になります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日付</td> <td>日付を入力します。</td> </tr> <tr> <td>時刻</td> <td>時刻を入力します。</td> </tr> <tr> <td>確定</td> <td>入力した値を確認します。このタイミングで、日付・時刻が動作を開始します。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	日付	日付を入力します。	時刻	時刻を入力します。	確定	入力した値を確認します。このタイミングで、日付・時刻が動作を開始します。
	サブメニュー	機能							
	日付	日付を入力します。							
	時刻	時刻を入力します。							
確定	入力した値を確認します。このタイミングで、日付・時刻が動作を開始します。								
 <ul style="list-style-type: none"> <li>表示される日付と時刻の形式は [日付の表示形式] で設定します。</li> <li>電源を長期間抜いた状態が続くと設定がリセットされる場合があります。</li> </ul>									
日付の表示形式	日付・時刻、スケジュールなどにおける日付の表示形式を [年 / 月 / 日]、[月 / 日 / 年]、[日 / 月 / 年] から選びます。								
サマータイム	サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻します。サマータイムの開始と終了の時期をあらかじめ設定しておく必要があります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>サマータイム機能を使用しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>サマータイム機能を使用します。</td> </tr> <tr> <td>編集</td> <td>サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	サマータイム機能を使用しません。	入	サマータイム機能を使用します。	編集	サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。
	選択	機能							
	切	サマータイム機能を使用しません。							
入	サマータイム機能を使用します。								
編集	サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。								
 開始、終了タイミングが未設定のときは、[サマータイム] の [入] はグレースアウトします。									
エリア	設置場所と同じタイムゾーンの地域名を選びます。 [タイムゾーン] に選択した地域に対応するタイムゾーンが表示されます。								

サブメニュー	機能								
SNTP	時刻の同期に SNTP (Simple Network Time Protocol) を使用するかを選びます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入 (IPv4)</td> <td>IPv4 の SNTP を使用します。</td> </tr> <tr> <td>入 (IPv6)</td> <td>IPv6 の SNTP を使用します。</td> </tr> <tr> <td>切</td> <td>SNTP を使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	入 (IPv4)	IPv4 の SNTP を使用します。	入 (IPv6)	IPv6 の SNTP を使用します。	切	SNTP を使用しません。
	選択	機能							
	入 (IPv4)	IPv4 の SNTP を使用します。							
入 (IPv6)	IPv6 の SNTP を使用します。								
切	SNTP を使用しません。								
 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク (有線 / 無線) が [切 / 切] のときは、[SNTP] はグレースアウトします。</li> <li>SNTP サーバーの IP アドレスは Web 画面から設定してください。SNTP サーバーの IP アドレスが設定されていないときは、[SNTP] はグレースアウトします。</li> </ul>									

## スケジュール

本機を自動的に動作させるためのスケジュールを登録することができます。期間を限定しない「通常」スケジュールと、期間を限定した 5 つの「特定期間」スケジュールが選択できます。

スケジュール		
「特定期間1~5」を設定すると、その期間は「通常」スケジュールは実行されません。		
通常	切	
特定期間1	切	2019/05/08 - 2019/05/17
特定期間2	切	2019/05/20 - 2019/05/22
特定期間3	切	2019/05/23 - 2019/05/24
特定期間4	切	2019/05/27 - 2019/05/31
特定期間5	切	2019/06/03 - 2019/06/12
戻る		

 各特定期間の「期間」を、互いに重複して設定することはできません。

選択	機能
通常	期間を限定しないスケジュールを設定できます。
特定期間 1-5	5 つの限定した期間のスケジュールを設定できます。



- [特定期間 1] ~ [特定期間 5] は、期間が未設定の場合、[入] はグレーアウトします。
- [特定期間 1] ~ [特定期間 5] は、期間を通して過去となった場合、[入/切] はグレーアウトします。
- いずれかのスケジュールを [入] に設定すると、スタンバイ電力設定 (P139) が [通常] になります。
- 「特定期間」スケジュールの間は、「通常」スケジュールの実行が抑制され、「特定期間」スケジュールが実行されます。

## スケジュール詳細設定

スケジュール

「特定期間1~5」を設定すると、その期間は「通常」スケジュールは実行されません。

通常	▶切
特定期間1	入
特定期間2	編集
特定期間3	切 2019/05/23 - 2019/05/24
特定期間4	切 2019/05/27 - 2019/05/31
特定期間5	切 2019/06/03 - 2019/06/12
戻る	

選択	機能																								
切	スケジュールを使用しません。																								
入	スケジュールを使用します。																								
編集	<p>スケジュールを編集することができます。</p> <p>■通常</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スケジュール詳細設定 [通常]</p> <p>曜日 ◀ 月曜日 ▶</p> <p>予定編集</p> <table border="1"> <tr><td>08 : 00</td><td>POWER</td><td>ON</td></tr> <tr><td>08 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>10 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>12 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>14 : 30</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>15 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>16 : 15</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>17 : 30</td><td>POWER</td><td>OFF</td></tr> </table> <p>リセット</p> <p>他の曜日へ予定をコピー</p> <p>戻る</p> </div>	08 : 00	POWER	ON	08 : 00	INPUT	HDMI-1	10 : 00	INPUT	HDMI-2	12 : 00	INPUT	HDMI-1	14 : 30	INPUT	HDMI-2	15 : 00	INPUT	HDMI-1	16 : 15	INPUT	HDMI-2	17 : 30	POWER	OFF
08 : 00	POWER	ON																							
08 : 00	INPUT	HDMI-1																							
10 : 00	INPUT	HDMI-2																							
12 : 00	INPUT	HDMI-1																							
14 : 30	INPUT	HDMI-2																							
15 : 00	INPUT	HDMI-1																							
16 : 15	INPUT	HDMI-2																							
17 : 30	POWER	OFF																							

選択	機能																															
編集	<p>■ 特定期間</p> <div data-bbox="403 253 1057 724" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: #fff; padding: 5px;"> <p>スケジュール詳細設定 [特定期間1]</p> <p>期間 2019 / 05 / 08 - 2019 / 05 / 17</p> <p>曜日 ◀ 水曜日 ▶</p> <p>予定編集</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>08 : 00</td><td>POWER</td><td>ON</td></tr> <tr><td>08 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>10 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>12 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>14 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>15 : 30</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>17 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>17 : 30</td><td>POWER</td><td>OFF</td></tr> </table> <p>リセット</p> <p>他の曜日へ予定をコピー</p> <p>戻る</p> </div> <p>設定したい [曜日] を選び、時間とオペレーション、パラメータを選びます。</p>	08 : 00	POWER	ON	08 : 00	INPUT	HDMI-1	10 : 00	INPUT	HDMI-2	12 : 00	INPUT	HDMI-1	14 : 00	INPUT	HDMI-2	15 : 30	INPUT	HDMI-1	17 : 00	INPUT	HDMI-2	17 : 30	POWER	OFF							
	08 : 00	POWER	ON																													
08 : 00	INPUT	HDMI-1																														
10 : 00	INPUT	HDMI-2																														
12 : 00	INPUT	HDMI-1																														
14 : 00	INPUT	HDMI-2																														
15 : 30	INPUT	HDMI-1																														
17 : 00	INPUT	HDMI-2																														
17 : 30	POWER	OFF																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期間</td> <td>動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間]はありません。</td> </tr> <tr> <td>曜日</td> <td>編集する曜日を切り換えます。</td> </tr> <tr> <td>予定編集</td> <td> <p>[曜日] で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ (POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION) を設定、削除できます。</p> <div data-bbox="591 1147 1144 1541" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: #fff; padding: 5px;"> <p>スケジュール詳細設定 [特定期間1]</p> <p>期間 2019 / 05 / 08 - 2019 / 05 / 17</p> <p>曜日 ◀ 水曜日 ▶</p> <p>予定編集</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>08 : 00</td><td>POWER</td><td>ON</td></tr> <tr><td>08 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>10 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>12 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>14 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>15 : 30</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>17 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>17 : 30</td><td>POWER</td><td>OFF</td></tr> </table> <p>リセット</p> <p>他の曜日へ予定をコピー</p> <p>戻る</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	期間	動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間]はありません。	曜日	編集する曜日を切り換えます。	予定編集	<p>[曜日] で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ (POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION) を設定、削除できます。</p> <div data-bbox="591 1147 1144 1541" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: #fff; padding: 5px;"> <p>スケジュール詳細設定 [特定期間1]</p> <p>期間 2019 / 05 / 08 - 2019 / 05 / 17</p> <p>曜日 ◀ 水曜日 ▶</p> <p>予定編集</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>08 : 00</td><td>POWER</td><td>ON</td></tr> <tr><td>08 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>10 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>12 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>14 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>15 : 30</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>17 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>17 : 30</td><td>POWER</td><td>OFF</td></tr> </table> <p>リセット</p> <p>他の曜日へ予定をコピー</p> <p>戻る</p> </div>	08 : 00	POWER	ON	08 : 00	INPUT	HDMI-1	10 : 00	INPUT	HDMI-2	12 : 00	INPUT	HDMI-1	14 : 00	INPUT	HDMI-2	15 : 30	INPUT	HDMI-1	17 : 00	INPUT	HDMI-2	17 : 30	POWER	OFF
サブメニュー	機能																															
期間	動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間]はありません。																															
曜日	編集する曜日を切り換えます。																															
予定編集	<p>[曜日] で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ (POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION) を設定、削除できます。</p> <div data-bbox="591 1147 1144 1541" style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: #fff; padding: 5px;"> <p>スケジュール詳細設定 [特定期間1]</p> <p>期間 2019 / 05 / 08 - 2019 / 05 / 17</p> <p>曜日 ◀ 水曜日 ▶</p> <p>予定編集</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>08 : 00</td><td>POWER</td><td>ON</td></tr> <tr><td>08 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>10 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>12 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>14 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>15 : 30</td><td>INPUT</td><td>HDMI-1</td></tr> <tr><td>17 : 00</td><td>INPUT</td><td>HDMI-2</td></tr> <tr><td>17 : 30</td><td>POWER</td><td>OFF</td></tr> </table> <p>リセット</p> <p>他の曜日へ予定をコピー</p> <p>戻る</p> </div>	08 : 00	POWER	ON	08 : 00	INPUT	HDMI-1	10 : 00	INPUT	HDMI-2	12 : 00	INPUT	HDMI-1	14 : 00	INPUT	HDMI-2	15 : 30	INPUT	HDMI-1	17 : 00	INPUT	HDMI-2	17 : 30	POWER	OFF							
08 : 00	POWER	ON																														
08 : 00	INPUT	HDMI-1																														
10 : 00	INPUT	HDMI-2																														
12 : 00	INPUT	HDMI-1																														
14 : 00	INPUT	HDMI-2																														
15 : 30	INPUT	HDMI-1																														
17 : 00	INPUT	HDMI-2																														
17 : 30	POWER	OFF																														

選択	機能	
編集	サブメニュー	機能
	リセット	選択中のスケジュールの設定内容をリセットします。[期間] および全曜日の設定内容をリセットします。
	他の曜日へ予定をコピー	<p>予定コピーメニューを表示し、[曜日] で選択した曜日のプログラムを他の曜日へコピーできます。</p> 

## キャリブレーション

本機を長期間使用した場合や環境変化などによる画質の変化を調整をします。

サブメニュー	機能						
ガンマリストア	長期間のご使用によって、階調特性の変化や無彩色の色つきが気になったときに使用します。ガンマリストアは点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。</td> </tr> <tr> <td>調整</td> <td>ガンマリストアを実行し、結果を適用します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。	調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。
	選択	機能					
切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。						
調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色つきを購入時（工場出荷時）の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。</li> <li>ガンマリストアを実行すると、約 6 分間、調整画面が投写されます。</li> <li>ガンマリストアを中断するには、【POWER】 ボタン、または【EXIT】 ボタンを押してください。中断すると【切】の状態に戻ります。</li> </ul>							

サブメニュー	機能							
光源補正	長時間のご使用によって光源の輝度や色の劣化が気になった時に使用します。							
	選択	機能						
	はい	光源補正を実行します。						
いいえ	光源補正を実行しません。							
 光源補正は、点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。								
<h2>トリガーアウト</h2> <p>外部のスクリーン等とプロジェクターを連動して制御できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>トリガー端子から出力しません。</td> </tr> <tr> <td>電源連動</td> <td>投写状態のとき、トリガー端子から 12V 電圧を出力します。外部に設置したスクリーンなどの機器を、本機の電源に連動して制御するときに利用できます。</td> </tr> </tbody> </table>			選択	機能	切	トリガー端子から出力しません。	電源連動	投写状態のとき、トリガー端子から 12V 電圧を出力します。外部に設置したスクリーンなどの機器を、本機の電源に連動して制御するときに利用できます。
選択	機能							
切	トリガー端子から出力しません。							
電源連動	投写状態のとき、トリガー端子から 12V 電圧を出力します。外部に設置したスクリーンなどの機器を、本機の電源に連動して制御するときに利用できます。							
<h2>エアフィルターカウンター</h2> <p>エアフィルターの交換時期を知らせるカウンターを表示します。また、カウンターリセット画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> エアフィルターの交換後はエアフィルターカウンターのリセットを行ってください。</li> <li>エアフィルターの交換については <a href="#">182 ~ 183 ページ</a>を参照してください。</li> </ul>								
<h2>通電カウンター</h2> <p>プロジェクターが電源に接続されていた総時間を表示します。</p> <p> [工場出荷設定] を行っても初期化されません。</p>								

## ファームウェアバージョン

ファームウェア（本機の内蔵プログラム）を新しいバージョンに更新します。表示されるバージョンを確認した上でバージョンアップを実行してください。



本機のファームウェアのアップデートは以下の手順で行います。

1. アップデートプログラムは弊社の Web サイトからダウンロードし、USB メモリのルートディレクトリに保存します。
2. USB メモリを USB 端子に接続します。
3. 画面に表示される指示に従って操作してください。



- ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。
- アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。詳しくはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 更新処理には数分かかります。ファームウェアの更新中は、赤い LED が点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

## 工場出荷設定

メニューで設定した内容を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

## ネットワーク設定

ネットワーク（有線/無線）への接続の設定や、ネットワーク使用時のパスワードの登録など、ネットワークを使用するときの設定について説明します。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ネットワーク設定変更	ネットワークの設定を変更できないようにロック / ロック解除を設定します。	P151
ネットワークパスワード設定	ネットワークの設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。	P151
ネットワークパスワード登録	ネットワークパスワードの登録をします。	P151
ネットワーク (有線 / 無線)	有線 LAN 機能の入 / 切と、無線 LAN 機能の入 / 切およびモードを設定します。	P152
詳細設定 (有線)	有線 LAN で接続するときの詳細な情報の表示および設定をします。	P153
詳細設定 (無線)	無線 LAN で接続するときの詳細な情報の表示および設定をします。	P157
PJLink*	プロジェクターの PJLink 機能の使用の有無を設定します。	P162
AMX Device Discovery*	AMX Device Discovery の検出の設定をします。	P163
Crestron RoomView*	Crestron RoomView の使用設定をします。	P163
インフォメーション	ネットワーク関連の情報を表示します。	P164

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

\* 有線LANでのみ有効です。

## ネットワーク設定変更

 > [ネットワーク設定] > [ネットワーク設定変更]

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

選択	機能
ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。【▲】【▶】【▼】【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、4桁のネットワークパスワードを入力します。
ロック	ロックします。



### • ネットワークのロックを強制解除するには

- 【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは【▲】【▲】【▲】【▲】（【1】【1】【1】【1】）に初期化されます。
- 「ネットワークパスワード設定」を「切」に設定すると、常にロックが解除された状態となります。

## ネットワークパスワード設定

 > [ネットワーク設定] > [ネットワークパスワード設定]

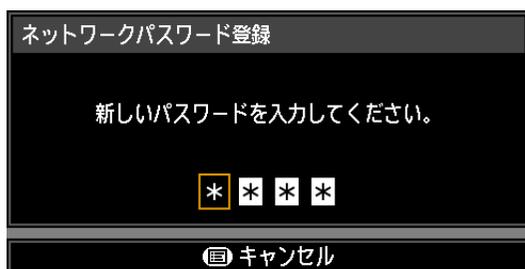
プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードを必要とするかどうかを切り換えます。

選択	機能
切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

## ネットワークパスワード登録

 > [ネットワーク設定] > [ネットワークパスワード登録]

【▲】【▶】【▼】【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



## ネットワーク（有線 / 無線）

 > [ネットワーク設定] > [ネットワーク(有線 / 無線)]

有線 LAN のネットワーク機能の入 / 切と、無線 LAN のネットワーク機能の入 / 切およびモードを設定します。

[切] に設定すると、消費電力を抑えることができます。

選択	機能
切 / 切	ネットワーク機能を無効にします。
入 / 切	有線 LAN 機能のみを有効にします。
入 / 入 (Pj AP)	有線 LAN 機能、無線 LAN 機能 (PJ AP モード) を有効にします。
切 / 入 (Pj AP)	無線 LAN 機能 (PJ AP モード) のみを有効にします。
切 / 入 (Infra)	無線 LAN 機能 (インフラストラクチャモード) のみを有効にします。



### 無線 LAN を使用して接続する場合

PJ AP モード (P56) で接続した場合、初回起動時にセキュリティキーの設定を確認する画面が表示されます。

## 詳細設定（有線）

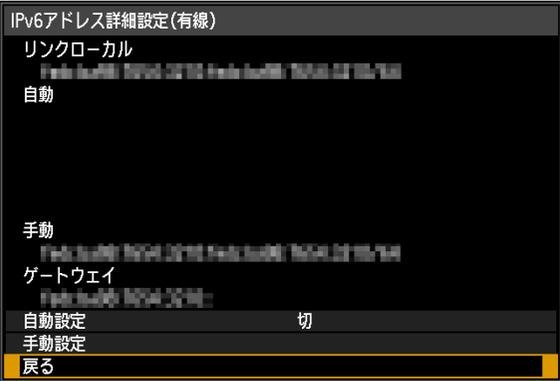
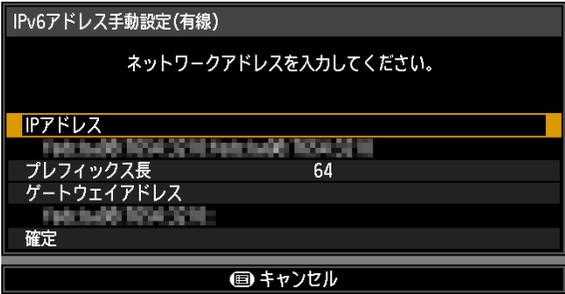
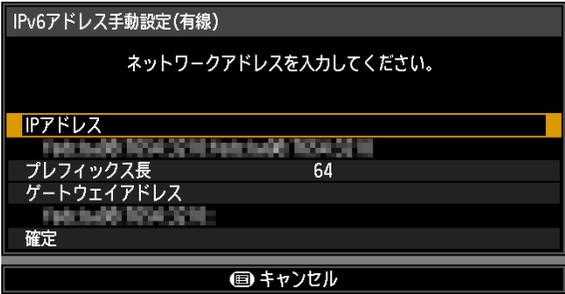
 > [ネットワーク設定] > [詳細設定(有線)]

有線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。有線 LAN 機能が [入] のときのみ有効です。

詳細設定(有線)	
MACアドレス	XXXXXXXXXX
IPv4アドレス詳細設定	
IPv6	入
IPv6アドレス詳細設定	
ネットワーク設定初期化	
戻る	

メニュー	機能																
MAC アドレス	本機の有線側の MAC アドレスです。																
IPv4 アドレス 詳細設定	本機の有線 LAN (IPv4) 機能の詳細を設定します。 <table border="1" data-bbox="408 722 1094 938"> <tr> <td colspan="2">IPv4アドレス詳細設定(有線)</td> </tr> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192 . 168 . 254 . 254</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td>DHCP</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>TCP/IP設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戻る</td> <td></td> </tr> </table>	IPv4アドレス詳細設定(有線)		IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	DHCP	切	TCP/IP設定		戻る			
	IPv4アドレス詳細設定(有線)																
	IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254															
	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0															
	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0															
	DHCP	切															
TCP/IP設定																	
戻る																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DHCP</td> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	IP アドレス	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	サブネットマスク	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。	ゲートウェイアドレス	有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。	DHCP	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。
サブメニュー	機能																
IP アドレス	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。																
サブネットマスク	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。																
ゲートウェイアドレス	有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。																
DHCP	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。										
	選択	機能															
切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。																
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。																

メニュー	機能										
IPv4 アドレス 詳細設定	サブメニュー	機能									
	TCP/IP 設定	<p>接続するときの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p> <div data-bbox="595 324 1166 625" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>IPv4アドレス手動設定(有線)</p> <p>ネットワークアドレスを入力してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">IPアドレス</td> <td style="text-align: right;">192 . 168 . 254 . 254</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">サブネットマスク</td> <td style="text-align: right;">255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">ゲートウェイアドレス</td> <td style="text-align: right;">0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">確定</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  キャンセル                 </td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [DHCP] (P153) が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。</li> <li>• 無効な値を入力した場合は、「入力が入りません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</li> <li>• [ネットワーク (有線 / 無線)] の設定が [入 / 入 (Pj AP)] のときに PJ AP モードと同一のサブネットワークに設定すると、「同一セグメント IP は設定できません。」と表示されます。異なるサブネットワークに入力し直すか、[ネットワーク (有線 / 無線)] の設定を [入 / 切] に変更してから有線 LAN の IP アドレスを入力し直してください。</li> </ul>	IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	確定		キャンセル
IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254										
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0										
ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0										
確定											
キャンセル											
IPv6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">選択</th> <th style="text-align: center;">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">切</td> <td>本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入</td> <td>本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。	入	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。				
選択	機能										
切	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。										
入	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。										

メニュー	機能													
IPv6 アドレス 詳細設定	<p>本機の有線 LAN (IPv6) 機能の詳細を設定します。</p> 													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 670 577 703">サブメニュー</th> <th data-bbox="577 670 1201 703">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="408 703 577 774">リンクローカル</td> <td data-bbox="577 703 1201 774">有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 774 577 846">自動</td> <td data-bbox="577 774 1201 846">有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 846 577 884">手動</td> <td data-bbox="577 846 1201 884">有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 884 577 923">ゲートウェイ</td> <td data-bbox="577 884 1201 923">有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 923 577 994">自動設定</td> <td data-bbox="577 923 1201 994">有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 994 577 1570">手動設定</td> <td data-bbox="577 994 1201 1570"> <p>有線 LAN (IPv6) を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p>  <p> 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。	自動	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。	手動	有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。	ゲートウェイ	有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。	自動設定	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。	手動設定
サブメニュー	機能													
リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。													
自動	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。													
手動	有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。													
ゲートウェイ	有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。													
自動設定	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。													
手動設定	<p>有線 LAN (IPv6) を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p>  <p> 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</p>													

メニュー	機能
<p>ネットワーク 設定初期化</p>	<p>ネットワークに関する以下の項目を初期化します。</p> <p><b>本機のメニューから設定する項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク設定変更 (P151)</li> <li>• ネットワークパスワード設定 (P151)</li> <li>• ネットワークパスワード登録 (P151)</li> <li>• ネットワーク (有線 / 無線) (P152)</li> <li>• 詳細設定 (有線) (P153)             <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv4アドレス詳細設定 (P153)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP (有線 LAN (IPv4)) (P153)</li> <li>• TCP/IP設定 (P154)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPアドレス (有線 LAN (IPv4)) (P153)</li> <li>• サブネットマスク (有線 LAN (IPv4)) (P153)</li> <li>• ゲートウェイアドレス (有線 LAN (IPv4)) (P153)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• IPv6 (P154)</li> <li>• IPv6アドレス詳細設定 (P155)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動設定 (P155)</li> <li>• 手動設定 (P155)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPアドレス (有線 LAN (IPv6)) (P155)</li> <li>• プレフィックス長 (P155)</li> <li>• ゲートウェイアドレス (有線 LAN (IPv6)) (P155)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• PJLink (P162)</li> <li>• AMX Device Discovery (P163)</li> <li>• Crestron RoomView (P163)</li> </ul> <p><b>Web画面から設定する項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Password] (P166)</li> <li>• [Wired] (P172)             <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv4に関する以下の項目                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP (P172)</li> <li>• IP address (P172)</li> <li>• Subnet mask (P172)</li> <li>• Default gateway (P173)</li> </ul> </li> <li>• IPv6に関する以下の項目                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6 (P173)</li> <li>• Autoconfiguration (P173)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• IP address (P173)</li> <li>• Prefix length (P173)</li> <li>• Default gateway (P173)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• [Mail] (P176)</li> <li>• [SNMP] (P178)</li> <li>• [Projector info.] (P179)</li> <li>• [PJLink] (P180)</li> </ul>

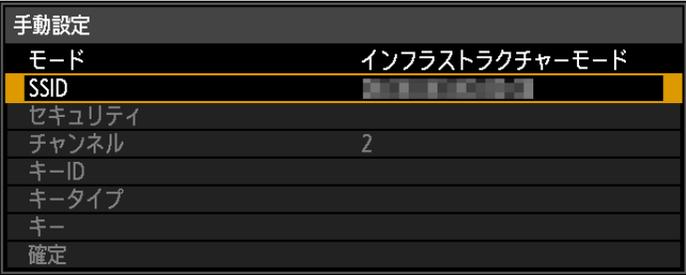
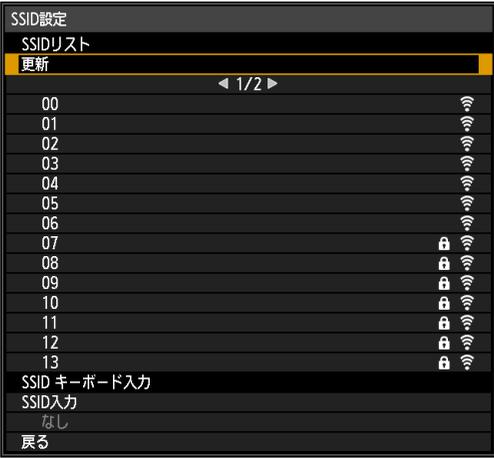
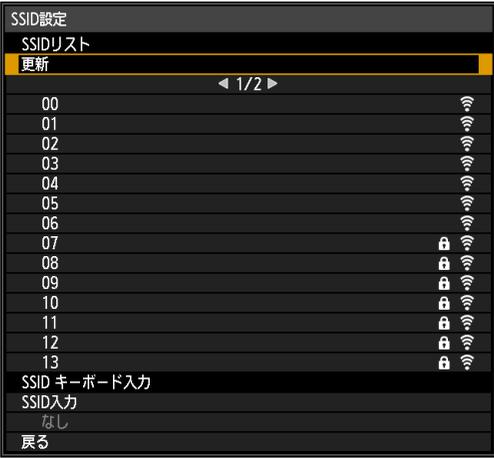
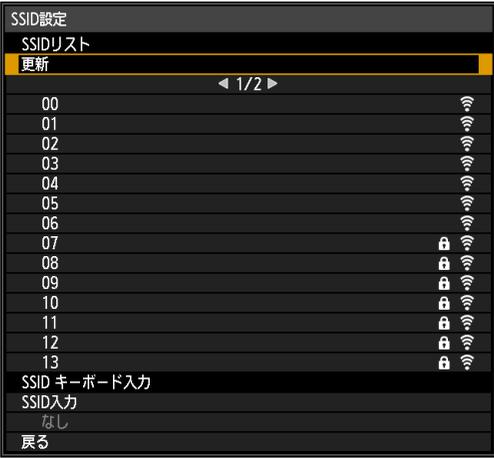
## 詳細設定（無線）

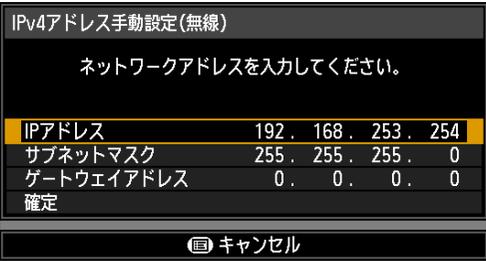
 > [ネットワーク設定] > [詳細設定(無線)]

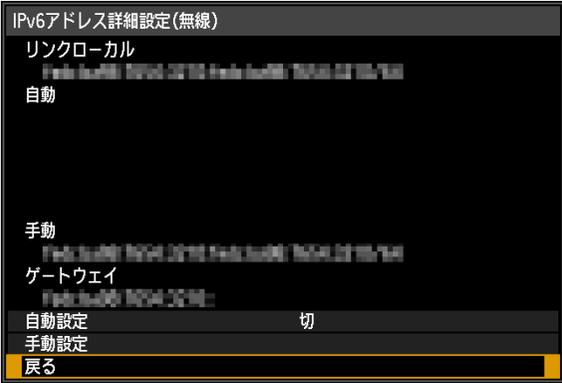
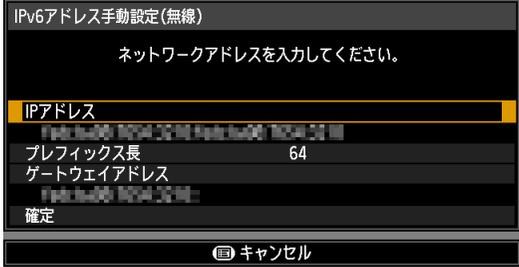
無線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。無線 LAN 機能が [入] のときのみ有効です。

詳細設定(無線)	
モード	インフラストラクチャーモード
SSID	XXXXXXXXXX 
セキュリティ	WPA/WPA2 TKIP/AES
チャンネル	2
信号強度	10dB
MACアドレス	XXXXXXXXXX
Wi-Fi Protected Setup	
手動設定	
IPv4アドレス詳細設定	
IPv6	入
IPv6アドレス詳細設定	
ネットワーク設定初期化	
戻る	

メニュー	機能						
モード	無線 LAN のモードを表示します。(P56、P57)						
SSID	アクセスポイントの SSID を表示します。						
セキュリティ	セキュリティ設定を表示します。						
チャンネル	接続先のチャンネルを表示します。						
信号強度	信号強度の実測値を表示します。						
MAC アドレス	本機の無線側 MAC アドレスです。						
Wi-Fi Protected Setup	インフラストラクチャモードを使用するときの接続方法を選びます。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PBC</td> <td>PBC（プッシュボタン）方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機（アクセスポイント）のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。</td> </tr> <tr> <td>PIN</td> <td>PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機（アクセスポイント）に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	PBC	PBC（プッシュボタン）方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機（アクセスポイント）のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。	PIN	PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機（アクセスポイント）に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。
	サブメニュー	機能					
PBC	PBC（プッシュボタン）方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機（アクセスポイント）のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。						
PIN	PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機（アクセスポイント）に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。						

メニュー	機能																		
手動設定	<p>本機の無線 LAN を手動で設定します。</p> 																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 564 577 600">サブメニュー</th> <th data-bbox="577 564 1201 600">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="408 600 577 637">モード</td> <td data-bbox="577 600 1201 637">無線 LAN のモードを表示します。(P56、P57)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 637 577 1246">SSID</td> <td data-bbox="577 637 1201 1246"> <p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1246 577 1381">セキュリティ</td> <td data-bbox="577 1246 1201 1381">無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1381 577 1450">チャンネル</td> <td data-bbox="577 1381 1201 1450">無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1450 577 1520">キー ID</td> <td data-bbox="577 1450 1201 1520">無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1520 577 1628">キータイプ</td> <td data-bbox="577 1520 1201 1628">無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1628 577 1698">キー</td> <td data-bbox="577 1628 1201 1698">セキュリティキーを入力します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 1698 577 1740">確定</td> <td data-bbox="577 1698 1201 1740">設定した内容で接続します。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	モード	無線 LAN のモードを表示します。(P56、P57)	SSID	<p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p> 	セキュリティ	無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。	チャンネル	無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。	キー ID	無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。	キータイプ	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。	キー	セキュリティキーを入力します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。	確定	設定した内容で接続します。
	サブメニュー	機能																	
	モード	無線 LAN のモードを表示します。(P56、P57)																	
	SSID	<p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p> 																	
	セキュリティ	無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。																	
	チャンネル	無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。																	
	キー ID	無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。																	
	キータイプ	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。																	
	キー	セキュリティキーを入力します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。																	
確定	設定した内容で接続します。																		

メニュー	機能						
IPv4 アドレス 詳細設定	<p>本機の無線 LAN (IPv4) 機能の詳細を設定します。</p> 						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 463 577 498">サブメニュー</th> <th data-bbox="577 463 1188 498">機能</th> </tr> </thead> </table>	サブメニュー	機能				
	サブメニュー	機能					
	IP アドレス	本機の無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。					
	サブネット マスク	本機の無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。					
ゲートウェ イアドレス	本機の無線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。						
DHCP	<p>本機の無線 LAN の DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="596 765 710 799">選択</th> <th data-bbox="710 765 1188 799">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="596 799 710 873">切</td> <td data-bbox="710 799 1188 873">DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 873 710 1105">入</td> <td data-bbox="710 873 1188 1105">DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。
選択	機能						
切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。						
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。						
TCP/IP 設定	<p>本機の無線 LAN の TCP / IP の設定を行います。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>• [DHCP] が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。</li> <li>• 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</li> </ul> </div> 						

メニュー	機能												
IPv6	<table border="1" data-bbox="406 204 1196 355"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 204 578 247">選択</th> <th data-bbox="578 204 1196 247">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="406 247 578 285">切</td> <td data-bbox="578 247 1196 285">本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 285 578 355">入</td> <td data-bbox="578 285 1196 355">本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="422 390 1179 483">  PJ AP モード (P152) で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6] メニューと [IPv6 アドレス詳細設定] メニューはグレースアウトになります。         </p>	選択	機能	切	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。	入	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。						
選択	機能												
切	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。												
入	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。												
IPv6 アドレス 詳細設定	<p data-bbox="406 510 1026 537">本機の無線 LAN (IPv6) 機能の詳細を設定します。</p> <div data-bbox="406 548 968 931">  </div> <table border="1" data-bbox="406 954 1196 1302"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 954 578 993">サブメニュー</th> <th data-bbox="578 954 1196 993">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="406 993 578 1058">リンクローカル</td> <td data-bbox="578 993 1196 1058">無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1058 578 1124">自動</td> <td data-bbox="578 1058 1196 1124">無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1124 578 1170">手動</td> <td data-bbox="578 1124 1196 1170">無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1170 578 1236">ゲートウェイ</td> <td data-bbox="578 1170 1196 1236">無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1236 578 1302">自動設定</td> <td data-bbox="578 1236 1196 1302">無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="406 1309 1179 1394">手動設定</p> <p data-bbox="584 1309 1179 1394">無線 LAN の IPv6 を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p> <div data-bbox="592 1402 1111 1669">  </div> <p data-bbox="611 1696 1171 1789">  無効な値を入力した場合は、「入力 that 正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。         </p>	サブメニュー	機能	リンクローカル	無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。	自動	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。	手動	無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。	ゲートウェイ	無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。	自動設定	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。
サブメニュー	機能												
リンクローカル	無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。												
自動	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。												
手動	無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。												
ゲートウェイ	無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。												
自動設定	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。												

メニュー	機能
ネットワーク 設定初期化	<p>ネットワークに関する以下の項目を初期化します。</p> <p><b>本機のメニューから設定する項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク設定変更 (P151)</li> <li>• ネットワークパスワード設定 (P151)</li> <li>• ネットワークパスワード登録 (P151)</li> <li>• ネットワーク (有線 / 無線) (P152)</li> <li>• 詳細設定 (無線) (P157) の以下の項目             <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv4アドレス詳細設定 (P159)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP (無線 LAN (IPv4)) (P159)</li> <li>• TCP/IP設定 (P159)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPアドレス (無線 LAN (IPv4)) (P159)</li> <li>• サブネットマスク (無線 LAN (IPv4)) (P159)</li> <li>• ゲートウェイアドレス (無線 LAN (IPv4)) (P159)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• IPv6 (P160)</li> <li>• IPv6アドレス詳細設定 (P160)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動設定 (P160)</li> <li>• 手動設定 (P160)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPアドレス (無線 LAN (IPv6)) (P160)</li> <li>• プレフィックス長 (P160)</li> <li>• ゲートウェイアドレス (無線 LAN (IPv6)) (P160)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>Web画面から設定する項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Password] (P166)</li> <li>• [Wireless] (P174) の以下の項目             <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv4に関する以下の項目                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP (P174)</li> <li>• IP address (P174)</li> <li>• Subnet mask (P174)</li> <li>• Default gateway (P174)</li> </ul> </li> <li>• IPv6に関する以下の項目                 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6 (P175)</li> <li>• Autoconfiguration (P175)</li> <li>• IP address (P175)</li> <li>• Prefix length (P175)</li> <li>• Default gateway (P175)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• [Mail] (P176)</li> <li>• [Projector info.] (P179)</li> </ul>

## PJLink

 > [ネットワーク設定] > [PJLink]

プロジェクターのPJLink機能の無効、有効を切り換えます。

[入] にすると、ネットワーク経由でPJLink規格に沿ったコマンドによる制御が行えます。

選択	機能
切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。



- このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class2 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class2 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 適合性を検証しています。
  - PJLink のコマンド通信ポート番号は 4352(TCP) です。
  - PJLink のデバイス検索ポート番号は 4352(UDP) です。
  - PJLink の利用については「PJLinkを設定する [PJLink]」(P180)を参照してください。

### 入力端子対応表

入力ソース番号	入力信号名称
31	HDMI-1
32	HDMI-2
33	DP-1
34	DP-2
35	DP-1 X2
51	HDBaseT

### PJLink とは

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1 : プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

Class 2 : Class 1 に対して、コマンド追加・デバイス検索・状態通知・IPv6 対応を標準化

PJLink 仕様書は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトをご覧ください。

PJLink サイト URL      <http://pjlink.jbmia.or.jp>

## AMX Device Discovery

 > [ネットワーク設定] > [AMX Device Discovery]

ネットワーク環境で、AMXのAMX Device Discovery 対応機器による検出をするときに設定します。ネットワーク環境にAMX Device Discoveryがないときは、[切]を選びます。

選択	機能
切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。



- AMX Device Discovery の詳細については AMX の Web ページを参照してください。  
<http://www.amx.com>

## Crestron RoomView

 > [ネットワーク設定] > [Crestron RoomView]

Crestron 社の Crestron RoomView とは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や、電源 ON / OFF などを、一括管理できるシステムです。Crestron RoomView を使用するかどうかを設定します。

選択	機能
切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express / Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P180)



- Crestron RoomView の詳細については、Crestron® 社の Web ページを参照してください。  
<http://www.crestron.com>

## インフォメーション

 > [ネットワーク設定] > [インフォメーション]

ネットワーク関連の情報を表示します。

メニュー		機能	
メール送信元アドレス		エラーメールの送信元メールアドレスです。(P176)	
メール送信先アドレス		エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。(P176)	
詳細情報 (有線)	IPv4	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	
	IPv6	リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	有線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスです。
		手動	有線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスです。
詳細情報 (無線)	IPv4	無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	
	IPv6	リンクローカル	無線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	無線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスです。
		手動	無線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスです。



- 詳細情報（有線）メニューの情報は、[ネットワーク（有線 / 無線）] の設定が [入 / \*] のときに表示されます。
- 詳細情報（無線）メニューの情報は、[ネットワーク（有線 / 無線）] の設定が [\* / 入] のときに表示されます。

# インフォメーション

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



メニュー	機能
モデル名	機種名が表示されます。
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。「信号種別」「信号解像度」「周波数」「カラーフォーマット」などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアル No.	本機固有のシリアルナンバーです。
プロジェクター使用時間	総点灯時間を表示します。
IP アドレス (有線) *	有線でネットワーク接続しているときの IP アドレス (IPv4) です。
IP アドレス (無線) *	無線でネットワーク接続しているときの IP アドレス (IPv4) です。
プロジェクター名 *	ネットワーク上での本機の識別名です。
コメント *	本機の設置場所などのコメントが表示されます。(P179)
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

\* ネットワーク (有線 / 無線) が [切 / 切] のとき、値は表示されません。  
 ネットワーク (有線 / 無線) の設定値によって値が表示されない場合があります。  
 ○ : 表示、× : 非表示

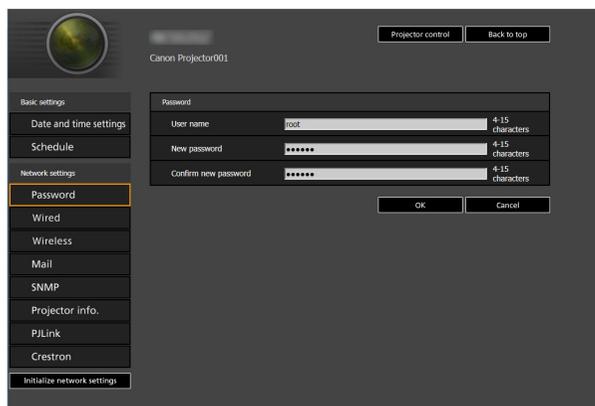
ネットワーク (有線 / 無線)	切 / 切	入 / 切	入 / 入 (Pj AP)	切 / 入 (Pj AP)	切 / 入 (Infra)
IP アドレス (有線)	×	○	○	×	×
IP アドレス (無線)	×	×	○	○	○
プロジェクター名	×	○	○	○	○
コメント	×	○	○	○	○

# プロジェクターの Web 画面メニューの説明

ここでは、プロジェクターのWeb画面のメニューについて説明します。

## パスワードの設定 [Password]

セッティング画面の [Password] では、Web画面にログインする際のユーザー名やパスワードの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



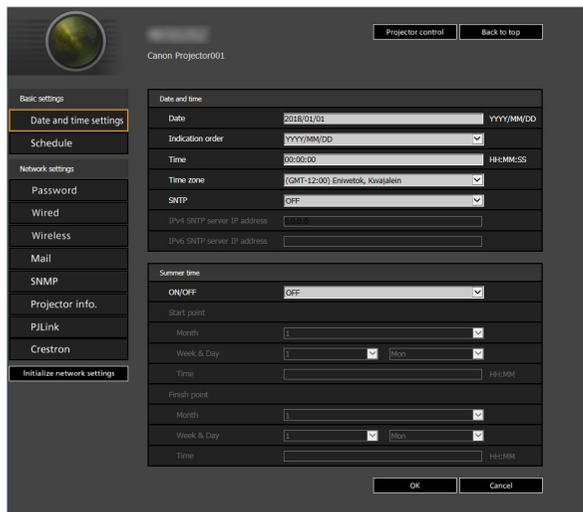
項目	説明	工場出荷時の設定
User name	Web画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号（4～15文字）で入力します。	root
New password	Web画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号（4～15文字）で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、[New password]と同じパスワードを入力します。	system



工場出荷時のパスワードは変更することを推奨します。

## 日付・時刻の設定 [Date and time settings]

セッティング画面の [Date and time settings] では、現在の日付と時刻や、その表示形式、タイムゾーン、サマータイムなどの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



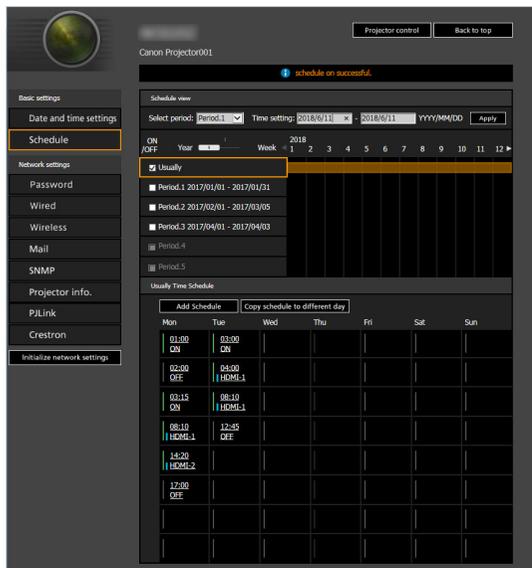
	項目	説明	工場出荷時の設定
Date and time	Date	日付を半角数字で入力します。	2018/01/01
	Indication order	日付の表示形式を [YYYY/MM/DD]、[MM/DD/YYYY]、[DD/MM/YYYY] から選びます。	YYYY/MM/DD
	Time	時刻を半角数字 (00:00:00 ~ 23:59:59) で入力します。	00:00:00
	Time zone	タイムゾーンの地域名を選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
	SNTP	SNTP (Simple Network Time Protocol) 機能の ON / OFF を選択します。 ON (IPv4) の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Date] [Time] [IPv6 SNTP server IP address] ON (IPv6) の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Date] [Time] [IPv4 SNTP server IP address]	OFF
	IPv4 SNTP server IP address	IPv4 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
	IPv6 SNTP server IP address	IPv6 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>

## プロジェクターの Web 画面メニューの説明

	項目	説明	工場出荷時の設定
Summer time	ON / OFF	サマータイム機能（サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻す）の ON / OFF を選択します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Start point Month] [Start point Week] [Start point Day] [Start point Time] [Finish point Month] [Finish point Week] [Finish point Day] [Finish point Time]	OFF
	Start point Month	サマータイムの開始月を選択します。	1
	Start point Week	サマータイムの開始週を選択します。	1
	Start point Day	サマータイムの開始曜日を選択します。	Mon
	Start point Time	サマータイムの開始時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	00:00
	Finish point Month	サマータイムの終了月を選択します。	1
	Finish point Week	サマータイムの終了週を選択します。	1
	Finish point Day	サマータイムの終了曜日を選択します。	Mon
Finish point Time	サマータイムの終了時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	00:00	

## スケジュールの設定 [Schedule]

セッティング画面の [Schedule] では、本機を自動的に動作させるためのスケジュールの設定をします。スケジュールは、対象期間を限定しない通常スケジュール (Usually) と、対象期間を限定した 5 つの特定期間スケジュール (Period.1 ~ Period.5) を選択できます。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



	項目	説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Select period	設定する特定期間スケジュールを選択します。	Period.1
	Time setting	特定期間スケジュールの開始日付 (左側の入力ボックス) と終了日付 (右側の入力ボックス) を半角数字で入力します。 特定期間スケジュールの日付を互いに重複して設定することはできません。	2018/01/01
	Usually	通常スケジュールを表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.1	特定期間 1 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.2	特定期間 2 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.3	特定期間 3 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)

## プロジェクターの Web 画面メニューの説明

項目		説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Period.4	特定期間 4 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.5	特定期間 5 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
Time Schedule		[Schedule view] で選択した通常 / 特定期間スケジュールについて、該当期間のスケジュールを曜日・時刻単位で表示します。 緑の縦線は電源 ON、灰色の縦線は電源 OFF を示し、水色の縦線は入力信号の切り換えを示します。 各曜日のスケジュールは 8 つまで登録できます。	—

[Time Schedule] の各項目をクリックすると、Edit schedule 画面が表示され、選択した曜日・時刻のスケジュールを編集することができます。

項目		説明	工場出荷時の設定
Edit schedule	Day	選択したスケジュールの曜日を表示します。	—
	Time	自動実行する時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	<空欄>
	Operation	自動実行する操作を Power / Input / Calibration から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Operation] が Power の場合 ON / OFF</li> <li>• [Operation] が Input の場合 HDMI-1/2 / DP-1/2/1X2 / HDBaseT</li> <li>• [Operation] が Calibration の場合 LIGHT</li> </ul>	ON

[Time Schedule] で [Add schedule] をクリックすると、Add schedule画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、新たなスケジュールを追加することができます。

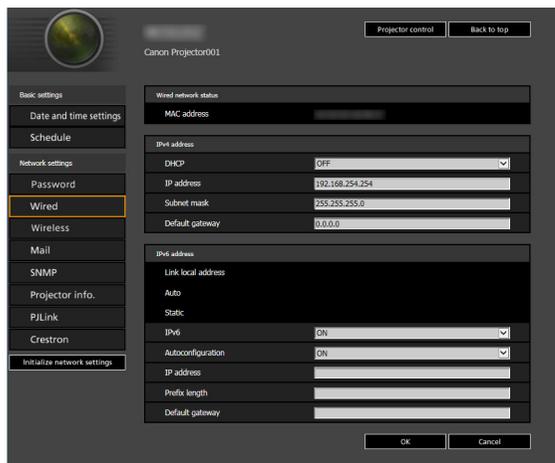
	項目	説明	工場出荷時の設定
Add schedule	Day	自動実行する曜日を選択します。チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし
	Time	自動実行する時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	<空欄>
	Operation	自動実行する操作を Power / Input / Calibration から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Operation] がPowerの場合 ON / OFF</li> <li>• [Operation] がInputの場合 HDMI-1/2 / DP-1/2/1X2 / HDBaseT</li> <li>• [Operation]がCalibration の場合 LIGHT</li> </ul>	ON

[Time Schedule] で [Copy schedule to different day] をクリックすると、Schedule copy画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、任意の曜日スケジュールを他の曜日にコピーすることができます。

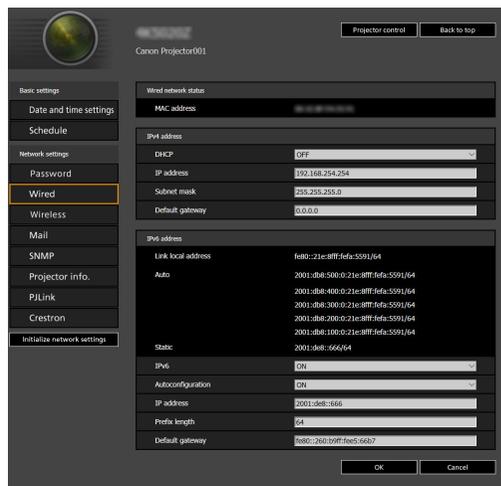
	項目	説明	工場出荷時の設定
Schedule copy	Copy origin	コピー元の曜日を選択します。	Mon
	Registration Events	選択した曜日のスケジュール内容を表示します。	<空欄>
	Copy to day	コピー先の曜日を選択します。 チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし

## 有線 LAN 基本情報の設定 [Wired]

セッティング画面の [Wired] では、有線 LAN の基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



IPv4 の場合



IPv6 の場合

	項目	説明	工場出荷時の設定
	MAC address	プロジェクターの有線 LAN の MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの有線 LAN の MAC アドレス
IPv4 address	DHCP	有線 LAN (IPv4) の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの有線 LAN (IPv4) の IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
	Subnet mask	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0

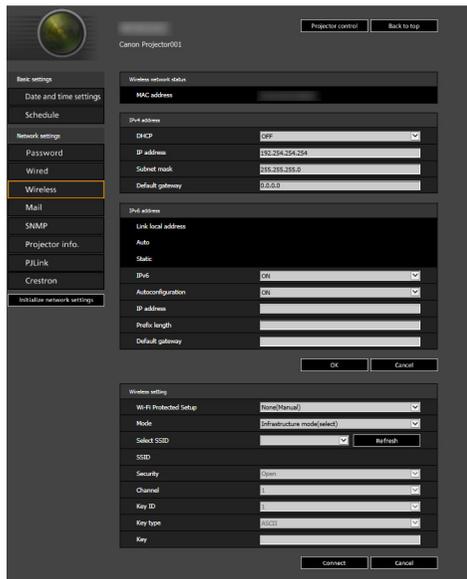
項目		説明	工場出荷時の設定
IPv4 address	Default gateway	有線 LAN (IPv4) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv6 address	Link local address	プロジェクターの有線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスを表示します。	プロジェクターの有線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレス
	Auto	プロジェクターの有線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスを表示します。	自動設定によって取得された自動 IP アドレス
	Static	プロジェクターの有線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスを表示します。	<空欄>
	IPv6	有線 LAN (IPv6) の IPv6 機能の ON / OFF を設定します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	有線 LAN (IPv6) の自動設定機能の ON / OFF を選択します。	ON
	IP address	有線 LAN (IPv6) アドレスを半角数字や英字の A ~ F で入力します。	<空欄>
	Prefix length	有線 LAN (IPv6) のプレフィックス長を半角数字で入力します。	<空欄>
	Default gateway	有線 LAN (IPv6) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字や英字の A ~ F で入力します。	<空欄>



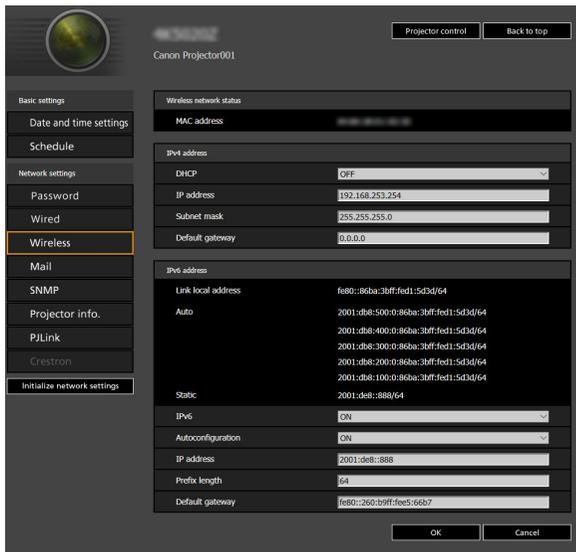
TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。  
ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で [Subnet mask] を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

## 無線 LAN 基本情報の設定 [Wireless]

セッティング画面の [Wireless] では、無線 LAN の基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



IPv4の場合



IPv6の場合

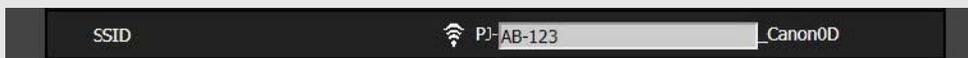
項目		説明	工場出荷時の設定
MAC address		プロジェクターの無線 LAN の MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの無線 LAN の MAC アドレス
IPv4 address	DHCP	無線 LAN (IPv4) の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの無線 LAN (IPv4) アドレスを半角数字で入力します。	192.168.253.254
	Subnet mask	無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
	Default gateway	無線 LAN (IPv4) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv6 address	Link local address	プロジェクターの無線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスを表示します。	プロジェクターの無線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレス
	Auto	プロジェクターの無線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスを表示します。	自動設定によって取得された自動 IP アドレス

項目		説明	工場出荷時の設定
IPv6 address	Static	プロジェクターの無線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスを表示します。	<空欄>
	IPv6	無線 LAN (IPv6) 機能の ON / OFF を設定します。 OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	無線 LAN (IPv6) の自動設定機能の ON / OFF を選択します。	ON
	IP address	無線 LAN (IPv6) の IP アドレスを半角数字や英字の A ~ F で入力します。	<空欄>
	Prefix length	無線 LAN (IPv6) のプレフィックス長を半角数字で入力します。	<空欄>
	Default gateway	無線 LAN (IPv6) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字や英字の A ~ F で入力します。	<空欄>
Wireless setting	Wi-Fi Protected Setup	無線 LAN 接続方法を選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は選択できません。	None (Manual)
	Mode	無線 LAN 接続モードを表示、選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	infrastructure mode (select)
	Select SSID	無線 LAN のアクセスポイントの SSID を選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	<空欄>
	SSID	無線 LAN のアクセスポイントの SSID を表示、変更します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合には、SSID の一部を変更できません。	<空欄>
	Security	無線 LAN セキュリティ設定値を表示、選択します。	Open
	Channel	無線 LAN チャンネル数を表示、選択します。無線 LAN のモードがインフラストラクチャモードの場合は、選択できません。	6
	Key ID	無線 LAN の WEP キー ID を表示、選択します。Security の設定が WEP 以外の場合は選択できません。	1

項目		説明	工場出荷時の設定
Wireless setting	Key type	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。無線 LAN のモードが PJ AP モードの場合は、選択できません。	ASCII
	Key	無線 LAN のセキュリティキーを入力します。	<空欄>

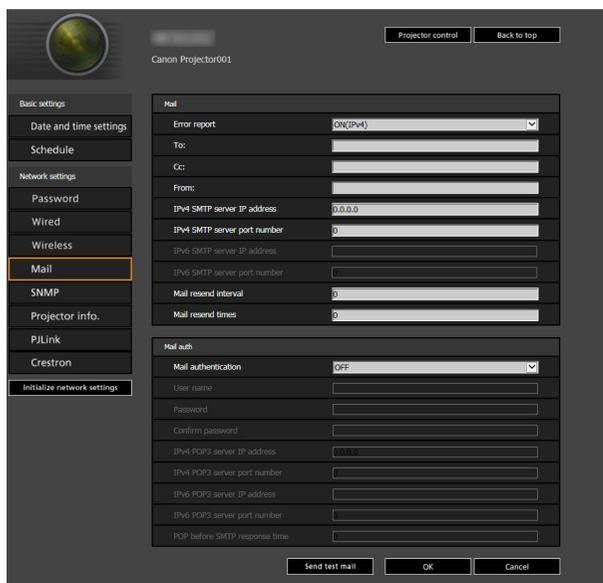


- TCP / IPに関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で [Subnet mask] を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。
- PJ AP モード (P56) で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6 address] はグレーアウトになります。
- 無線 LAN で PJ AP モード (P56) を接続しているときに SSID の一部を変更する場合は「PJ-」と「\_CanonOD」の間が編集できます。半角の英数字、ハイフン (-)、アンダースコア (\_) を (1 ~ 15 文字) 入力します。



## メールを設定する [Mail]

セッティング画面の [Mail] では、エラーメール送信およびテストメール送信を行うために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF と、使用するネットワーク IPv4 / IPv6 を選択します。	OFF
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	MailUserAccount
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	<空欄>
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	Projector@canon.co.jp
IPv4 SMTP server IP address	IPv4 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv4 SMTP server port number	IPv4 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	25
IPv6 SMTP server IP address	IPv6 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
IPv6 SMTP server port number	IPv6 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	25
Mail resend interval*	エラーメール再送間隔（秒単位）を 0～59 秒の範囲で半角数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0～255 回の範囲で半角数字で入力します。	3

\* 0秒を設定した場合、待機時間なしで指定されたエラーメール再送回数の再送を繰り返します。

## メール認証を設定する

Mail 画面の [Mail auth] では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。

項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角英数字・記号（1～63文字）で入力します。	<空欄>
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角英数字・記号（1～63文字）で入力します。	<空欄>

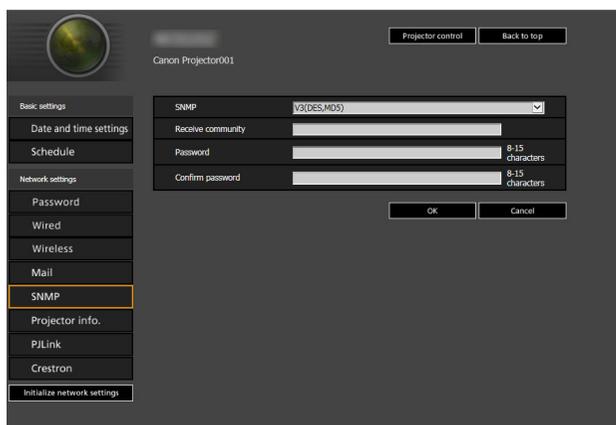
項目	説明	工場出荷時の設定
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	< 空欄 >
IPv4 POP3 server IP address	IPv4 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv4 POP3 server port number	IPv4 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
IPv6 POP3 server IP address	IPv6 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	< 空欄 >
IPv6 POP3 server port number	IPv6 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1 ～ 65535）で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数字（0 ～ 9999 ミリ秒）で入力します。	300

## テストメールを送信する

Mail 画面の [Send test mail] をクリックすると、Mail 画面で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。

## SNMP を設定する [SNMP]

セッティング画面の [SNMP] では、SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。

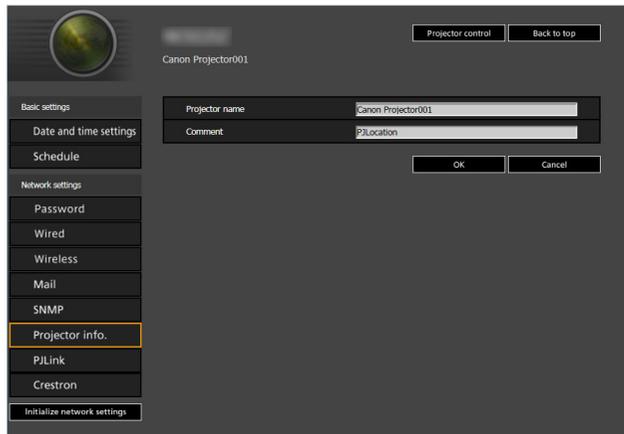


項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号（1 ～ 15 文字）で入力します。	< 空欄 >

項目	説明	工場出荷時の設定
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号（8～15文字）で入力します。SNMPのバージョンがV3の場合のみ設定できます。	<空欄>
Confirm password	確認のため、[Password]と同じパスワードを入力します。	<空欄>

## プロジェクター情報を設定する【Projector info.】

セッティング画面の【Projector info.】では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と設置場所などを設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63)を参照してください。



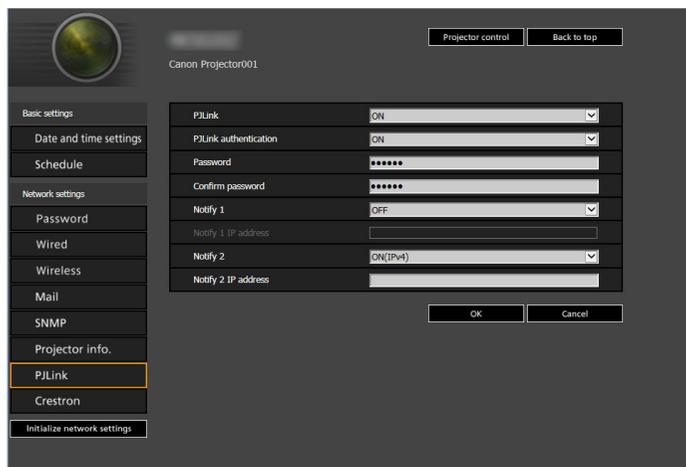
項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	Canon Projector001
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを入力します。	<空欄>



【Projector name】と【Comment】には、#など使用できない文字があります。

## PJLink を設定する [PJLink]

セッティング画面の [PJLink] では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格である PJLink 機能について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P63) を参照してください。また、PJLink については「PJLink とは」(P162) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、以下の項目は変更できません。 [Password] [Confirm password]	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字 (1 ~ 32 文字) で入力します。	system
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	system
Notify 1	自発的状态通知を送信するかどうかを設定します。OFF の場合、[Notify 1 IP Address] は設定無効となります。	OFF
Notify 1 IP Address	[Notify 1] が ON の場合、通知先の IP アドレスを設定します。	<空欄>
Notify 2	通知先を複数設定したい場合に設定します。	OFF
Notify 2 IP Address	[Notify 2] が ON の場合、通知先の IP アドレスを設定します。	<空欄>

## クレストロン社製のコントローラーの設定をする [Crestron]

Crestron e-Control 画面が開きます。詳しくはクレストロン社の Web ページをご覧ください。http://www.crestron.com

メンテナンス / 製品の仕様 /  
困ったときには

## 本体を清掃する

本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。  
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出ることがあります。

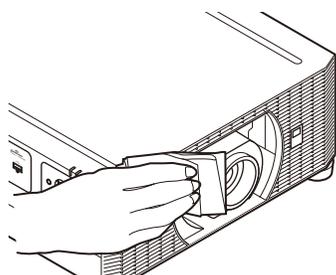


本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。



本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因になることがあります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。  
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、拭き取ってから乾いた布で仕上げてください。



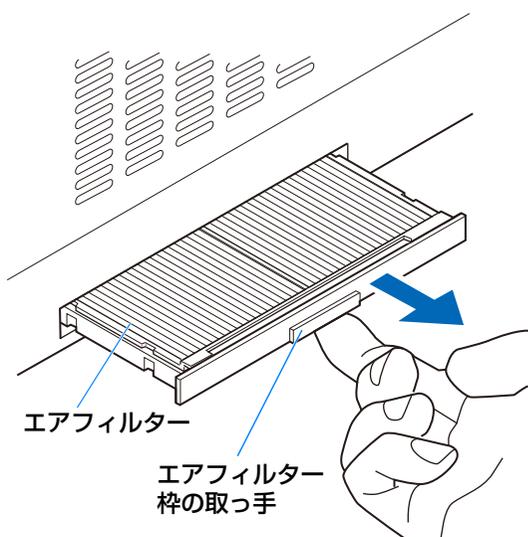
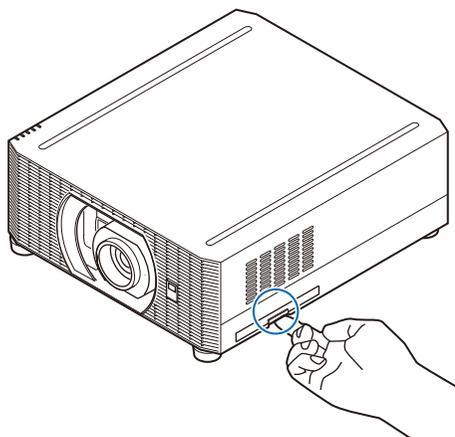
注意

- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。

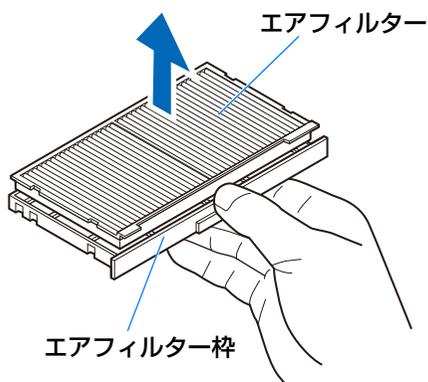
## エアフィルターを交換する

エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

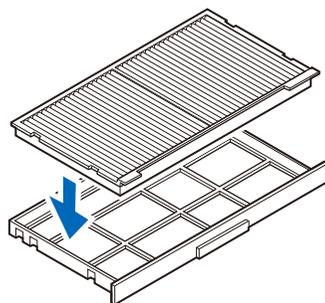
- 1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。
- 2 本体側面のフィルターユニット下部の切欠き部に指を掛け、フィルターユニットを引き出します。



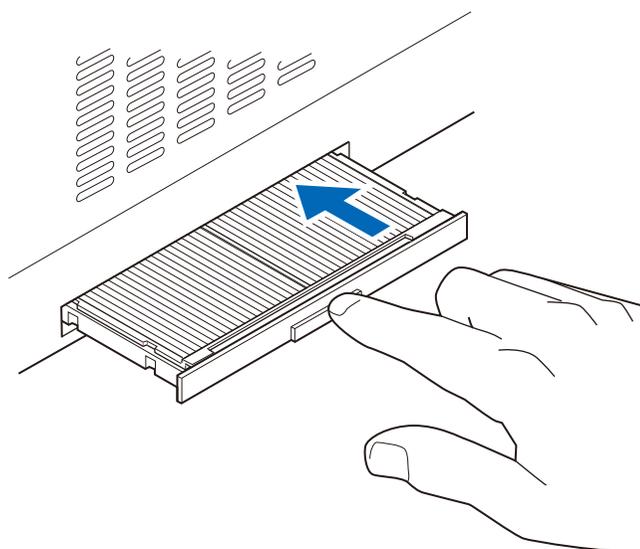
- 3** エアフィルターを下側から押し出し、エアフィルター枠から取り外します。



- 4** 新しいエアフィルターをエアフィルター枠に取り付けます。



- 5** エアフィルターを取り付けた枠を本機に奥までしっかり取り付けます。



- エアフィルターの交換後は、[エアフィルターカウンター] をリセット (P148) してください。
- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- エアフィルター (品番: RS-FL05) のご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■ 対応信号について

本機には、次の信号形式が用意されています。

コンピューターまたは AV 機器が下の表のいずれかに対応していれば、入力信号が自動的に、正しい映像を投写することができます。

YCbCr422はすべての信号で12bitで受け取ることができます（(\*6)の信号を除く）。

すべてのコンピューターとの互換性を保証するものではありません。

FP：フロントポート

SW：同期信号期間

BP：バックポート

### HDMI

解像度	周波数			プランキング情報		色深度の対応 [bit]
	水平 [kHz]	垂直 [Hz]	ドットクロック [MHz]	水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP	
640x480	31.469	59.940	25.175	16, 96, 48	10, 2, 33	8/10/12
720x480	31.469	59.940	27.000	16, 62, 60	9, 6, 30	8/10/12
720x576	31.250	50.000	27.000	12, 64, 68	5, 5, 39	8/10/12
800x600	37.879	60.317	40.000	40, 128, 88	1, 4, 23	8/10/12
1280x720	18.000	24.000	59.400	1760, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	37.500	50.000	74.250	440, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	45.000	60.000	74.250	110, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
1024x768	48.363	60.004	65.000	24, 136, 160	3, 6, 29	8/10/12
1366x768	47.712	59.790	85.500	70, 143, 213	3, 3, 24	8/10/12
	48.000	(*1)60.000	72.000	14, 56, 64	1, 3, 28	8/10/12
1440x900	55.935	59.887	106.500	80, 152, 232	3, 6, 25	8/10/12
	55.469	59.901	88.750	48, 32, 80	3, 6, 17	8/10/12
1280x1024	63.981	60.020	108.000	48, 112, 248	1, 3, 38	8/10/12
1920x1080(l)	28.125	25.000	74.250	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
	31.250	(*1)25.000	72.000	32, 168, 184	45.5, 10, 114.5	8/10/12
	33.750	30.000	74.250	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
1920x1080	27.000	24.000	74.250	638, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	56.250	50.000	148.500	528, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	67.500	60.000	148.500	88, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
2048x1080	66.576	(*1)59.924	147.000	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
	67.500	60.000	148.500	44, 44, 64	4, 5, 36	8/10/12
2560x1080	26.400	24.000	99.000	998, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
	56.250	50.000	185.625	548, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	66.636	(*1)59.978	181.250	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
	66.000	60.000	198.000	248, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
1920x1200	74.038	59.950	154.000	48, 32, 80	3, 6, 26	8/10/12
	74.556	59.885	193.250	136, 200, 336	3, 6, 36	8/10/12
2048x1200	74.582	(*1)59.905	205.250	136, 216, 352	3, 10, 32	8/10/12
	74.100	(*1)60.000	157.684	8, 32, 40	21, 8, 6	8/10/12
2560x1440	88.787	59.951	241.500	48, 32, 80	3, 5, 33	8/10/12
2560x1600	98.713	59.972	268.500	48, 32, 80	3, 6, 37	8/10/12
3840x2160	52.593	(*1)23.993	266.750	216, 400, 616	3, 5, 24	8/10/12
	52.438	(*1)23.999	209.750	48, 32, 80	3, 5, 17	8/10/12
	54.000	24.000	297.000	1276, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	56.250	25.000	297.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	67.500	30.000	297.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	112.500	(*2)50.000	594.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*4)
	135.000	(*2)60.000	594.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*4)

# 製品の仕様

解像度	周波数			ブランキング情報		色深度の対応
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
4096x2160	52.561	(*1)23.979	284.250	224, 432, 656	3, 10, 19	8/10/12
	52.397	(*1)23.980	223.000	48, 32, 80	3, 10, 12	8/10/12
	54.000	24.000	297.000	1020, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	56.250	25.000	297.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	67.500	30.000	297.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12(*3)
	112.500	(*2)50.000	594.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12(*4)
	135.000	(*2)60.000	594.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12(*4)

\*1: EDID 非対応

\*2: EDID モードが「高互換性」の時は YCbCr420 のみ

\*3: 10/12bit は EDID モードを「広帯域 (4K60Hz)」にした時

\*4: 10/12bit は YCbCr420 で EDID モードを「広帯域 (4K60Hz)」にした時

FP : フロントポーチ

SW : 同期信号期間

BP : バックポーチ

## DisplayPort (シングルインプット)

解像度	周波数			ブランキング情報		色深度の対応
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
640x480	31.469	59.940	25.175	16, 96, 48	10, 2, 33	8/10/12
720x480	31.469	59.940	27.000	16, 62, 60	9, 6, 30	8/10/12
720x576	31.250	50.000	27.000	12, 64, 68	5, 5, 39	8/10/12
800x600	37.879	60.317	40.000	40, 128, 88	1, 4, 23	8/10/12
1280x720	18.000	24.000	59.400	1760, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	37.500	50.000	74.250	440, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	45.000	60.000	74.250	110, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
1024x768	48.363	60.004	65.000	24, 136, 160	3, 6, 29	8/10/12
1366x768	47.712	59.790	85.500	70, 143, 213	3, 3, 24	8/10/12
	48.000	(*1)60.000	72.000	14, 56, 64	1, 3, 28	8/10/12
1440x900	55.935	59.887	106.500	80, 152, 232	3, 6, 25	8/10/12
	55.469	59.901	88.750	48, 32, 80	3, 6, 17	8/10/12
1280x1024	63.981	60.020	108.000	48, 112, 248	1, 3, 38	8/10/12
1920x1080(l)	28.125	25.000	74.250	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
	33.750	30.000	74.250	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
1920x1080	27.000	24.000	74.250	638, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	56.250	50.000	148.500	528, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	67.500	60.000	148.500	88, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
2048x1080	66.576	(*1)59.924	147.000	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
	67.500	60.000	148.500	44, 44, 64	4, 5, 36	8/10/12
2560x1080	26.400	24.000	99.000	998, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
	56.250	50.000	185.625	548, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	66.636	(*1)59.978	181.250	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
	66.000	60.000	198.000	248, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
1920x1200	74.556	59.885	193.250	136, 200, 336	3, 6, 36	8/10/12
	74.038	59.950	154.000	48, 32, 80	3, 6, 26	8/10/12
2048x1200	74.582	(*1)59.905	205.250	136, 216, 352	3, 10, 32	8/10/12
	74.100	(*1)60.000	157.684	8, 32, 40	21, 8, 6	8/10/12
2560x1440	88.787	59.951	241.500	48, 32, 80	3, 5, 33	8/10/12
2560x1600	98.713	59.972	268.500	48, 32, 80	3, 6, 37	8/10/12
3840x2160	52.593	(*1)23.993	266.750	216, 400, 616	3, 5, 24	8/10/12
	52.438	(*1)23.999	209.750	48, 32, 80	3, 5, 17	8/10/12
	54.000	24.000	297.000	1276, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12
	56.250	25.000	297.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12
	67.500	30.000	297.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12

メンテナンス／製品の仕様／困ったときには

製品の仕様

解像度	周波数			ブランキング情報		色深度の対応 [bit]
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
3840x2160	110.500	(*1)49.977	442.000	48, 32, 80	3, 5, 43	8/10/-
	112.500	50.000	594.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	133.187	(*1)59.940	522.092	8, 32, 40	48, 8, 6	8/-/-
	133.313	(*1)59.997	533.250	48, 32, 80	3, 5, 54	8/-/-
	133.320	(*1)60.000	522.614	8, 32, 40	48, 8, 6	8/-/-
	135.000	60.000	594.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
4096x2160	52.561	(*1)23.979	284.250	224, 432, 656	3, 10, 19	8/10/12
	52.397	(*1)23.980	223.000	48, 32, 80	3, 10, 12	8/10/12
	54.000	24.000	297.000	1020, 88, 296	8, 10, 72	8/10/12
	56.250	25.000	297.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12
	67.500	30.000	297.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/10/12
	110.550	(*1)50.000	470.500	48, 32, 80	3, 10, 38	8/10/-
	112.500	50.000	594.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-
	133.187	(*1)59.940	556.188	8, 32, 40	48, 8, 6	8/-/-
	133.282	(*1)59.983	567.250	48, 32, 80	3, 10, 49	8/-/-
	133.320	(*1)60.000	556.744	8, 32, 40	48, 8, 6	8/-/-
	135.000	60.000	594.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-

\*1: EDID 非対応

FP : フロントポーチ

SW : 同期信号期間

BP : バックポーチ

### DisplayPort (マルチインプット)

解像度 (*5)	周波数			ブランキング情報		色深度の対応 [bit]
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
1280x480	31.469	59.940	25.175	16, 96, 48	10, 2, 33	8/10/12
2560x1600	98.611	(*1)59.910	142.000	48, 32, 80	3, 10, 33	8/10/12
3840x2160	112.500	(*1)50.000	297.000	528, 44, 148	8, 10, 72	8/10/12
	133.293	(*1)59.988	277.250	48, 32, 80	3, 10, 49	8/10/12
	133.320	(*1)60.000	266.640	8, 32, 40	48, 8, 6	8/10/12
	135.000	60.000	297.000	88, 44, 148	8, 10, 72	8/10/12
4096x2160	112.500	(*1)50.000	297.000	484, 44, 64	8, 10, 72	8/10/12
	133.265	(*1)59.975	294.250	48, 32, 80	3, 10, 49	8/10/12
	133.320	(*1)60.000	283.704	8, 32, 40	48, 8, 6	8/10/12
	135.000	60.000	297.000	44, 44, 64	8, 10, 72	8/10/12

\*1: EDID 非対応

\*5: 2端子結合の解像度 (単端子の場合の例として解像度 1280x480 の場合、640x480 となります。)

FP : フロントポーチ

SW : 同期信号期間

BP : バックポーチ

### HDBaseT

解像度	周波数			ブランキング情報		色深度の対応 [bit]
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
640x480	31.469	59.940	25.175	16, 96, 48	10, 2, 33	8/10/12
720x480	31.469	59.940	27.000	16, 62, 60	9, 6, 30	8/10/12
720x576	31.250	50.000	27.000	12, 64, 68	5, 5, 39	8/10/12
800x600	37.879	60.317	40.000	40, 128, 88	1, 4, 23	8/10/12

解像度	周波数			プランキング情報		色深度の対応 [bit]
	水平	垂直	ドットクロック	水平	垂直	
	[kHz]	[Hz]	[MHz]	FP, SW, BP	FP, SW, BP	
1280x720	18.000	24.000	59.400	1760, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	37.500	50.000	74.250	440, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
	45.000	60.000	74.250	110, 40, 220	5, 5, 20	8/10/12
1024x768	48.363	60.004	65.000	24, 136, 160	3, 6, 29	8/10/12
1366x768	47.712	59.790	85.500	70, 143, 213	3, 3, 24	8/10/12
	48.000	(*1)60.000	72.000	14, 56, 64	1, 3, 28	8/10/12
1440x900	55.935	59.887	106.500	80, 152, 232	3, 6, 25	8/10/12
	55.469	59.901	88.750	48, 32, 80	3, 6, 17	8/10/12
1280x1024	63.981	60.020	108.000	48, 112, 248	1, 3, 38	8/10/12
1920x1080(I)	31.250	(*1)25.000	72.000	32, 168, 184	45.5, 10, 114.5	8/10/12
	28.125	25.000	74.250	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
	33.750	30.000	74.250	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5	8/10/12
1920x1080	27.000	24.000	74.250	638, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	56.250	50.000	148.500	528, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
2048x1080	67.500	60.000	148.500	88, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
	66.576	(*1)59.924	147.000	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
2560x1080	67.500	60.000	148.500	44, 44, 64	4, 5, 36	8/10/12
	26.400	24.000	99.000	998, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
	56.250	50.000	185.625	548, 44, 148	4, 5, 36	8/10/12
1920x1200	66.636	(*1)59.978	181.250	48, 32, 80	3, 10, 18	8/10/12
	66.000	60.000	198.000	248, 44, 148	4, 5, 11	8/10/12
2048x1200	74.556	59.885	193.250	136, 200, 336	3, 6, 36	8/10/12
	74.038	59.950	154.000	48, 32, 80	3, 6, 26	8/10/12
2560x1440	74.582	(*1)59.905	205.250	136, 216, 352	3, 10, 32	8/10/-
	74.100	(*1)60.000	157.684	8, 32, 40	21, 8, 6	8/10/12
2560x1600	88.787	59.951	241.500	48, 32, 80	3, 5, 33	8/-/-
3840x2160	98.713	59.972	268.500	48, 32, 80	3, 6, 37	8/-/-
	52.593	(*1)23.993	266.750	216, 400, 616	3, 5, 24	8/-/-
	52.438	(*1)23.999	209.750	48, 32, 80	3, 5, 17	8/10/-
	54.000	24.000	297.000	1276, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	56.250	25.000	297.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	67.500	30.000	297.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	112.500	(*6)50.000	594.000	1056, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
4096x2160	135.000	(*6)60.000	594.000	176, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	52.561	(*1)23.979	284.250	224, 432, 656	3, 10, 19	8/-/-
	52.397	(*1)23.980	223.000	48, 32, 80	3, 10, 12	8/10/-
	54.000	24.000	297.000	1020, 88, 296	8, 10, 72	8/-/-
	56.250	25.000	297.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-
	67.500	30.000	297.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-
	112.500	(*6)50.000	594.000	968, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-
	135.000	(*6)60.000	594.000	88, 88, 128	8, 10, 72	8/-/-

\*1: EDID非対応

\*6: YCbCr420のみ対応

※ HDBaseT 信号は HDBaseT の規格で規定された信号です。ケーブル内では HDBaseT 信号として伝送され、プロジェクターに入力されてから HDMI 信号に変換されます。一覧表にある HDMI 信号に逆変換されない HDBaseT 信号を受信しても正常に表示しない場合があります。

メンテナンス／製品の仕様／困ったときには

製品の仕様

■ 本体

形名		4K6021Z
表示方式		反射型液晶パネル (LCOS) × 3枚
光学方式		ダイクロイックミラー、偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式
表示素子	有効表示域サイズ	0.74型 / 約 17:9
	有効画素数	8,847,360 (4096 × 2160)
	その他特徴	アクティブマトリックス方式
投写レンズ	ズーム (*4)	1.76倍
	フォーカス	電動
	レンズシフト (*4) (*5)	V: -73 ~ +73% (電動) H: ±11% (電動)
	焦点距離 (*4)	22.67mm ~ 39.79mm
	F値 (*4)	2.1 ~ 2.4
光源	種類	青色レーザーダイオード + 黄色蛍光体
画面サイズおよび投写距離 (*4)		最小: 101.6cm (40インチ) ~ 最大: 1524cm (600インチ) 距離: 1.2m ~ 31.7m
色数		10億 7,300万色
光出力 (*1) (*2)		6000lm
コントラスト比 (*1) (*3)		22,000:1
周辺照度比 (*1) (*4)		80%以上
入力対応信号		対応信号 (P184 ~ 186ページ) をご覧ください。
表示解像度	コンピューター信号入力	最大入力解像度 4096×2160 ドット
	ビデオ信号入力	最大入力解像度 4096×2160 ドット
映像信号	デジタル映像入力	640 × 480、720 × 480、720 × 576、800 × 600、 1280 × 720、1024 × 768、1366 × 768、1440 × 900、 1280 × 1024、1920 × 1080、2048 × 1080、2560 × 1080、 1920 × 1200、2048 × 1200、2560 × 1440、2560 × 1600、 3840 × 2160、4096 × 2160
映像信号入力端子	HDMI × 2	デジタルPC、デジタルビデオ
	DisplayPort × 2	デジタルPC、デジタルビデオ
	RJ-45	HDBaseT入力 (映像、音声、制御、ネットワーク)
その他入出力端子	ミニジャック	トリガーアウト
	ミニジャック	音声出力
	ミニジャック	ワイヤードリモコン
	RS-232C	CONTROL (Dsub9)
	USB	USB Type A
騒音 (光源モード) 標準 / 静音 1 / 静音 2		38/33/29dB
使用温度		0℃ ~ 45℃
電源		AC100V ~ 240V 50 / 60Hz
最大消費電力		625W

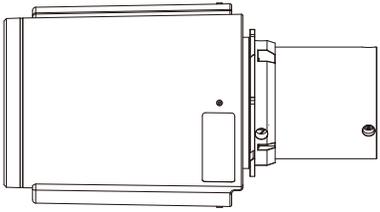
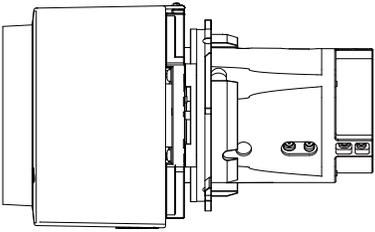
形名		4K6021Z
待機消費電力	LAN OFF、 シリアル通信：サービスポート	0.25W
	LAN ON、 シリアル通信：サービスポート	1.6W
	LAN OFF、 シリアル通信：HDBaseT	1.5W
	LAN ON、 シリアル通信：HDBaseT	1.6W
標準外形寸法		幅 480mm× 高さ 196mm× 奥行 545mm 幅 480mm× 高さ 175mm× 奥行 545mm (突起部含まず)
質量		約 19kg (投写レンズを含まない。)
付属品		リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、 重要なお知らせ (Important Information)、保証書、 かんたんガイド
無線 LAN	規格	IEEE802.11b/g/n
	対応チャンネル	1 CH - 11 CH
	周波数帯域	2.4 GHz

- (\*1) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。
- (\*2) 4K 標準ズームレンズ (RS-SLO7RST) 使用時、イメージモードが [プレゼンテーション]、MB リダクションが [切]、光源モードが [標準] の場合。また、プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。
- (\*3) 4K 標準ズームレンズ (RS-SLO7RST) 使用時、イメージモードが [プレゼンテーション]、MB リダクションが [切]、光源モードが [標準]、ダイナミックコントラストが [強] の場合
- (\*4) 4K 標準ズームレンズ (RS-SLO7RST) 使用時
- (\*5) レンズシフトモードが標準の場合
- ※ 液晶パネルの有効画素は 99.99% 以上です。投写中 0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。
- ※ 長時間・連続使用の際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
- ※ 本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。
- ※ 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

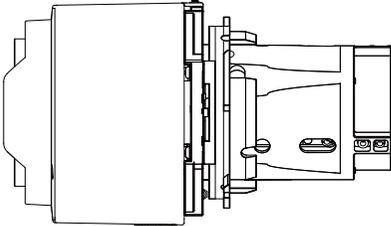
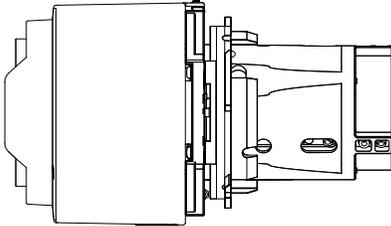
## ■ リモコン

品番	RS-RC07
電源	DC3.0V 単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 8m 縦横 ±25° (受光部正面)
本体寸法	幅 46.5mm× 高さ 23mm× 奥行 159mm
質量	56g

## ■ 各レンズユニットの仕様（別売品）

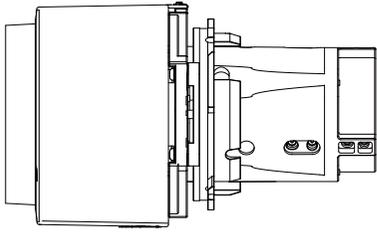
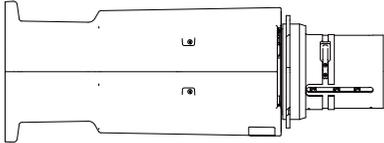
名称	4K 標準ズームレンズ*	望遠ズームレンズ
品番	RS-SL07RST	RS-SL02LZ
外観		
焦点距離	22.67 ~ 39.79mm	34.0 ~ 57.7mm
Fナンバー	2.1 ~ 2.4	1.99 ~ 2.83
幅	104mm	143.4mm
高さ	126mm	106.7mm
長さ	229mm	175.3mm
質量	約 1900g	約 925g
ズーム比	1.76×	1.7×
投写距離	1.20m ~ 31.71m	1.80m ~ 46.84m
100型投写距離	3.00m ~ 5.29m	4.58m ~ 7.77m
周辺フォーカス	対応	非対応

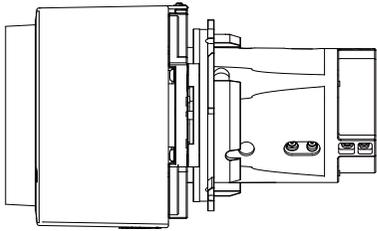
\* 本機の性能を十分に引き出すために、4K 標準ズームレンズを推奨します。

名称	超望遠ズームレンズ	短焦点ズームレンズ
品番	RS-SL04UL	RS-SL05WZ
外観		
焦点距離	53.6 ~ 105.6mm	15.56 ~ 23.34mm
Fナンバー	2.34 ~ 2.81	2.09 ~ 2.34
幅	143.4mm	143.4mm
高さ	106.7mm	106.7mm
長さ	183.7mm	183.7mm
質量	約 1110g	約 1065g
ズーム比	1.97×	1.5×
投写距離	4.48m ~ 85.98m	0.83m ~ 18.85m
100型投写距離	7.39m ~ 14.44m	2.08m ~ 3.12m
周辺フォーカス	非対応	非対応

各レンズのレンズシフト量は「レンズシフト機能で調整する」を参照してください。(P49)

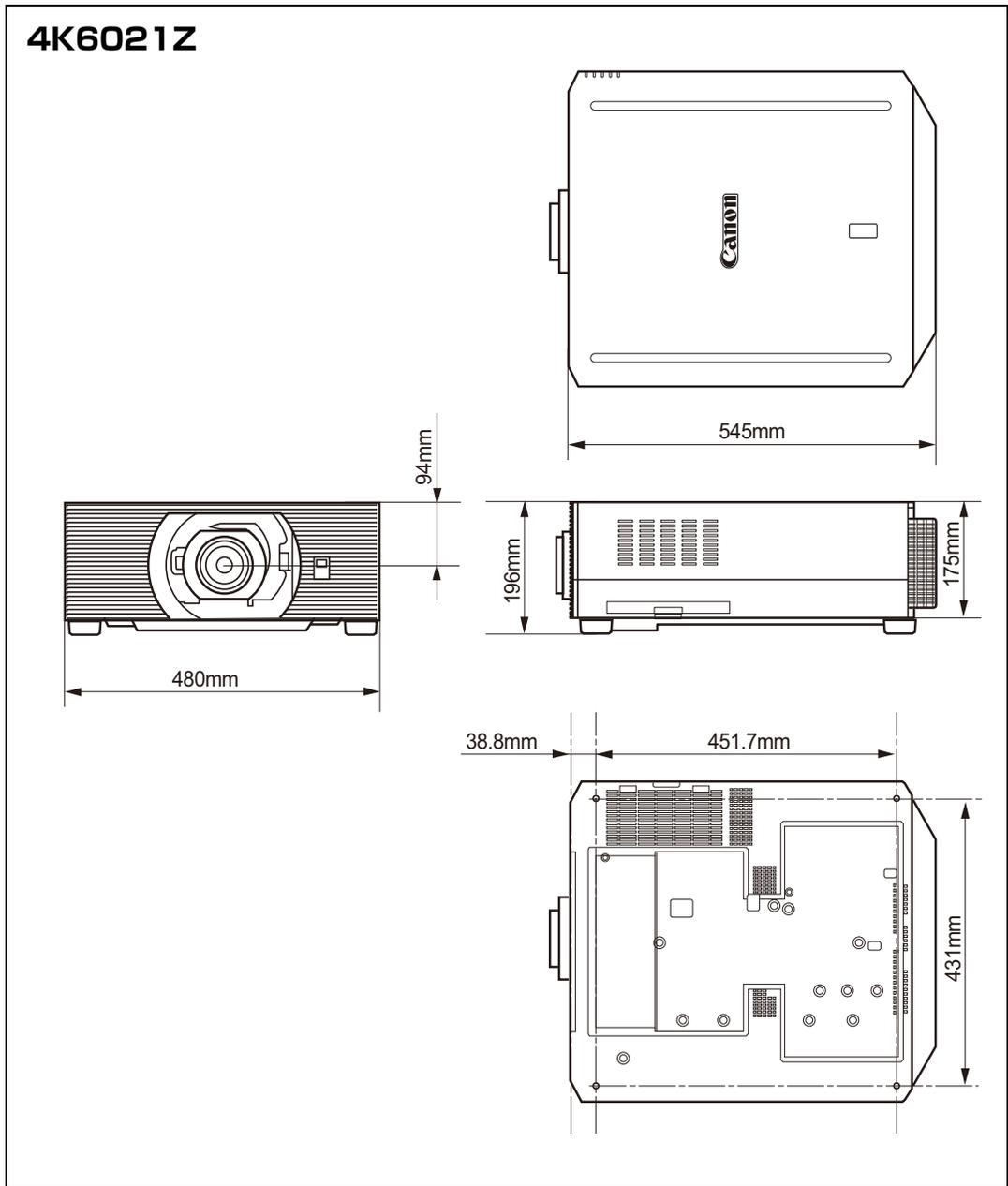
## 製品の仕様

名称	固定短焦点レンズ	超短焦点レンズ
品番	RS-SL03WF	RS-SL06UW
外観		
焦点距離	12.8mm	8.39mm
Fナンバー	2.0	2.40
幅	143.4mm	143.4mm
高さ	106.7mm	113.7mm
長さ	175.3mm	304.3mm
質量	約 1060g	約 1520g
ズーム比	—	—
投写距離	0.67m ~ 4.99m	0.45m ~ 3.38m
100型投写距離	1.66m	1.12m
周辺フォーカス	非対応	対応

名称	標準ズームレンズ*
品番	RS-SL01ST
外観	
焦点距離	23.0 ~ 34.5mm
Fナンバー	1.89 ~ 2.65
幅	143.4mm
高さ	106.7mm
長さ	175.3mm
質量	約 725g
ズーム比	1.5×
投写距離	1.23m ~ 27.99m
100型投写距離	3.10m ~ 4.65m
周辺フォーカス	非対応

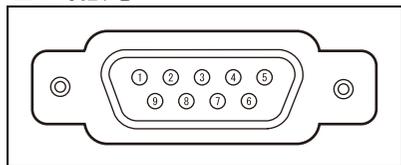
\* 4K 標準ズームレンズではありませんが、良好なフォーカス性能を提供できます。  
各レンズのレンズシフト量は「レンズシフト機能で調整する」を参照してください。(P49)

■ 外観図



## ■ サービス用端子 (CONTROL)

### ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

### 通信フォーマット

通信方式 : RS-232C 調歩同期 半2重通信

通信速度 : 19200bps

キャラクタ長 : 8ビット

ストップビット: 可変 (1,2ビット切り換え)、工場出荷時および工場出荷設定後の状態は 1。

パリティ : なし

フロー制御 : なし

## おもなユーザーコマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDBaseT	INPUT=HDBT<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 42h 54h 0Dh
	HDMI-1	INPUT=HDMI1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 0Dh
	HDMI-2	INPUT=HDMI2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 32h 0Dh
	DP-1	INPUT=DP1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 50h 31h 0Dh
	DP-2	INPUT=DP2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 50h 32h 0Dh
	DP 1×2	INPUT=DP1X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 50h 31h 58h 32h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	フォト /sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	DICOM SIM	IMAGE=DCM_SIM<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 43h 4Dh 5Fh 53h 49h 4Dh 0Dh
	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
	ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh
	ユーザー 4	IMAGE=USER_4<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 34h 0Dh
	ユーザー 5	IMAGE=USER_5<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 35h 0Dh
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ設定	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
シャープネス	シャープネス設定	SHARP=< 数値 ><CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh < 数字コード > 0Dh
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト設定	CONT=< 数値 ><CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh < 数字コード > 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

## LED インジケータのワーニング

本体に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLED インジケータが点灯または点滅し続けます。

- 本体の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケータの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。(P182) 再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGとLIGHTが点灯	光源の異常	光源が点灯しません。電源を入れ直して、投写されるか確認してください。それでも光源が点灯しない場合は、光源の駆動回路などの故障が考えられます。*
WARNINGのみが3回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し、電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが4回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが5回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いてください。*
WARNINGのみが6回点滅を繰り返す	レンズユニットの装着異常	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*

\* キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

## 困ったときのアドバイス

### ■ 電源が入らない

原因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードが正しく接続されていることを確認してください。(P55)
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。(P32)
吸気口または排気口がふさがれて本体内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても[POWER]インジケータは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでるものを取り除いてください。*
レンズユニットが正しく取り付けられていない	レンズユニットが正しく装着されていません。電源プラグをコンセントから抜き、レンズユニットを正しく装着してから電源プラグをコンセントに接続してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。(P182)
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック(P135)が設定されているか確認してください。

\* キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

## ■ 映像が投写されない

原因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P53～P55)
電源を入れて20秒経過していない	電源を入れると、約20秒間起動時画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P22、P25)
AV機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVDなどで、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本体の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P24)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく [INPUT] メニューから選ばれていることを確認してください。(P33)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P184)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P38)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れなおしてください。
コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの [Fn] を押しながら、[LCD] や [VGA] または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 ではWindows ロゴキーを押しながらPキーを押すと、画面出力を切り換えることができます。 なお、キー操作はコンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。
LANケーブル(シールドタイプ)が正しく接続されていない	[INPUT] メニューで [HDBaseT] を選んでいる場合は、プロジェクターにLANケーブル(シールドタイプ)が正しく接続されていることを確認してください。(P56)

## ■ 音声が出ない

原因	対処のしかた
【MUTE】になっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P26)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P22、P26)
音声入力端子の選択が[切]になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P137)

## ■ 映像が鮮明でない

原因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P34)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。(P42)
本体がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、キーストーンの補正機能で補正できます。(P72)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P182)
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。(P140)
MBリダクションが設定できない	イメージモードが[DICOM SIM]の場合は、[MBリダクション]は機能しません。メニューはグレーアウト表示となります。
レンズユニットが正しく取り付けられていない	レンズユニットが正しく取り付けられているか確認してください。(P44)
レンズレバーが固定されていない	レンズユニットが正しく取り付けられているか確認してください。(P44)

## ■ 映像が正しく表示されない

原因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。設置設定メニューで[反転表示]の設定内容を確認してください。(P118)
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	すべてのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

## ■ 電源が切れてしまう

原因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本体内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。（[WARNING] インジケータと [TEMP] インジケータが点灯します。）本体の温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。（P15、P21）
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。 目詰まりしている場合はエアフィルターの交換を行ってください。（P182）
使用環境が適正でない	使用環境が0℃～45℃であることを確認してください。（P14） 海拔2,300m以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの [プロフェッショナル設定] の [高地設定] を [入] にしてください。（P124）

## ■ ネットワークに接続できない

原因	対処のしかた
LANケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていない	プロジェクターにLANケーブル（シールドタイプ）が正しく接続されていることを確認してください。（P56）
電源を入れて約40秒経過していない	プロジェクターの電源プラグをコンセントに差し、通電してから約40秒間はネットワーク機能が使えません。約40秒以上経過してから再度ネットワークに接続してください。（P61）
無線LANに接続できない	「ネットワークの設定」（P63～P65）、「詳細設定（無線）」（P157～P161）の手順に従い、再度設定してください。 PJ APモードの場合、プロジェクター本体側で無線LANのチャンネル変更をお試ください（P157～P161）。 インフラストラクチャモードの場合、ご利用のアクセスポイント側で無線LANのチャンネル変更をお試ください。 それでも接続ができない場合はキヤノンお客様センターにご連絡ください。
HDBaseT 伝送機器などの電源が入っていない	HDBaseT 伝送機器の電源を確認してください。

## ■ リモコンの操作ができない

原因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P27)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P28)
リモコンと本体の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P28)
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで [リモコンチャンネル] の設定を確認できます。(P136)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	[キーロック] でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで [キーロック] を [切] に設定してください。(P135)
照明の光がリモコン受光部に入っている	照明の光を遮ってください。

## 英数字

6 軸色調整	113
AMX Device Discovery	163
BLANK	38
Crestron RoomView	163
DICOM SIM	36
DisplayPort 端子	24, 53
FREEZE	38
HDBaseT	4, 137
HDBaseT 端子	24, 54, 56
HDMI 端子	24, 53
HDR	113
HDR10	113
HLG	113
LED インジケーター	23, 196
MENU	92
MUTE	40
PJLink	162, 180
USB 端子	24, 149
WARNING インジケーター	23, 196

## あ

アイリス	129
明るさ	108
アンビエントライト	111
イメージ調整	94, 107
インフォメーション	94, 165
運用モード	124
エアフィルター	182
映像設定	94, 102
エコ設定	39
エッジブレンディング	4, 86, 125
オンスクリーン	132
音声出力端子	24
音量調整	39

## か

環境光による影響	111
ガンマ補正	109
キーストーン	119
キーロック	135
記憶色補正	113
起動時画面	132
キャリブレーション	147
言語	141
光源モード	115
高地設定	124
高度なレジストレーション	122
コントラスト	109

## さ

システム設定	94, 130
シャープネス	109
周辺フォーカス	125
省電力	39
信号形式	184
スクリーン色補正	128
スケジュール	144
接続端子	24
設置設定	94, 117

## た

対応信号	184
ダイナミックガンマ	112
ダイレクトパワーオン	140
通電カウンター	148
デジタルズーム	25
デジタルノイズリダクション	111
テストパターン	83
電源設定	139
天吊り	118

## な

入力端子	24
ネットワーク設定	94, 150
ネットワークパスワード	151

## は

パスワード	142, 143
日付・時刻設定	143
表示解像度（コンピューターの準備）	34
表示言語の選択	141
表示状態を設定する	102
ファームウェアバージョン	149
部分歪み補正	123
本体操作部	22

## ま

ミュート	40
無線 LAN	56, 157
メニュー	92

## ら

ランダムノイズリダクション	111
リア投写	118
リセット	116, 149
リモコン	25, 27, 136
レンズポジション	128
ロゴ表示	132

# 保証とアフターサービス

## ■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

## ■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

## ■修理を依頼される前に

196～201 ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

## ■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

### 〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

## ■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

## ■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

## 別売品

● 天吊り金具 品番：RS-CL15* <sup>1</sup>	● 交換エアフィルター 品番：RS-FL05
● 天吊りアーム 品番：RS-CL17* <sup>1</sup>	● リモコン 品番：RS-RC07
● 天吊りパイプ (350-550mm) 品番：RS-CL08* <sup>2</sup>	● リモコン 品番：RS-RC05
● 天吊りパイプ (550-950mm) 品番：RS-CL09* <sup>2</sup>	

\*<sup>1</sup> 本機を天井に取り付ける場合、天吊り金具（RS-CL15）と天吊りアーム（RS-CL17）の両方が必要となります

\*<sup>2</sup> 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような  
症状は  
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品番	
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

**Canon**

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90071

[受付時間] 〈平日〉9:00～17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。